

笛吹市総合計画策定に関するアンケート調査報告書

令和7年10月

公益財団法人 山梨総合研究所

目次

第1部 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の内容	1
(1) 一般市民.....	1
(2) 事業者.....	1
(3) 農業者.....	1
3 回収結果.....	1
4 記号の説明と注意点.....	2
第2部 調査結果（市民）	3
問1 性別	3
問2 年齢	4
問3 職業など	6
問4 居住地.....	8
問5 同居人数.....	10
問6 同居家族.....	11
問7 居住年数.....	12
問8 居住経験.....	13
問9 婚姻状況.....	15
問10 予定する子どもの数	15
問11 理想的な子どもの数.....	16
問12 結婚の希望.....	16
問13 市政に関する情報の入手手段.....	17
問14 笛吹市に住み続けたいか	19
問15 住み続けたい理由.....	21
問16 住み続けたくない理由	23
問17 必要だと思う公共施設等の整備や充実	25
問18 笛吹市の魅力	27
問19 現在の幸福度	28
問20 地域の暮らしの満足度	29
問21 10年後の幸福度.....	31
市民等の満足度	32
問22 重要度・満足度	33
地域に対する満足度と重要度	35
問23 自由意見	37

第3部 調査結果（事業者） 40

問 1-1 営業開始時期	40
問 1-2 回答者の年齢	41
問 1-3 所在場所	42
問 1-4 従業員数	44
問 1-5 主な業種	46
問 1-6 事業所の形態	48
問 2 事業がしやすい場所か	49
問 3 事業のしやすさの理由	50
問 4 立地場所の評価	53
問 5 事業継続の意思	55
問 6 今後の事業展開	56
問 7 事業の後継者	58
問 8 市の産業政策について	58
問 9 笛吹市の産業振興、経済の活性化のために、特に必要なこと	60
問 10 笛吹市の魅力	64
問 11 現在の幸福度	66
問 12 地域の暮らしの満足度	67
問 13 10年後の幸福度	68
問 14 重要度・満足度	69
問 15 自由意見	71

第4部 調査結果（農業者） 73

問 1-1 農業経営開始時期	73
問 1-2 回答者の年齢	75
問 1-3 農地の主な所在場所	77
問 1-4 農業形態	79
問 1-5 全体収入に対する農業の割合	80
問 1-6 栽培している主な農産物	82
問 1-7 耕地面積	84
問 1-8 年間の農業生産販売額	86
問 2 農業従事者の数	88
問 3 後継者の有無	92
問 4 耕作していない農地の有無	93
問 5 10年後の事業展開	94
問 6 農業経営で困っていること	95
問 7 農業振興のために力を入れるべき施策	97
問 8 担い手確保に必要なこと	100
問 9 若者が農業に従事するために必要な支援	102
問 10 農業のために必要なこと	104
問 11 笛吹市の魅力	107

問 12	現在の幸福度	108
問 13	地域の暮らしの満足度	109
問 14	10年後の幸福度	110
問 15	重要度・満足度	111
問 16	自由意見	113

第1部 調査の概要

1 調査の目的

第三次笛吹市総合計画の策定にあたり、これからのまちづくりに反映させていくことを目的として、笛吹市内在住の市民、市内に本店を置く事業者及び市内に事業所を置く事業者、市内の農業者（法人及び個人）に対し、身近な環境や暮らしの満足度などについてアンケートを実施した。

2 調査の内容

(1) 一般市民

- ① 調査対象 笛吹市内在住の満18歳以上の者
- ② 調査対象者数 2,500人
- ③ 調査方法 郵送により配布し、郵送またはWeb回答により回収
- ④ 調査期間 令和7年7月7日から令和7年7月25日まで

(2) 事業者

- ① 調査対象 市内に本店を置く事業者及び市内に事業所を置く事業者
- ② 調査対象者数 400人
- ③ 調査方法 郵送により配布し、郵送またはWeb回答により回収
- ④ 調査期間 令和7年7月7日から令和7年8月4日まで

(3) 農業者

- ① 調査対象 市内の農業者（法人及び個人）※主に認定農業者
- ② 調査対象者数 100人
- ③ 調査方法 郵送により配布し、郵送またはWeb回答により回収
- ④ 調査期間 令和7年7月7日から令和7年7月25日まで

3 回収結果

	市民	事業者	農業者
配布数	2,500件	400件	100件
回答数	1,286件	176件	68件
回答率	51.4%	44.0%	68.0%

4 記号の説明と注意点

(SA) ……単一回答 (Single Answer) の略。選択回答は 1 項目のみ。

(MA) ……複数回答 (Multi Answer) の略。一部回答を限定しているものもある。

また、合計回答率は 100%を超える場合がある。

なお、各回答項目の%は、回答者数= n を母数として計算している。

(FA) ……自由回答 (Free Answer) の略。回答者の考えを自由に記入するもの。

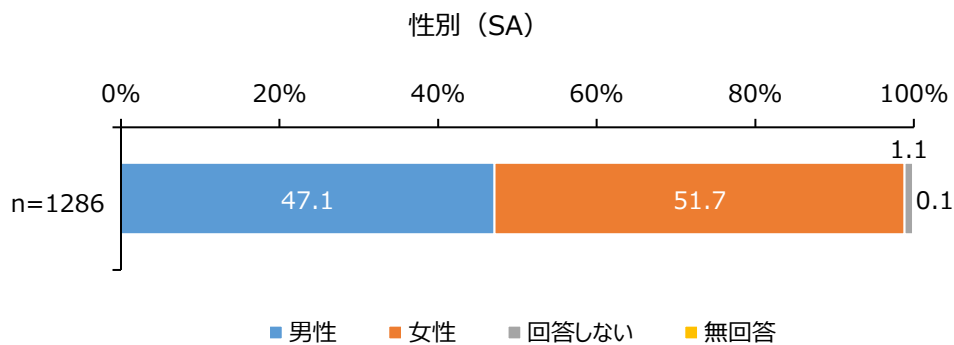
n ……回答者数 (number) を表す。「 $n = 100$ 」は、回答者数が 100 人ということ。

回答項目の構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各項目の合計が 100%にならない場合がある。

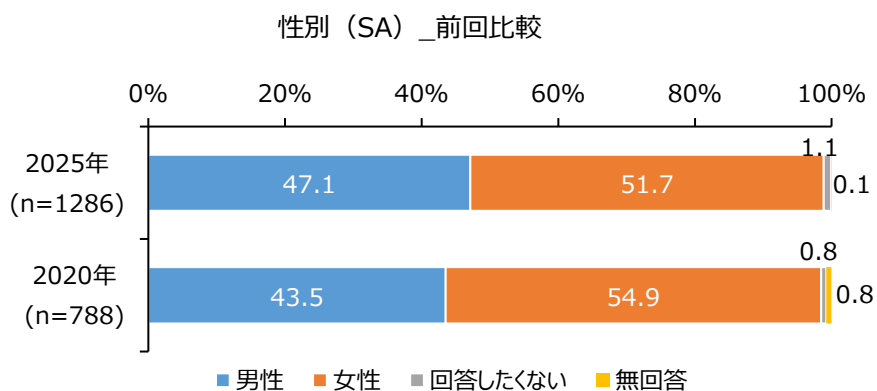
第2部 調査結果（市民）

問1 性別

あなたの性別をお答え下さい。（1つに○印）



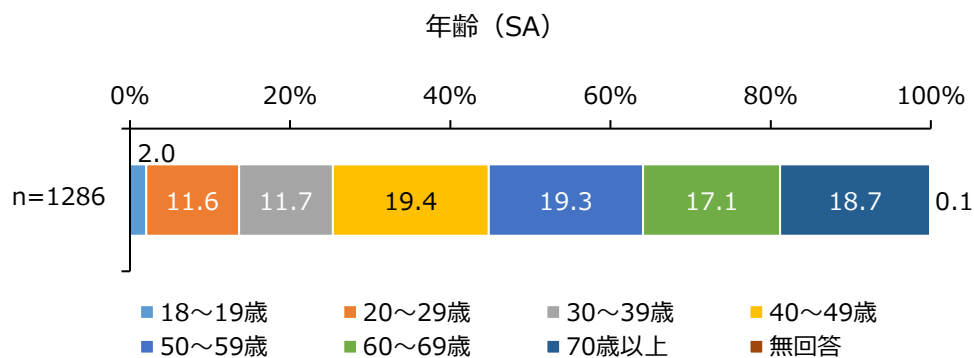
	n	%
男性	606	47.1
女性	665	51.7
回答しない	14	1.1
無回答	1	0.1
	1286	100.0



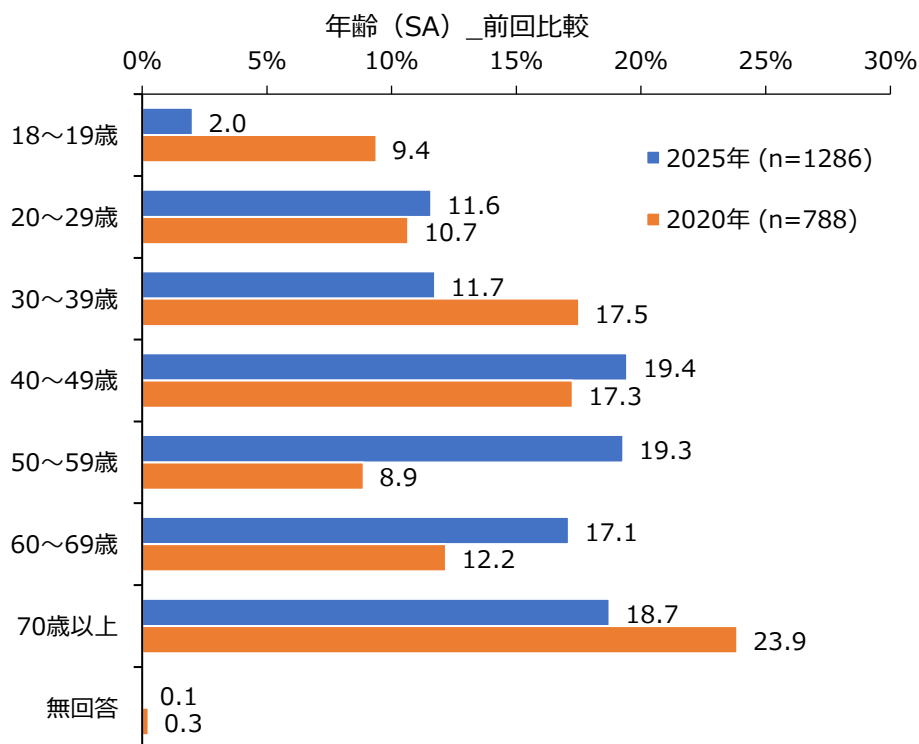
	2025年	2020年
男性	606	343
女性	665	433
回答したくない	14	6
無回答	1	6
	1286	788

問2 年齢

あなたの年齢をお答え下さい。(1つに○印)



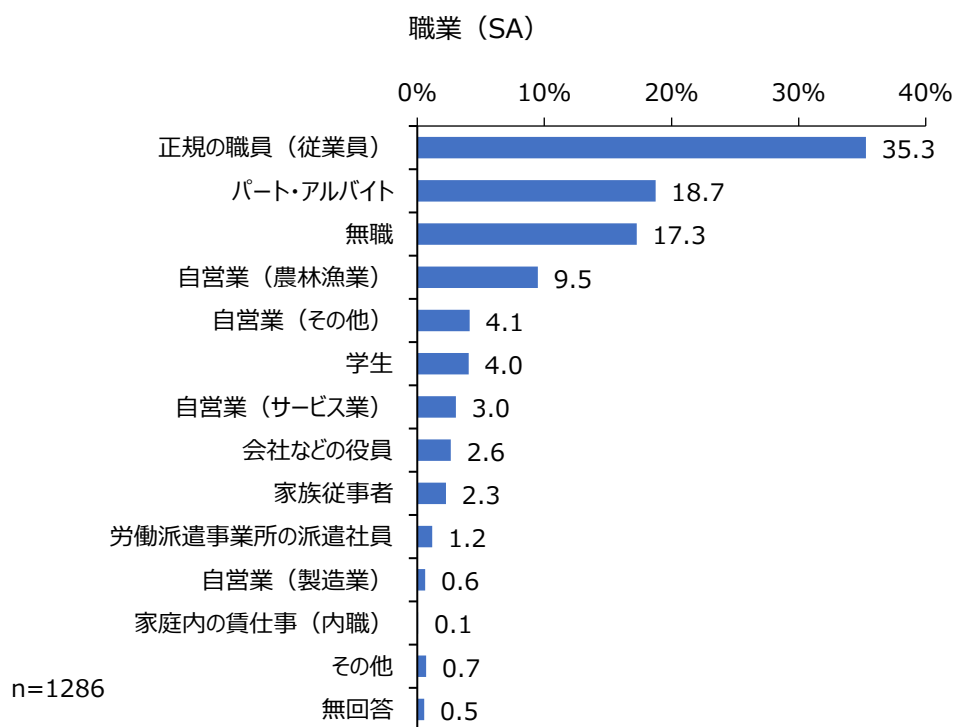
	n	%
18~19歳	26	2.0
20~29歳	149	11.6
30~39歳	151	11.7
40~49歳	250	19.4
50~59歳	248	19.3
60~69歳	220	17.1
70歳以上	241	18.7
無回答	1	0.1
	1286	100.0



	2025 年	2020 年
18~19 歳	26	74
20~29 歳	149	84
30~39 歳	151	138
40~49 歳	250	136
50~59 歳	248	70
60~69 歳	220	96
70 歳以上	241	188
無回答	1	2
	1286	788

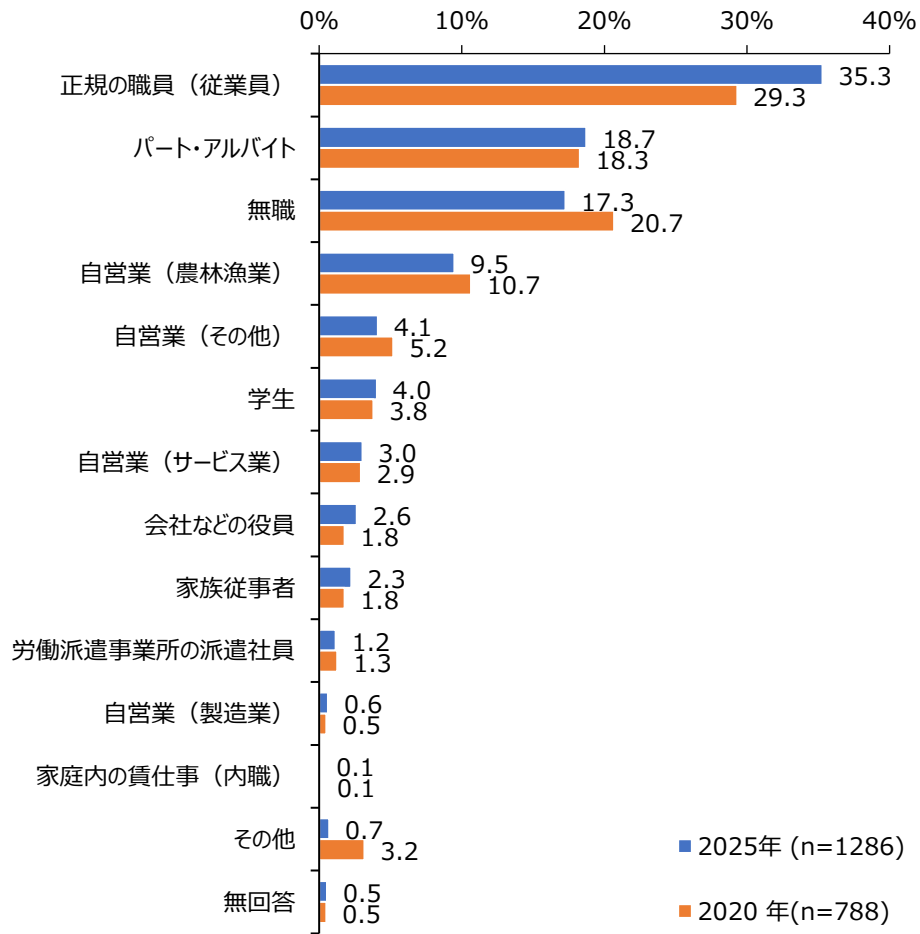
問3 職業など

あなたの職業（兼業の方は主な職業）は次のうちどれですか。（1つに○印）



	n	%
正規の職員（従業員）	454	35.3
パート・アルバイト	241	18.7
無職	222	17.3
自営業（農林漁業）	122	9.5
自営業（その他）	53	4.1
学生	52	4.0
自営業（サービス業）	39	3.0
会社などの役員	34	2.6
家族従事者	29	2.3
労働派遣事業所の派遣社員	15	1.2
自営業（製造業）	8	0.6
家庭内の賃仕事（内職）	1	0.1
その他	9	0.7
無回答	7	0.5
	1286	100.0

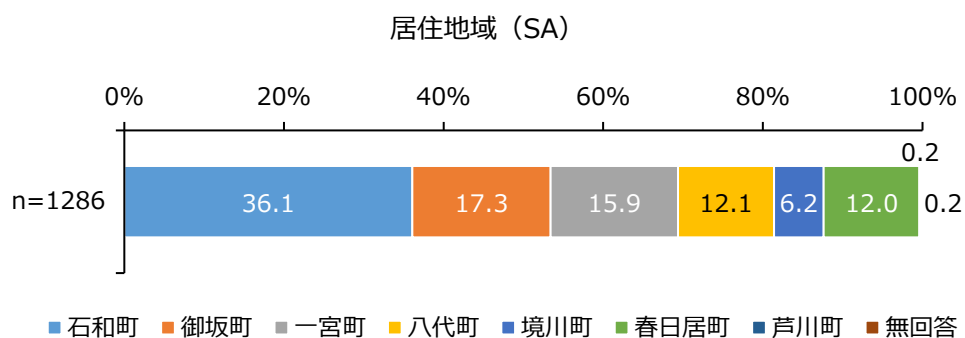
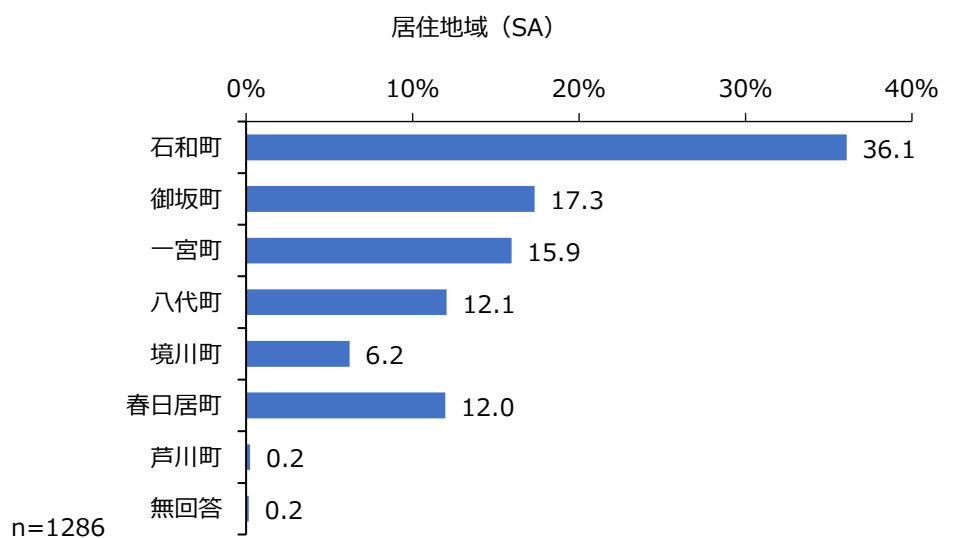
職業など (SA) _前回比較



	2025年	2020年
正規の職員 (従業員)	454	231
労働派遣事業所の派遣社員	15	10
パート・アルバイト	241	144
会社などの役員	34	14
自営業 (農林漁業)	122	84
自営業 (製造業)	8	4
自営業 (サービス業)	39	23
自営業 (その他)	53	41
家族従事者	29	14
家庭内の賃仕事 (内職)	1	1
学生	52	30
無職	222	163
その他	9	25
無回答	7	4
	1286	788

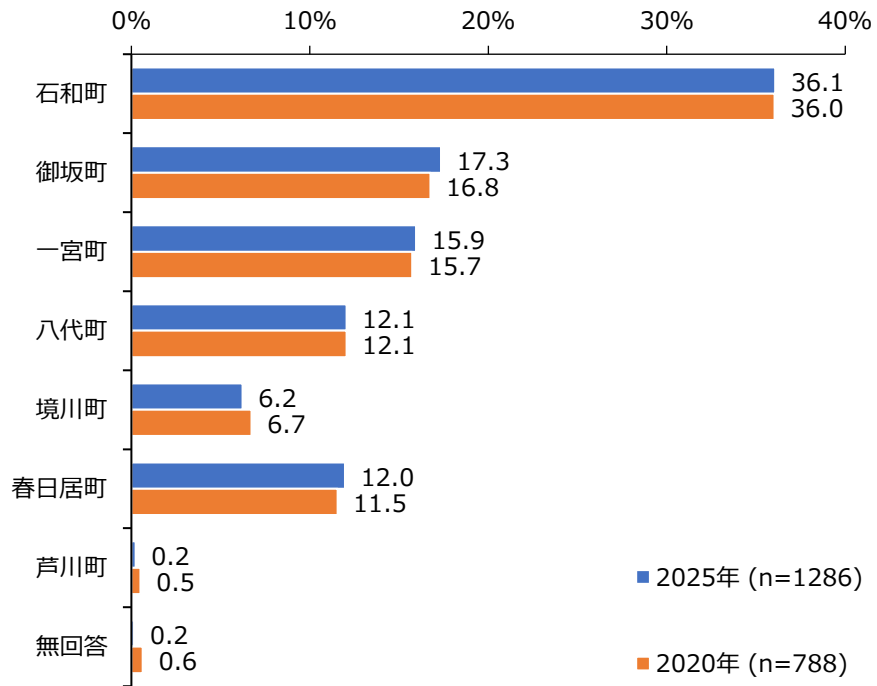
問 4 居住地域

あなたのお住まいはどの地域ですか。（1つに○印）



	n	%
石和町	464	36.1
御坂町	223	17.3
一宮町	205	15.9
八代町	155	12.1
境川町	80	6.2
春日居町	154	12.0
芦川町	3	0.2
無回答	2	0.2
	1286	100.0

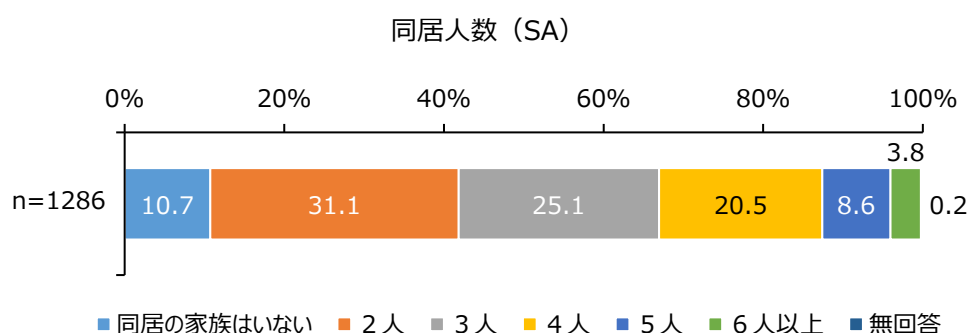
居住地 (SA) _前回比較



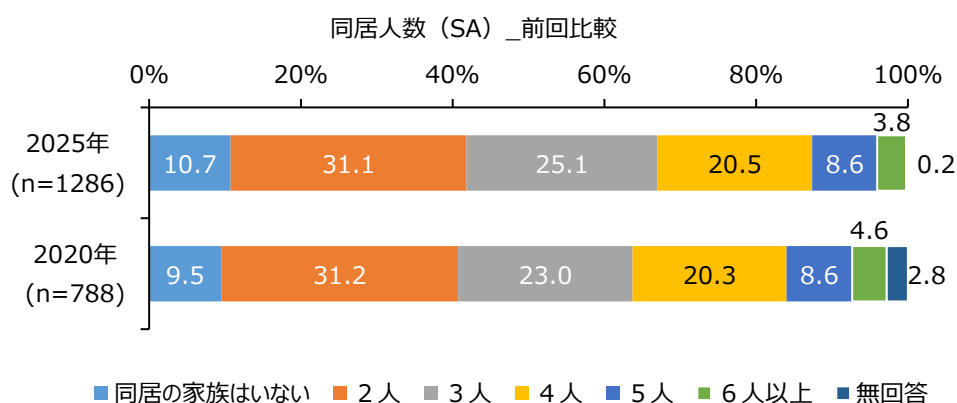
	2025年	2020年
石和町	464	284
御坂町	223	132
一宮町	205	124
八代町	155	95
境川町	80	53
春日居町	154	91
芦川町	3	4
無回答	2	5
	1286	788

問 5 同居人数

あなたと一緒に住まいの御家族の人数は、あなたを含めて何人ですか。（1つに○印）



	n	%
同居の家族はいない	138	10.7
2人	400	31.1
3人	323	25.1
4人	263	20.5
5人	110	8.6
6人以上	49	3.8
無回答	3	0.2
	1286	100.0



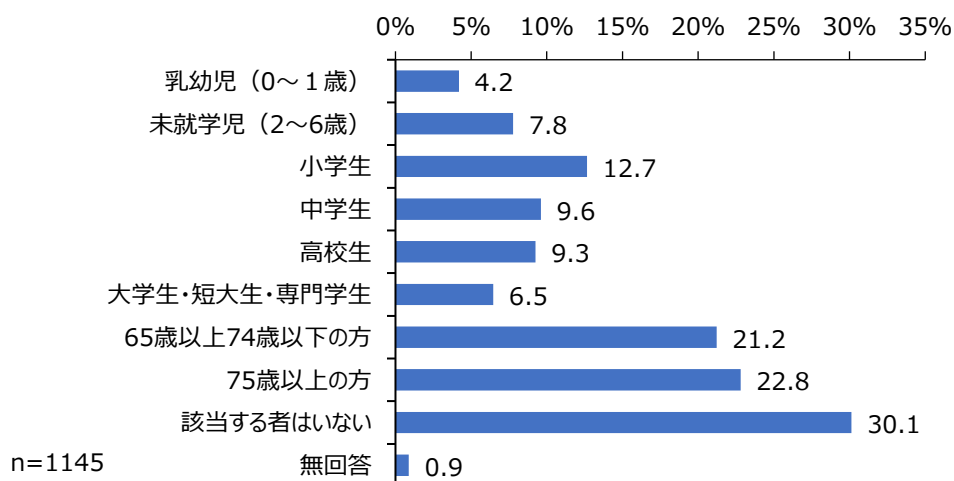
	2025年	2020年
同居の家族はいない	138	75
2人	400	246
3人	323	181
4人	263	160
5人	110	68
6人以上	49	36
無回答	3	22
	1286	788

問 6 同居家族

あなたと一緒に住まいの御家族のうち、次に該当する方はいらっしゃいますか。

(あてはまる番号全てに○印)

同居家族のうち、次に該当する方の有無 (MA)



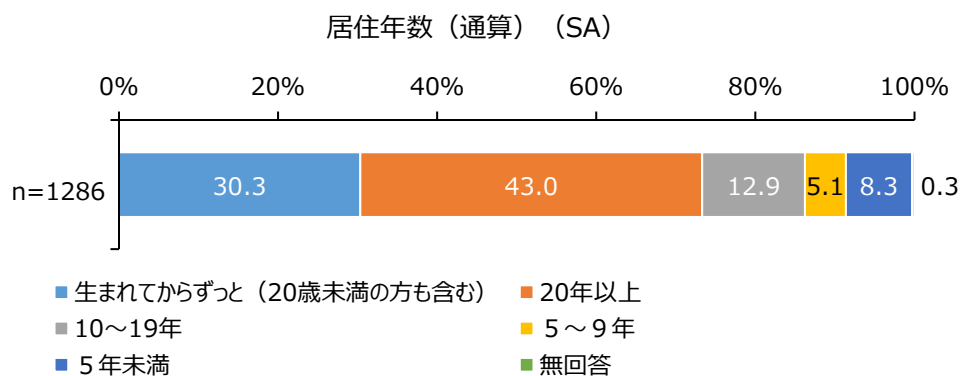
	n	%
乳幼児 (0~1歳)	48	4.2
未就学児 (2~6歳)	89	7.8
小学生	145	12.7
中学生	110	9.6
高校生	106	9.3
大学生・短大生・専門学生	74	6.5
65歳以上74歳以下の方	243	21.2
75歳以上の方	261	22.8
該当する者はいない	345	30.1
無回答	10	0.9
	1145	100.0

※本設問に関する前回比較は、前回と今回とで回答項目が異なるためなし。

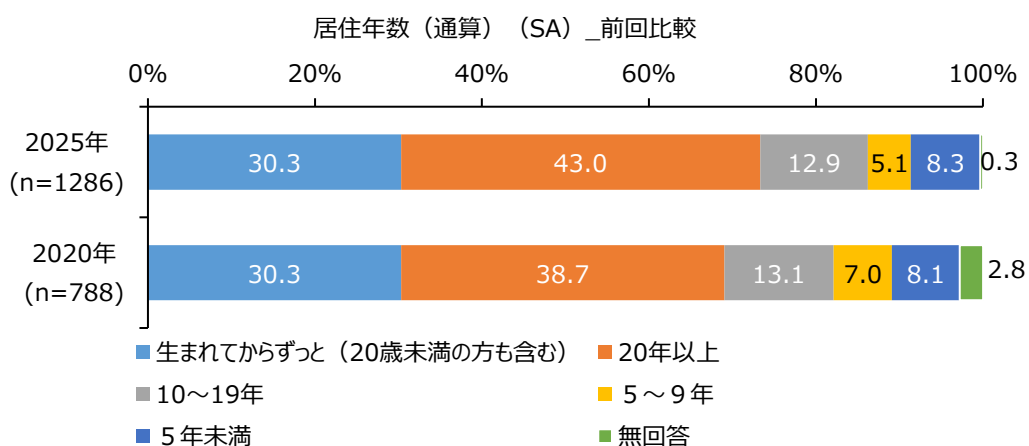
問 7 居住年数

あなたは、笛吹市に住みはじめてから何年になりますか。（1つに○印）

※ 進学や就職で一時的に市外へ転居していた場合、その前後の居住年数も通算してください。



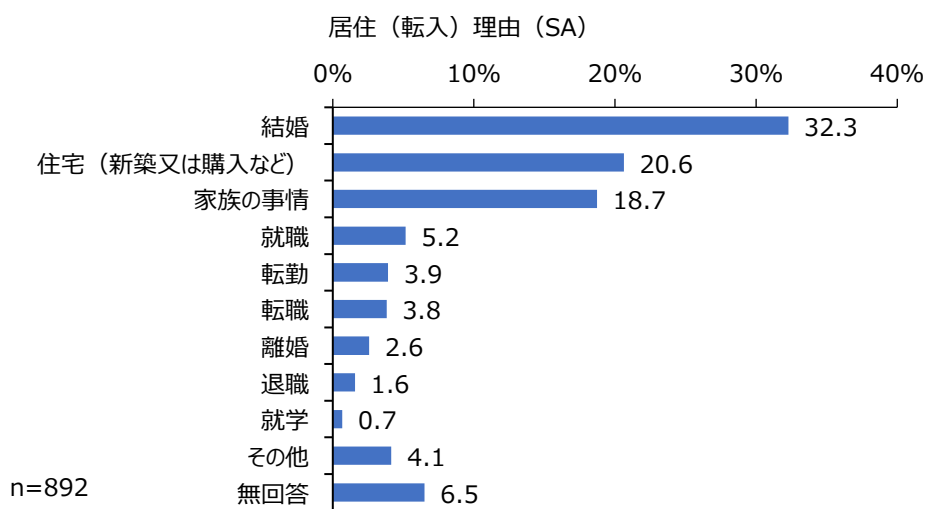
	n	%
生まれてからずっと（20歳未満の方も含む）	390	30.3
20年以上	553	43.0
10～19年	166	12.9
5～9年	66	5.1
5年未満	107	8.3
無回答	4	0.3
	1286	100.0



	2025年	2020年
生まれてからずっと（20歳未満の方も含む）	390	239
20年以上	553	305
10～19年	166	103
5～9年	66	55
5年未満	107	64
無回答	4	22
	1286	788

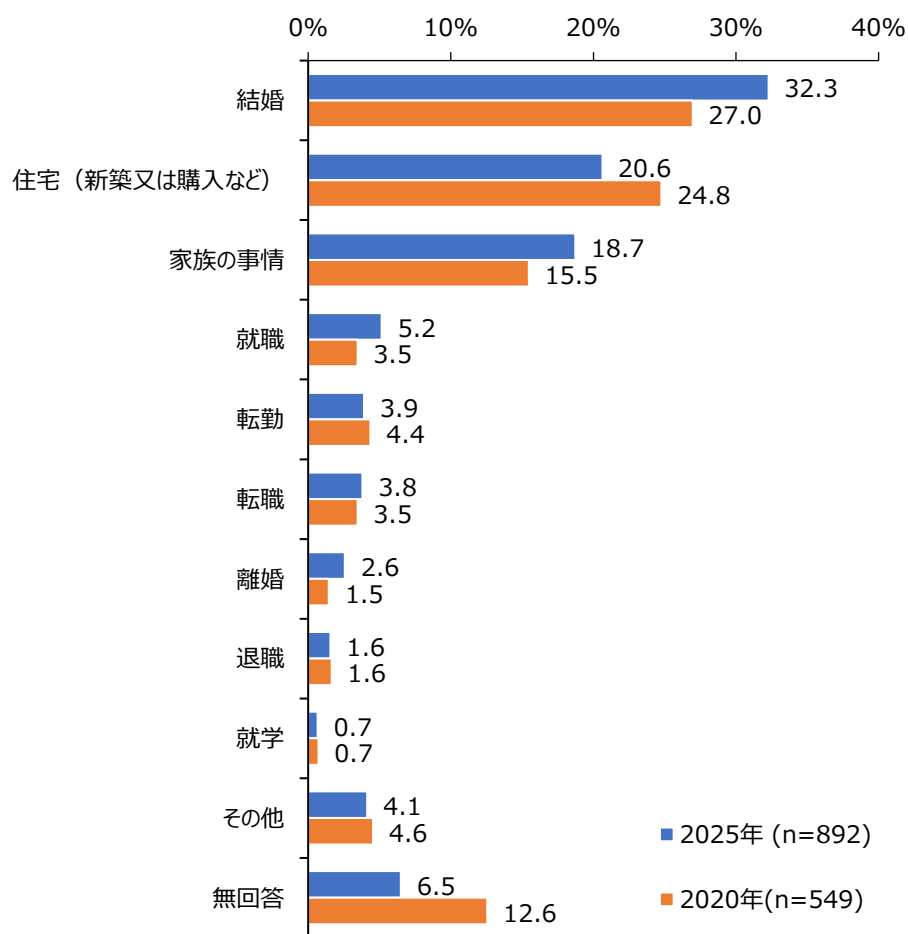
問 8 居住経験

あなたが、笛吹市に住むようになった主な理由は何ですか。（1つに○印）



	n	%
結婚	288	32.3
住宅（新築又は購入など）	184	20.6
家族の事情	167	18.7
就職	46	5.2
転勤	35	3.9
転職	34	3.8
離婚	23	2.6
退職	14	1.6
就学	6	0.7
その他	37	4.1
無回答	58	6.5
	892	100.0

居住（転入）理由（SA）_前回比較

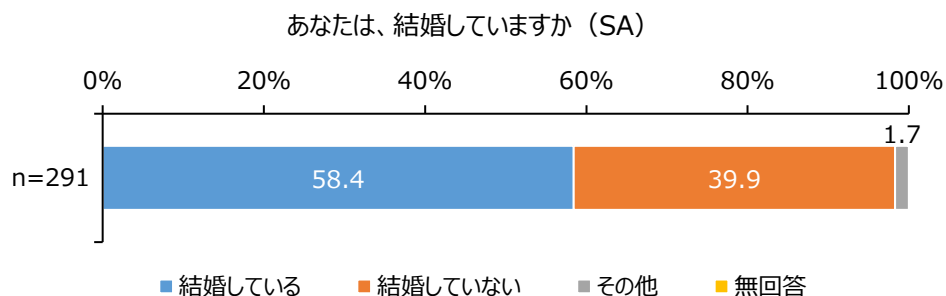


	2025	2020
転勤	35	24
就職	46	19
転職	34	19
退職	14	9
結婚	288	148
離婚	23	8
住宅（新築又は購入など）	184	136
就学	6	4
家族の事情	167	85
その他	37	28
無回答	58	69
	892	549

問 9 婚姻状況

【18～49 歳の女性の方】

あなたは、結婚していますか。（1 つに○印）



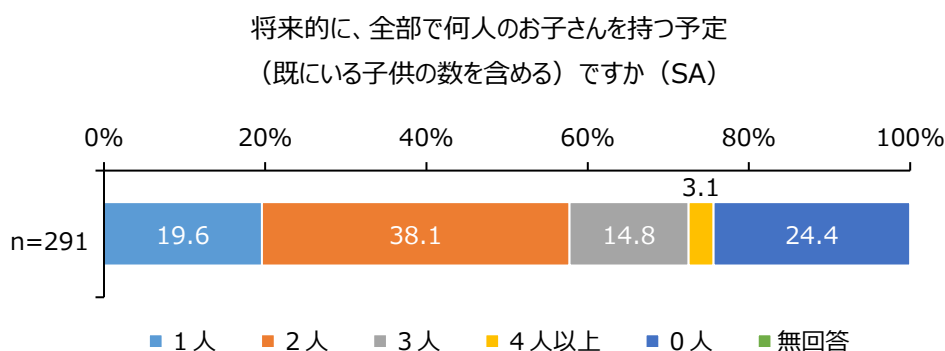
	n	%
結婚している	170	58.4
結婚していない	116	39.9
その他	5	1.7
無回答	0	0.0
	291	100.0

※本設問は今回が初めてのため前回比較はなし。

問 10 予定する子どもの数

【18～49 歳の女性の方】

あなたは、将来的に、全部で何人のお子さんを持つ予定（既にいる子供の数を含める）か教えてください。（1 つに○印）



	n	%
1人	57	19.6
2人	111	38.1
3人	43	14.8
4人以上	9	3.1
0人	71	24.4
無回答	0	0.0
	291	100.0

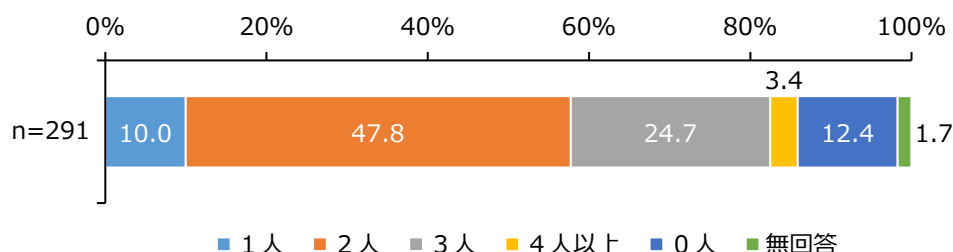
※本設問は今回が初めてのため前回比較はなし。

問 11 理想的な子どもの数

【18～49 歳の女性の方】

あなたが欲しいと思う理想的な子供の数は何人ですか。（1 つに○印）

あなたが欲しいと思う理想的な子供の数（SA）



	n	%
1人	29	10.0
2人	139	47.8
3人	72	24.7
4人以上	10	3.4
0人	36	12.4
無回答	5	1.7
	291	100.0

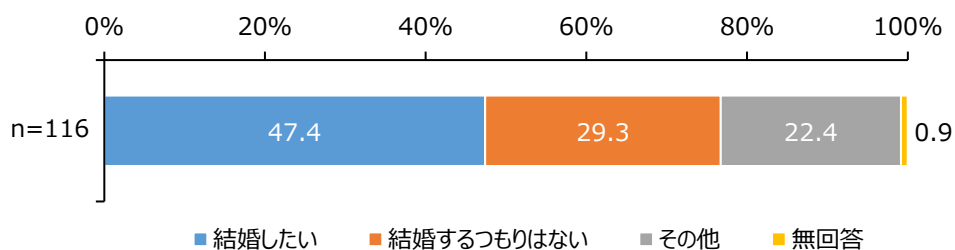
※本設問は今回が初めてのため前回比較はなし。

問 12 結婚の希望

【問 9 で「結婚していない」と回答した 18～49 歳女性の方】

あなたは、将来、結婚するつもりはありますか。（1 つに○印）

将来、結婚するつもりはありますか（SA）



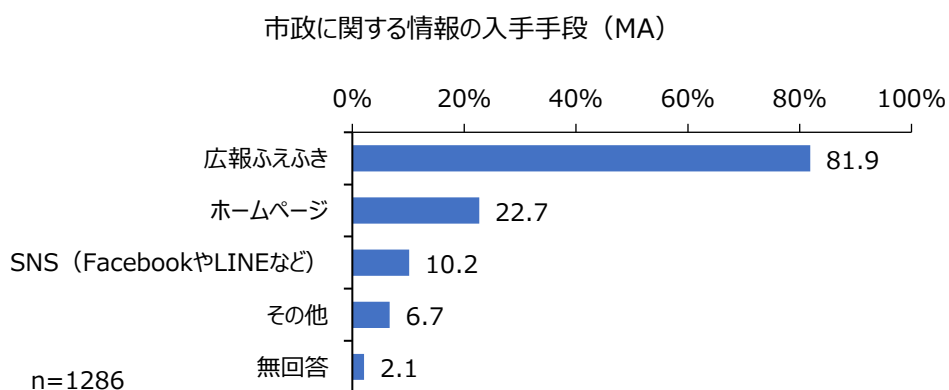
	n	%
結婚したい	55	47.4
結婚するつもりはない	34	29.3
その他	26	22.4
無回答	1	0.9
	116	100.0

※本設問は今回から初めてのため前回比較はなし。

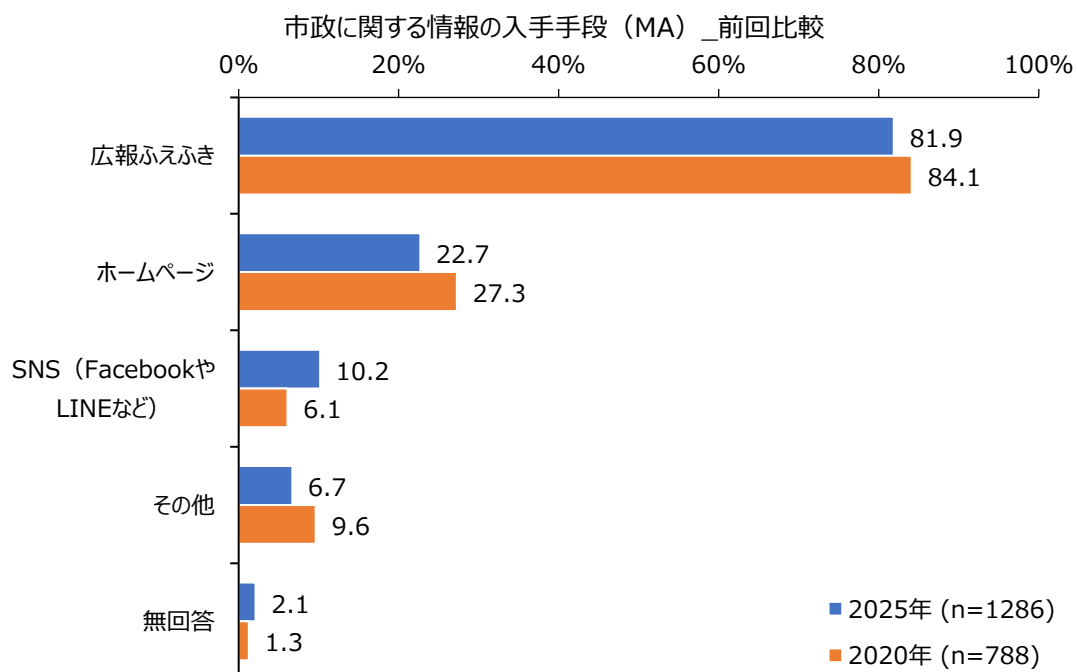
問 13 市政に関する情報の入手手段

あなたは、笛吹市の市政に関する情報をどのような方法で入手していますか。

(あてはまる番号全てに○印)



	n	%
広報ふえふき	1053	81.9
ホームページ	292	22.7
SNS (Facebook や LINE など)	131	10.2
その他	86	6.7
無回答	27	2.1
	1286	100.0



	2025年	2020年
広報ふえふき	1053	663
ホームページ	292	215
SNS (Facebook や LINE など)	131	48
その他	86	76
無回答	27	10
	1286	788

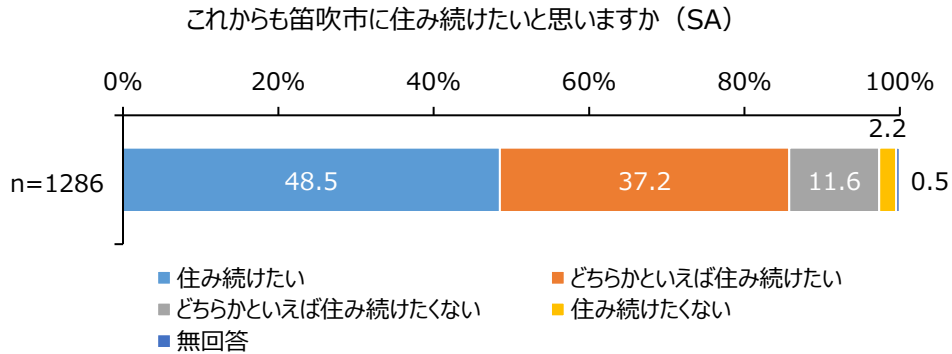
問 14 笛吹市に住み続けたいか

あなたは、これからも笛吹市に住み続けたいと思いますか。（1つに○印）

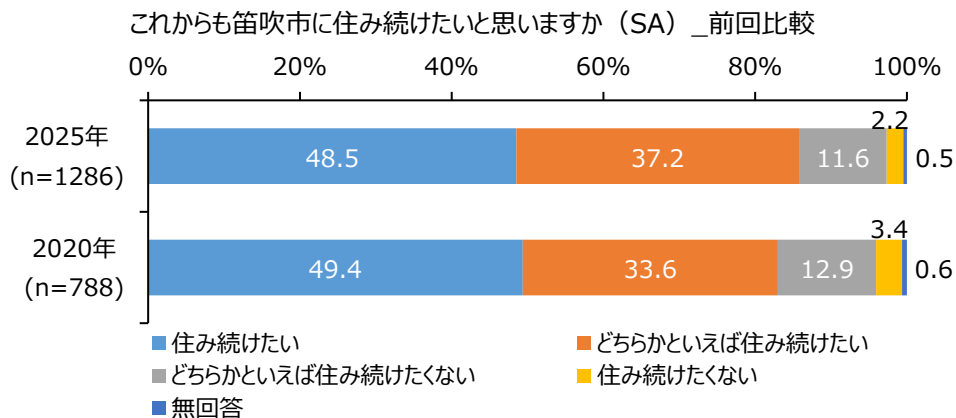
これからも笛吹市に住み続けたいかについては、「住み続けたい」が48.5%、「どちらかといえば住み続けたい」が37.2%となっており、8割強の市民が今後も住み続けたいと考えている様子がうかがえる。

年齢別では、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合が年齢を重ねるごとに高くなっている。

なお、前回の調査と比較した場合、変化はほとんど見られない。

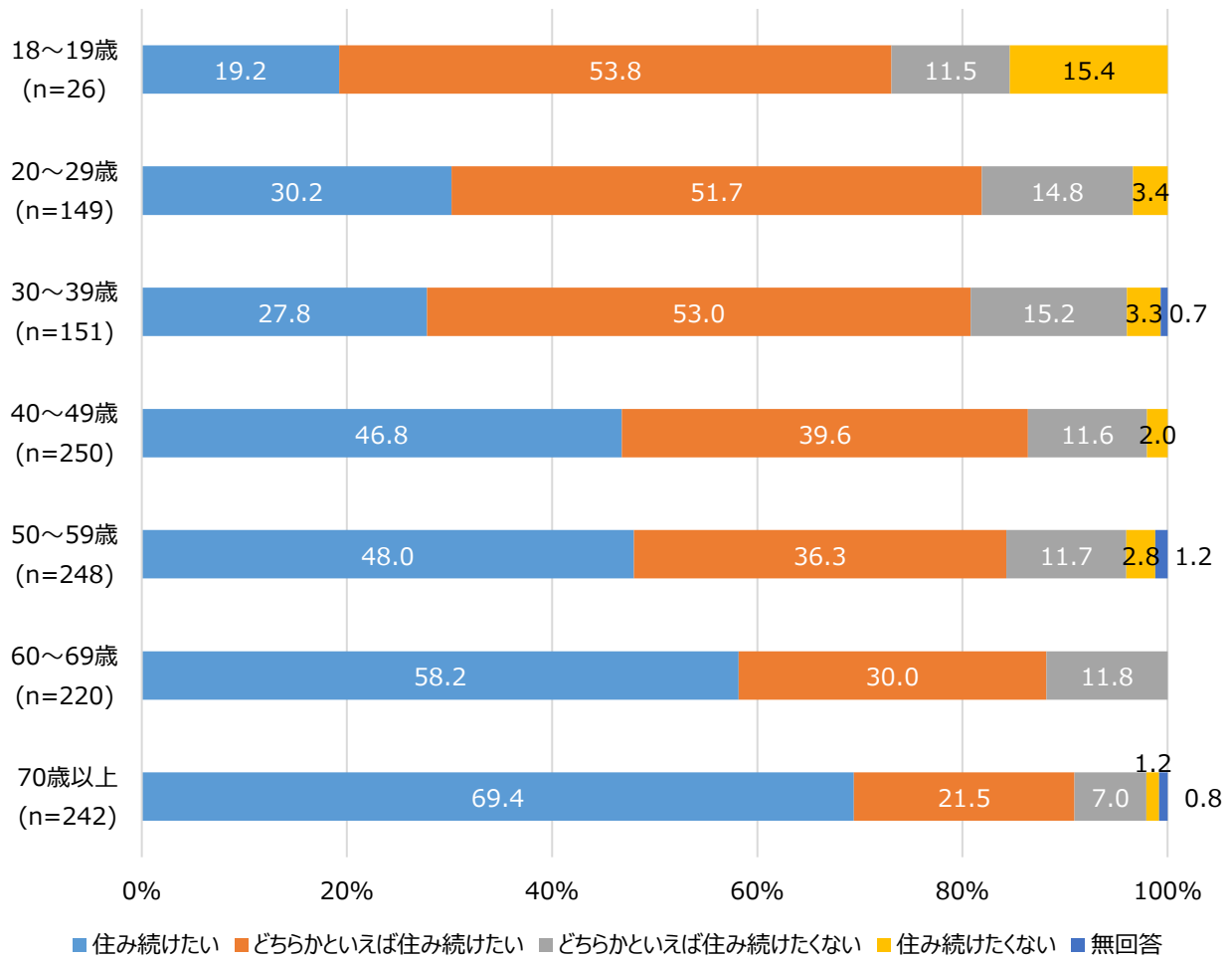


	n	%
住み続けたい	624	48.5
どちらかといえば住み続けたい	479	37.2
どちらかといえば住み続けたくない	149	11.6
住み続けたくない	28	2.2
無回答	6	0.5
	1286	100.0



	2025年	2020年
住み続けたい	624	389
どちらかといえば住み続けたい	479	265
どちらかといえば住み続けたくない	149	102
住み続けたくない	28	27
無回答	6	5
	1286	788

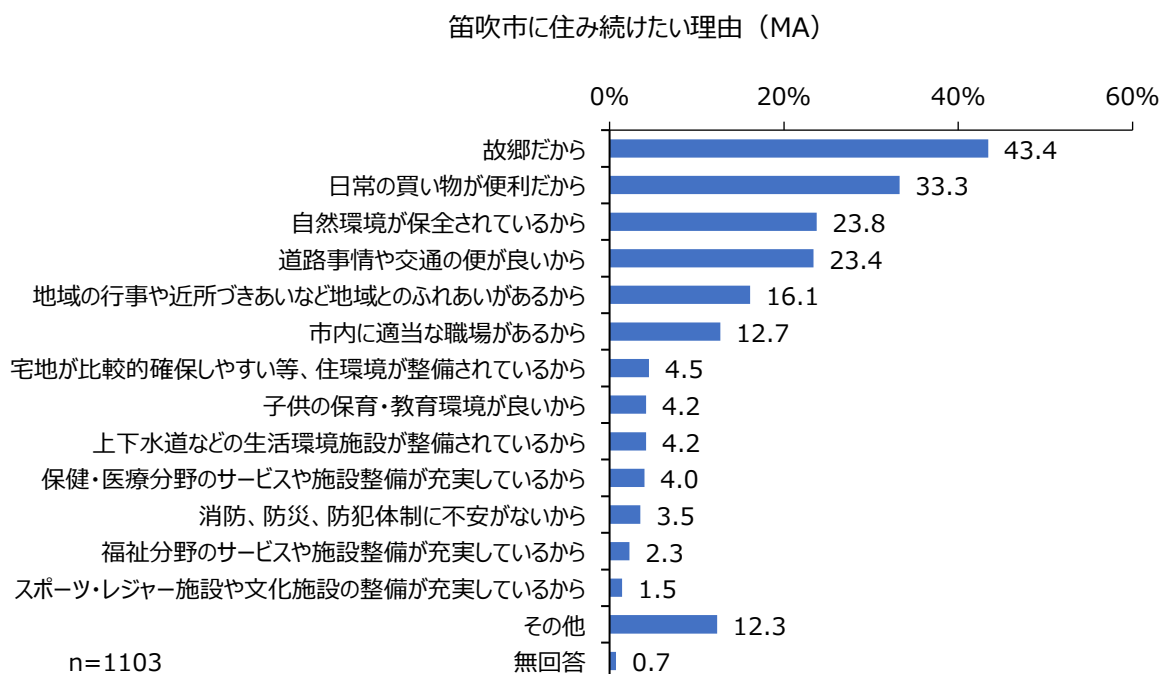
これからも笛吹市に住みたい×年齢【市民】



問 15 住み続けたい理由

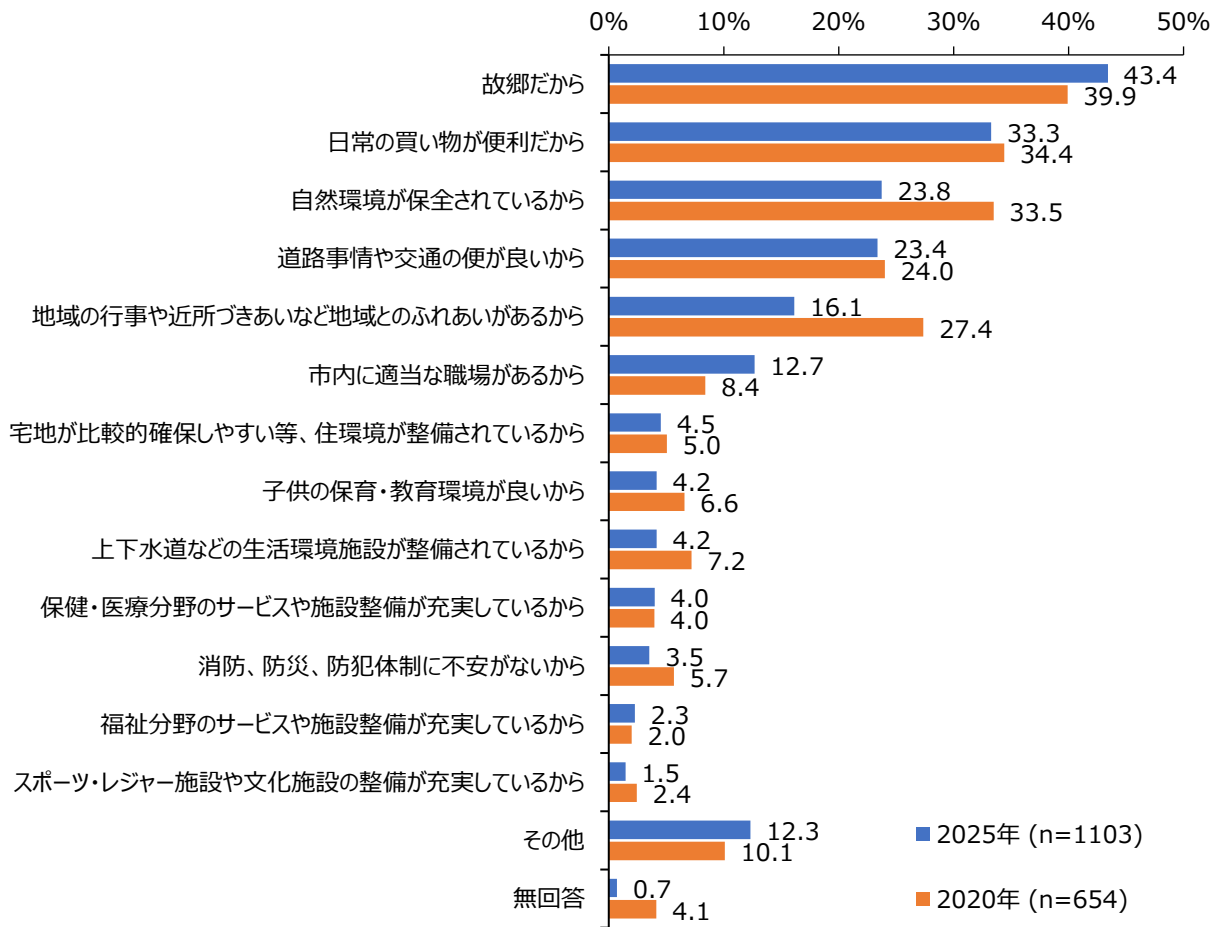
【問 14 で「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と答えた方】

その理由は何ですか。（最大 3 つまで○印）



	n	%
故郷だから	479	43.4
日常の買い物が便利だから	367	33.3
自然環境が保全されているから	262	23.8
道路事情や交通の便が良いから	258	23.4
地域の行事や近所づきあいなど地域とのふれあいがあるから	178	16.1
市内に適当な職場があるから	140	12.7
宅地が比較的確保しやすい等、住環境が整備されているから	50	4.5
子供の保育・教育環境が良いから	46	4.2
上下水道などの生活環境施設が整備されているから	46	4.2
保健・医療分野のサービスや施設整備が充実しているから	44	4.0
消防、防災、防犯体制に不安がないから	39	3.5
福祉分野のサービスや施設整備が充実しているから	25	2.3
スポーツ・レジャー施設や文化施設の整備が充実しているから	16	1.5
その他	136	12.3
無回答	8	0.7
	1103	100.0

笛吹市に住み続けたい理由（MA）_前回比較

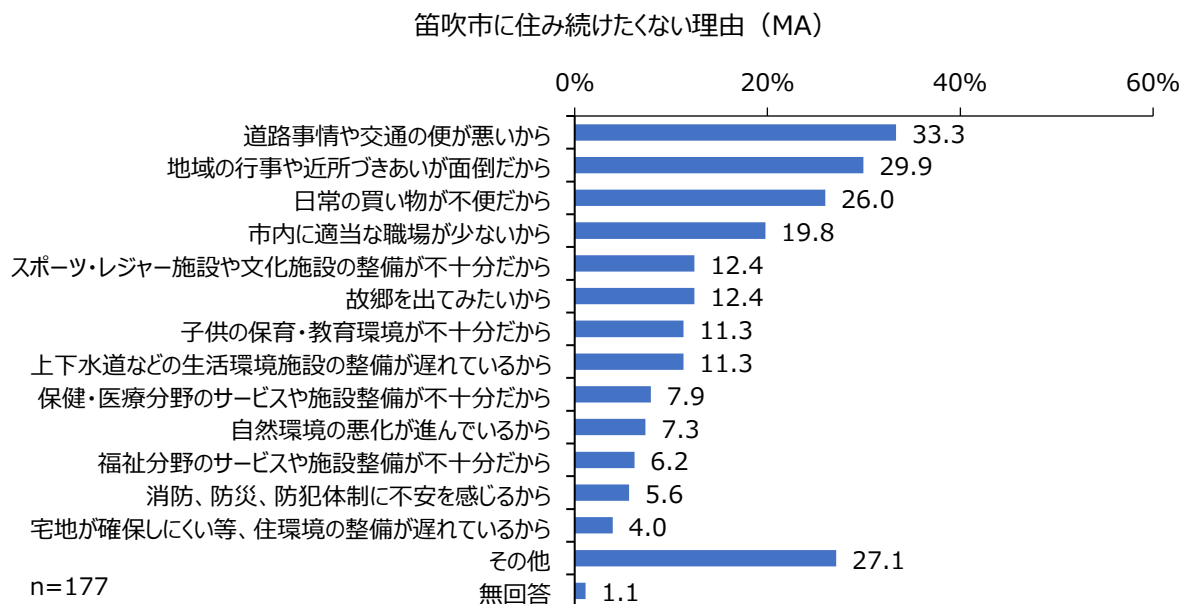


	2025年	2020年
故郷だから	479	261
日常の買い物が便利だから	367	225
自然環境が保全されているから	262	219
道路事情や交通の便が良いから	258	157
地域の行事や近所づきあいなど地域とのふれあいがあるから	178	179
市内に適当な職場があるから	140	55
宅地が比較的確保しやすい等、住環境が整備されているから	50	33
子供の保育・教育環境が良いから	46	43
上下水道などの生活環境施設が整備されているから	46	47
保健・医療分野のサービスや施設整備が充実しているから	44	26
消防、防災、防犯体制に不安がないから	39	37
福祉分野のサービスや施設整備が充実しているから	25	13
スポーツ・レジャー施設や文化施設の整備が充実しているから	16	16
その他	136	66
無回答	8	27
	1103	654

※前問で「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と答えた方

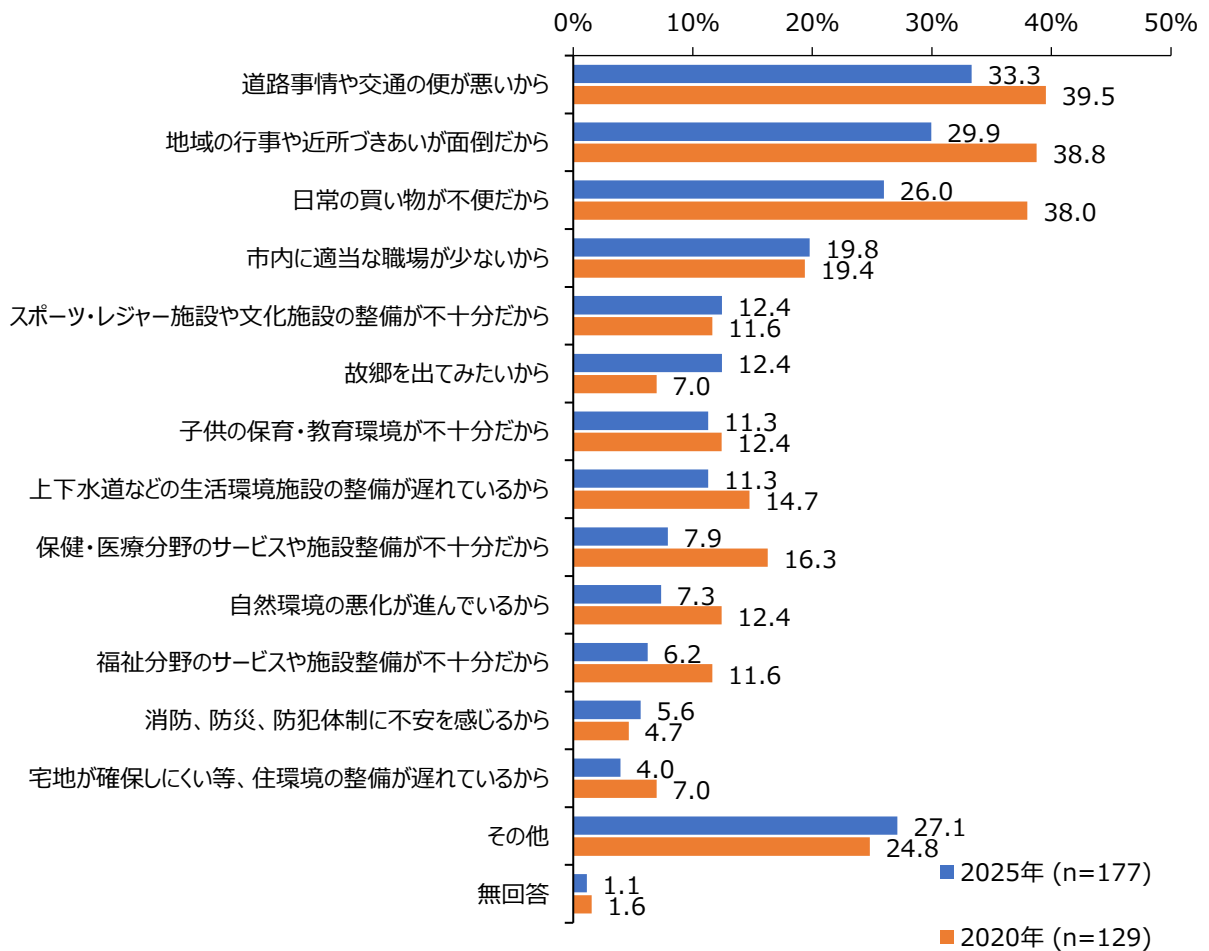
問 16 住み続けたくない理由

【問 14 で「どちらかといえば住み続けたくない」又は「住み続けたくない」と答えた方】
その理由は何ですか。（最大 3 つまで○印）



	n	%
道路事情や交通の便が悪いから	59	33.3
地域の行事や近所づきあいが面倒だから	53	29.9
日常の買い物不便だから	46	26.0
市内に適当な職場が少ないから	35	19.8
スポーツ・レジャー施設や文化施設の整備が不十分だから	22	12.4
故郷を出てみたいから	22	12.4
子供の保育・教育環境が不十分だから	20	11.3
上下水道などの生活環境施設の整備が遅れているから	20	11.3
保健・医療分野のサービスや施設整備が不十分だから	14	7.9
自然環境の悪化が進んでいるから	13	7.3
福祉分野のサービスや施設整備が不十分だから	11	6.2
消防、防災、防犯体制に不安を感じるから	10	5.6
宅地が確保しにくい等、住環境の整備が遅れているから	7	4.0
その他	48	27.1
無回答	2	1.1
	177	100.0

笛吹市に住み続けたくない理由（MA）_前回比較



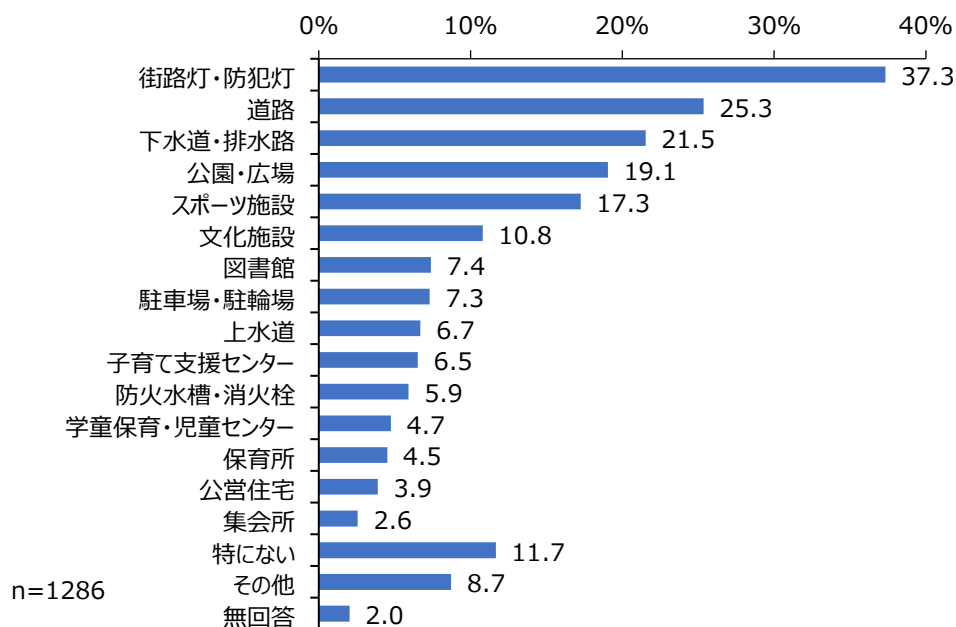
	2025年	2020年
道路事情や交通の便が悪いから	59	51
地域の行事や近所づきあいが面倒だから	53	50
日常の買い物が不便だから	46	49
市内に適当な職場が少ないから	35	25
スポーツ・レジャー施設や文化施設の整備が不十分だから	22	15
故郷を出てみたいから	22	9
子供の保育・教育環境が不十分だから	20	16
上下水道などの生活環境施設の整備が遅れているから	20	19
保健・医療分野のサービスや施設整備が不十分だから	14	21
自然環境の悪化が進んでいるから	13	16
福祉分野のサービスや施設整備が不十分だから	11	15
消防、防災、防犯体制に不安を感じるから	10	6
宅地が確保しにくい等、住環境の整備が遅れているから	7	9
その他	48	32
無回答	2	2
	177	129

※前問で「どちらかといえば住み続けたくない」又は「住み続けたくない」と答えた方

問 17 必要だと思う公共施設等の整備や充実

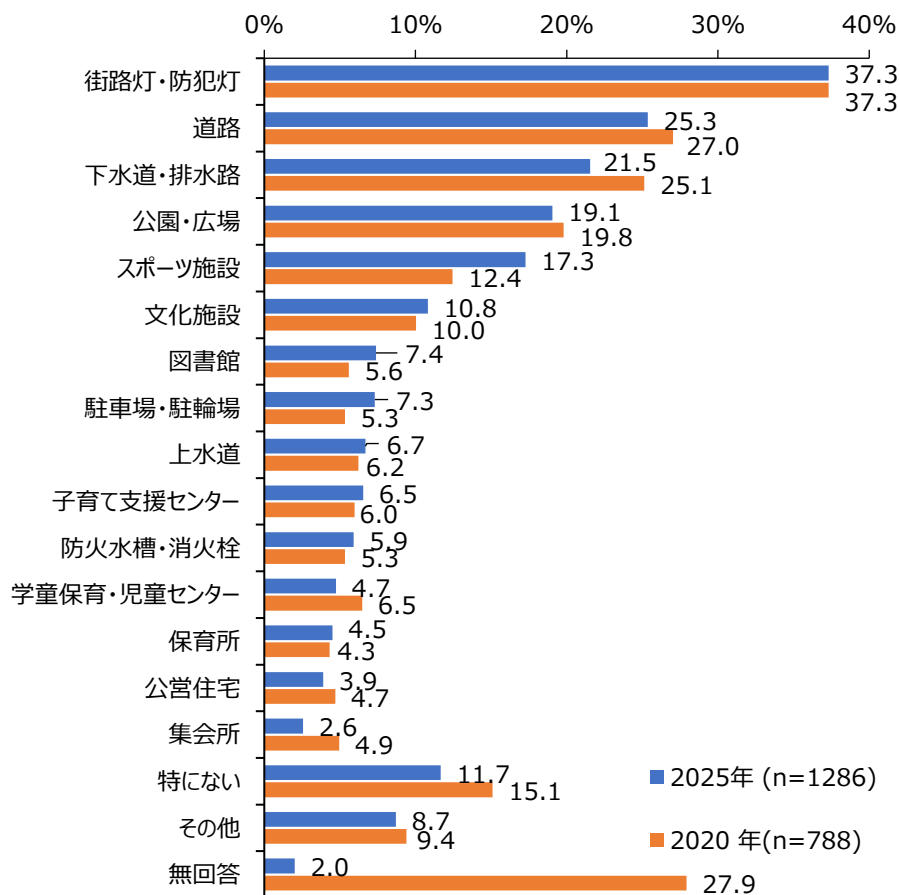
お住まいの身近な住環境の中で、特にどのような公共施設等の整備や充実が必要だと思いますか。
(最大3つまで○印)

必要だと思う公共施設等の整備や充実 (MA)



	n	%
街路灯・防犯灯	480	37.3
道路	326	25.3
下水道・排水路	277	21.5
公園・広場	245	19.1
スポーツ施設	222	17.3
文化施設	139	10.8
図書館	95	7.4
駐車場・駐輪場	94	7.3
上水道	86	6.7
子育て支援センター	84	6.5
防火水槽・消火栓	76	5.9
学童保育・児童センター	61	4.7
保育所	58	4.5
公営住宅	50	3.9
集会所	33	2.6
特にない	150	11.7
その他	112	8.7
無回答	26	2.0
	1286	100.0

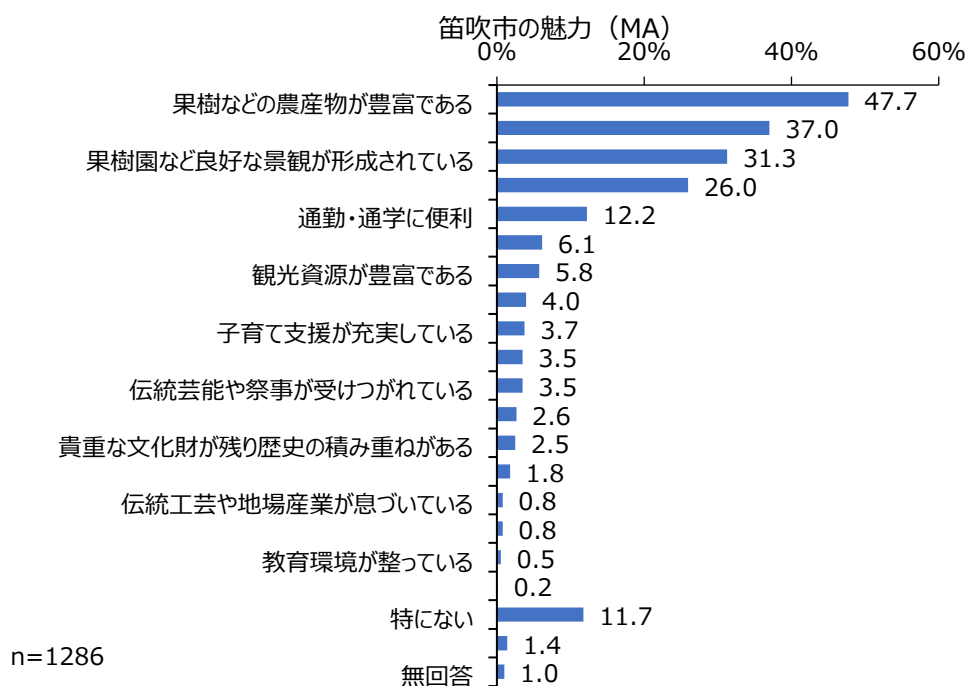
必要だと思う公共施設等の整備や充実（MA）_前回比較



	2025年	2020年
街路灯・防犯灯	480	294
道路	326	213
下水道・排水路	277	198
公園・広場	245	156
スポーツ施設	222	98
文化施設	139	79
図書館	95	44
駐車場・駐輪場	94	42
上水道	86	49
子育て支援センター	84	47
防火水槽・消火栓	76	42
学童保育・児童センター	61	51
保育所	58	34
公営住宅	50	37
集会所	33	39
特にない	150	119
その他	112	74
無回答	26	220
	1286	788

問 18 笛吹市の魅力

笛吹市の魅力は何だと思いますか。（最大3つまで○印）

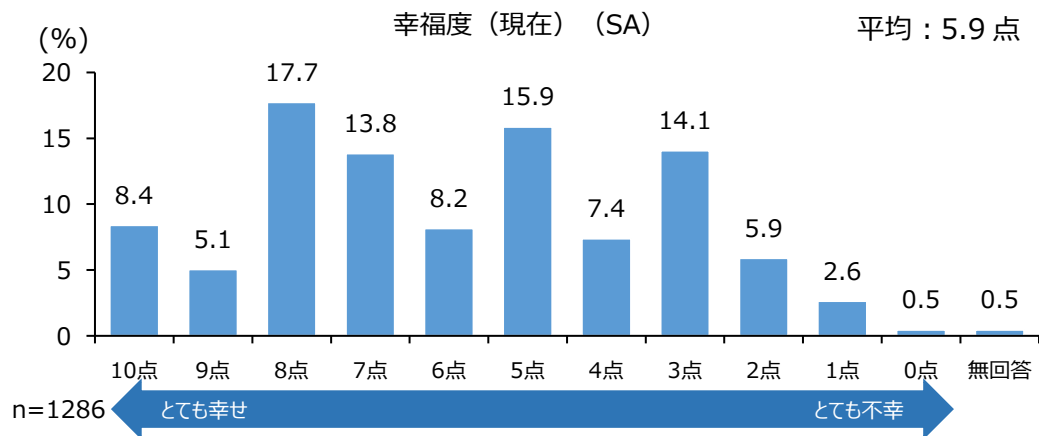


	n	%
果樹などの農産物が豊富である	614	47.7
豊かな自然に恵まれている	476	37.0
果樹園など良好な景観が形成されている	402	31.3
日常の買い物に便利	334	26.0
通勤・通学に便利	157	12.2
年齢、性別、国籍などに関わらず、誰もが暮らしやすい	79	6.1
観光資源が豊富である	74	5.8
道路網が発達している	51	4.0
子育て支援が充実している	48	3.7
住宅が増え、街としての活気がある	45	3.5
伝統芸能や祭事が受けつがれている	45	3.5
福祉や医療が充実している	34	2.6
貴重な文化財が残り歴史の積み重ねがある	32	2.5
文化やスポーツ、学びの活動環境が充実している	23	1.8
伝統工芸や地場産業が息づいている	10	0.8
市民や団体がまちづくりに積極的に参加している	10	0.8
教育環境が整っている	7	0.5
企業誘致が進み、産業が活発である	2	0.2
特にない	151	11.7
その他	18	1.4
無回答	13	1.0
	1286	100.0

※本設問は今回が初めてのため前回比較はなし。

問 19 現在の幸福度

あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点として、御記入ください。
(1 つに○印)



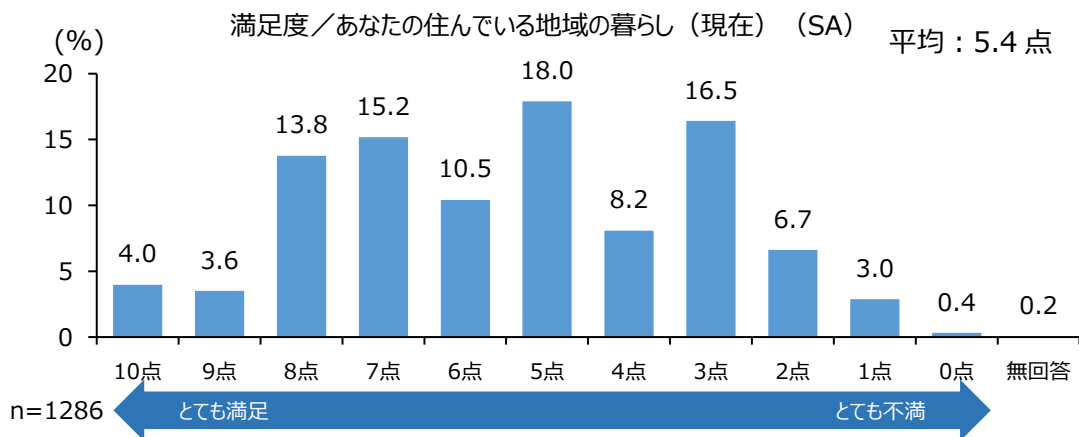
	n	%
10点	108	8.4
9点	65	5.1
8点	228	17.7
7点	178	13.8
6点	105	8.2
5点	204	15.9
4点	95	7.4
3点	181	14.1
2点	76	5.9
1点	34	2.6
0点	6	0.5
無回答	6	0.5
	1286	100.0

問 20 地域の暮らしの満足度

現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を 10 点、「とても不満」を 0 点として、御記入ください。（1 つに○印）

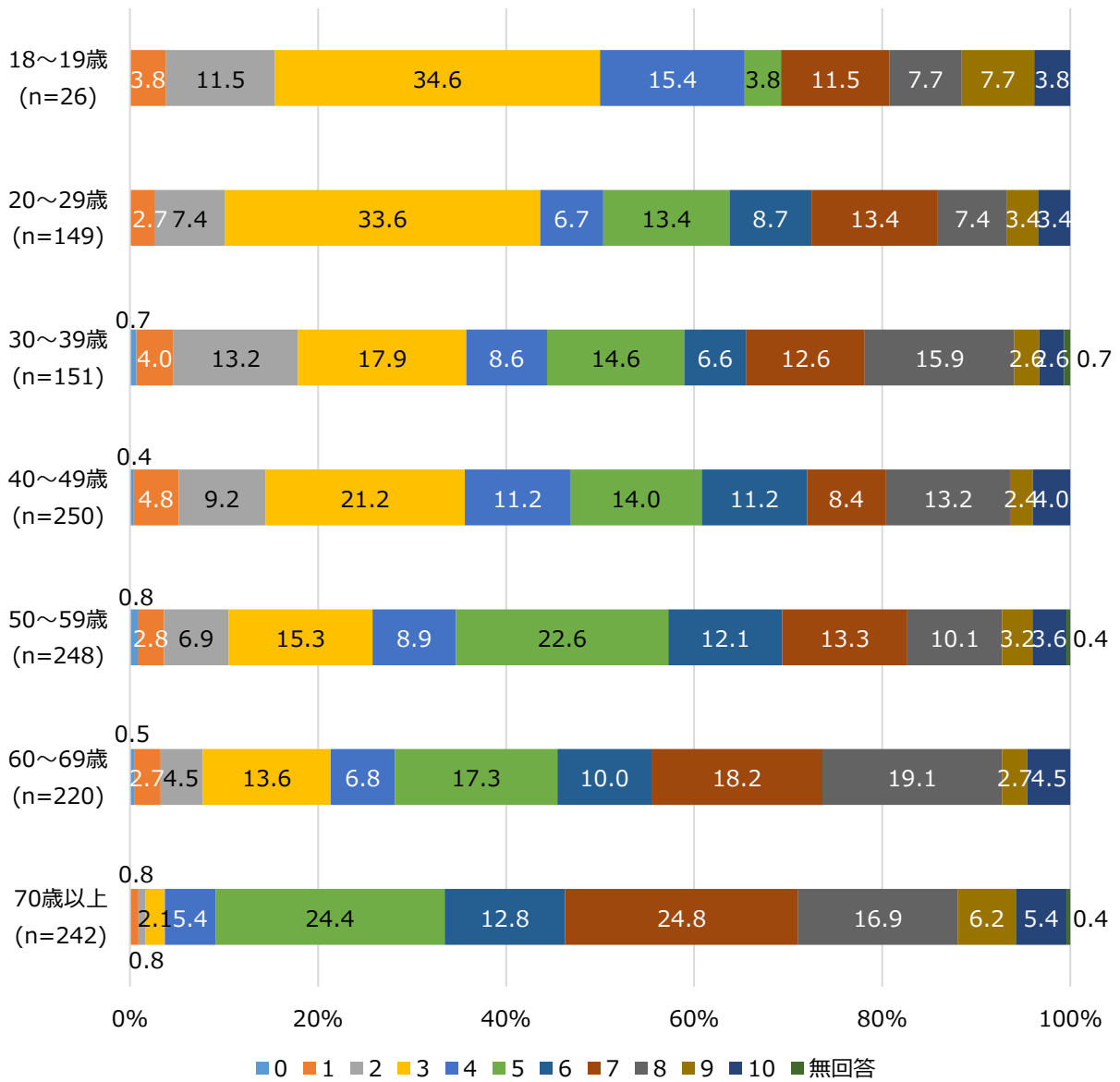
地域の暮らしの満足度（「とても満足」を 10 点、「とても不満」を 0 点）は、「5 点」が 18.0%で最も高く、次いで「3 点」が 16.5%、「7 点」が 15.2%となっており、中間値の「5 点」以上が 7 割弱と、地域の暮らし全体の満足度について比較的高い結果となっている。

また、年齢別では、20～29 歳と 40～49 歳で「5 点」以下の割合が多い結果となっている。



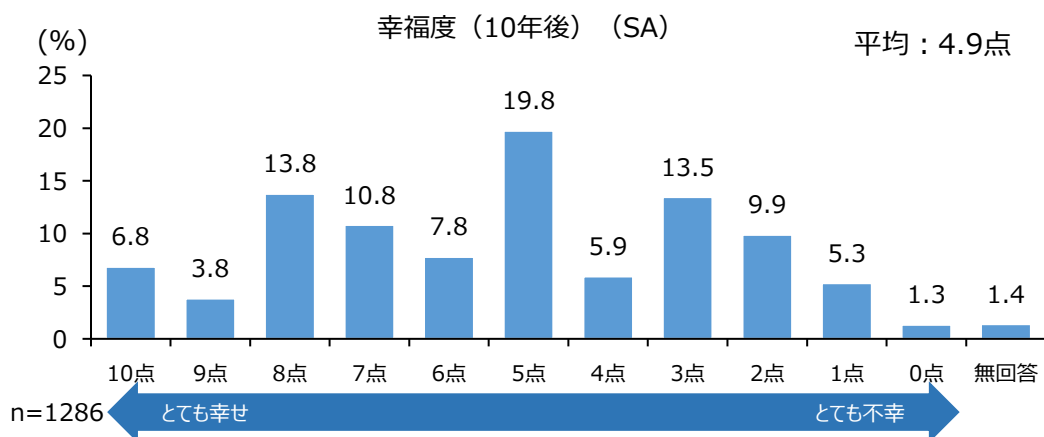
	n	%
10点	52	4.0
9点	46	3.6
8点	178	13.8
7点	196	15.2
6点	135	10.5
5点	231	18.0
4点	105	8.2
3点	212	16.5
2点	86	6.7
1点	38	3.0
0点	5	0.4
無回答	2	0.2
	1286	100.0

地域満足度×年齢【市民】



問 21 10年後の幸福度

今から10年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、御記入ください。（1つに○印）



	n	%
10点	88	6.8
9点	49	3.8
8点	177	13.8
7点	139	10.8
6点	100	7.8
5点	254	19.8
4点	76	5.9
3点	173	13.5
2点	127	9.9
1点	68	5.3
0点	17	1.3
無回答	18	1.4
	1286	100.0

市民等の満足度

まずは、笛吹市民等と山梨県民における満足度について、項目別で比較したものが次の図のとおりとなっている。

全体的に山梨県民の平均値よりも笛吹市民等の平均値の方が高い結果となっている。特に、緑色の枠で囲った項目は高い数値となっている。

具体的には、「相談できる身近な人」を始め、「集落への愛着」「観光資源」「農業活動」「自然の身近さ」「環境への取組」「心地よく歩ける場所」「近隣での手助け」「地域活動への参加」「行政職員への信頼」、そして「行政の取組」が挙げられる。

これらの結果から、笛吹市の大きな魅力でもある自然の豊かさや桃・ぶどうなどの果樹栽培を中心とした農業、そして石和温泉郷を始めとした観光産業への満足度が高い。また、比較的身近な存在である行政に対する信頼の高さや、地域の中で互いに助け合いながら、何かあれば地域内や行政に気軽に相談できる環境にあることに対し、満足している様子がうかがえる結果となっている。

なお、一部の項目については、市独自で設定しているため、県のデータはない。

一方で、笛吹市民等の満足度を単独で項目別かつ年齢別に見た場合、課題がいくつか浮かび上がってきた。

先に触れたとおり、20歳代の幸福度が低い中で、赤色の枠で囲った項目について、そうした若者を取り巻く環境に対する満足度が低い結果となっている。

具体的には、「若者の活躍しやすさ」を始め、「学びたいことが学べる機会」「やりたい仕事の見つけやすさ」「適切な収入を得る機会」「新たな事に挑戦・成長する機会」「公共交通機関での移動」「女性の活躍しやすさ」が挙げられる。

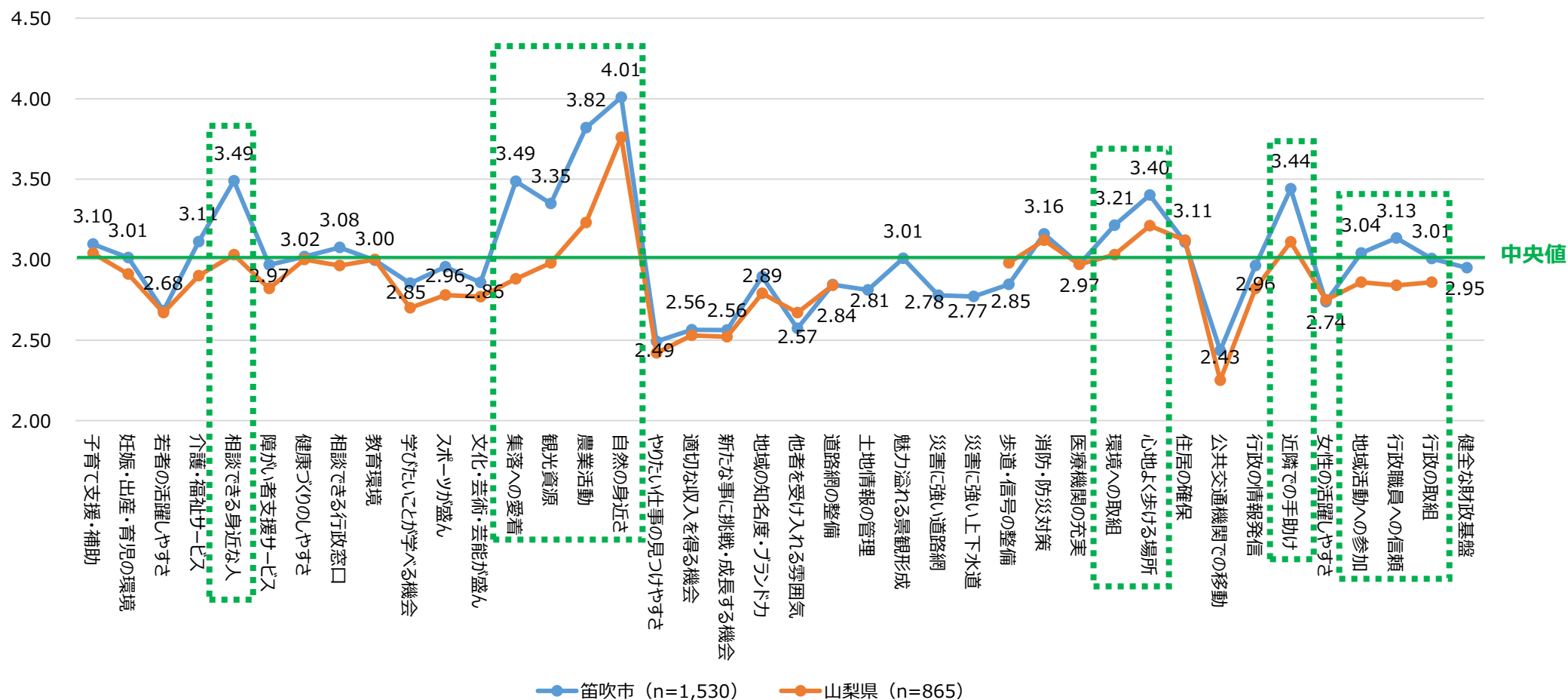
加えて、これらの項目が低いのは、18～19歳や20～30歳代の若者だけではなく、40歳代の低さも目立つ結果となっており、子育て世代が自身の子供の将来を考えながら回答している様子が窺える。

また、全体のうち最も低い数値として、「公共交通機関での移動」が挙げられる。これは山梨県全体でも低い数値となっていることから、笛吹市だけの課題とは言えないが、高齢者だけでなく、高校生や大学生が移動する際の交通手段の確保も重要な要素として考えられる。

問 22 重要度・満足度

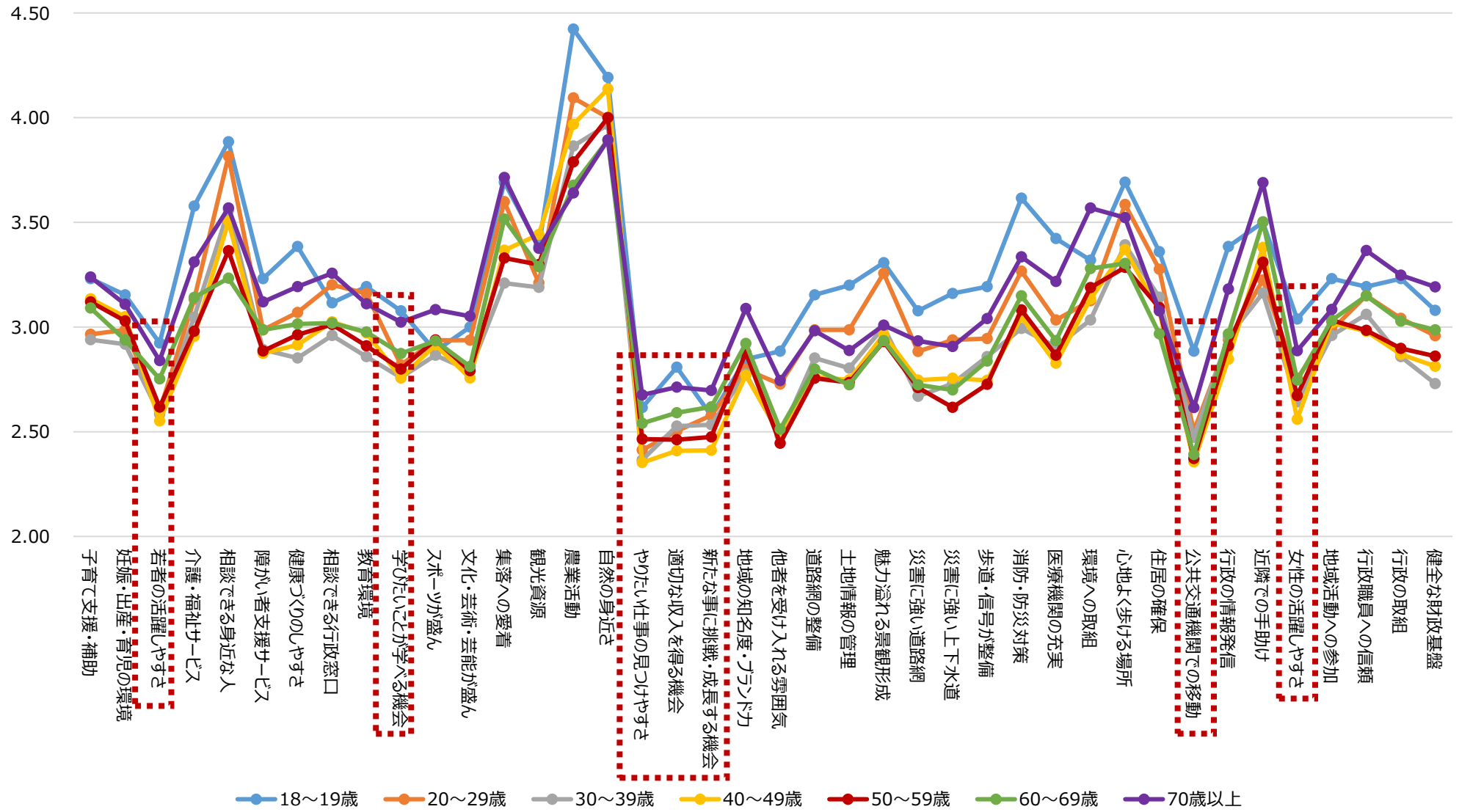
笛吹市での暮らしの満足度について、あなたの実感に最も近いものを教えてください。また、その項目についてどの程度重要だと感じていますか。以下の全ての設問項目について、①満足度（5段階）及び②重要度（3段階）のそれぞれ1つずつに○印を御記入ください。

【満足度（項目別・山梨県との比較）】※各項目の平均値（笛吹市のみ数値を表示）、3.0が中央値



山梨県のデータの出典：「山梨総合研究所・令和7年度自主研究「“シン”やまなし未来共創プロジェクト」調査」

【満足度（項目別・年代別）】※各項目の平均値



地域に対する満足度と重要度

笛吹市の暮らしに対する 40 項目について、市民等の満足度（5 段階）及び重要度（3 段階）に係る回答結果の平均値を以下にまとめる。

「どちらでもない」を 0、満足度及び重要度の最大・最小値を±2とした場合、満足度については、市民、事業者（68 ページ）及び農業者（110 ページ）のいずれの結果においても、多くの項目についてプラスの傾向が見られるものの、赤色の枠で囲った箇所で、重要度が高く満足度が低い項目が複数見られた。

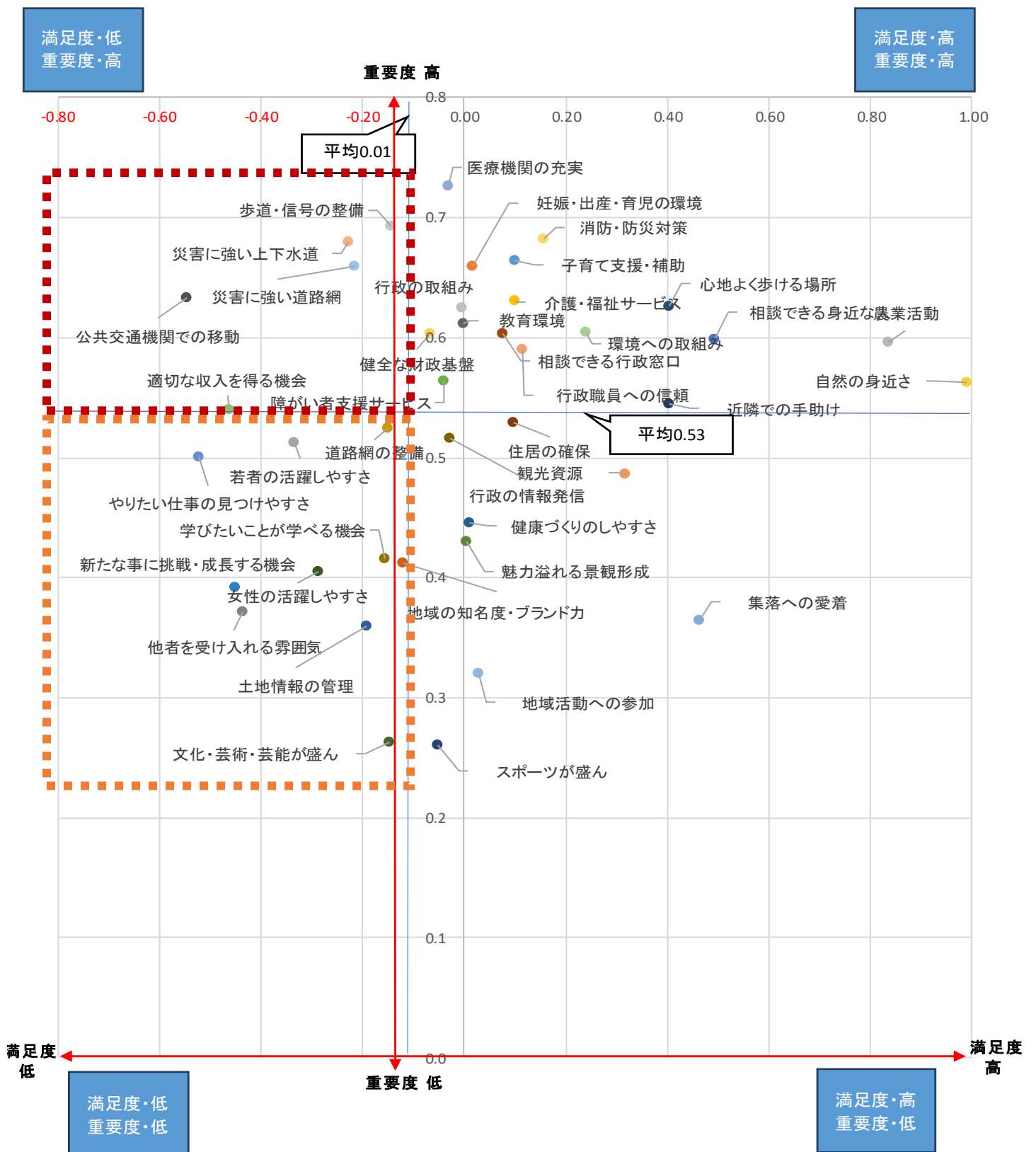
具体的には、共通して、「災害に強い道路網」「災害に強い上下水道」「歩道・信号の整備」、そして「公共交通機関での移動」が挙げられ、インフラ整備に関する項目が多い（赤色の枠内）。

また、オレンジ色の枠で囲った箇所は、重要度は高くないものの、満足度も低い項目である。具体的には、同様にインフラ整備に関する項目として、「道路網の整備」や「土地情報の管理」のほか、「若者の活躍しやすさ」を始め、「やりたい仕事の見つけやすさ」「新たな事に挑戦・成長する機会」「学びたいことが学べる機会」といった項目や、「女性の活躍しやすさ」も挙げられている。

重要度については、全ての項目についてプラスとなっているが、その中でも、医療、安全・安心、福祉、教育、環境などについて、平均を上回る傾向が見られる。

これらの結果から、満足度が高く重要度も高い項目については、引き続き施策を維持していくことが必要となる「維持する分野」、また、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い項目については、改善に向けた取組が必要となる「改善が必要な分野」と分類することができる。

【地域に対する市民の満足度・重要度】



問 23 自由意見

笛吹市やお住まいの地域について、日頃感じていることや、これからのまちづくりに向けての意見・提案などあれば、御自由にお書きください。

【寄せられたご意見の一部抜粋】

高齢者支援について

- のるーとなど、交通手段をもっと充実し、高齢者の運転免許証の返納に力を入れてほしいです。（境川町・女性/20～29 歳）
- 笛吹市が大好きで、結婚後もずっと住んでいます。年金一人暮らしの高齢者が移動できるように、マイクロバスなどが増えると良いと思います。免許がない高齢者は少し不便だと思います。若い人は組に入ることためらう人もいると思うので、そのあたりも少し考える必要があると感じます。住みやすさがもっと広がれば、と思います。（石和町・女性/40～49 歳）
- 少子高齢化社会となり、地区内での諸行事なども盛り上がり、介護・福祉の充実などで福祉センターに高齢者が集められ、地域内に残される。高齢者は一人ぼっちで地区内を歩いても人に会わず、一日誰とも会話をしなかったなど、よく耳にする。のる～とで出掛けやすい方法は取り組まれたが、高齢者は一人で予約、乗る場所が遠く利用出来ないなど、利用しない人も多い。市内の施設数など石和町についてはいろいろ開発されているが、八代町など周囲には、人が集まるような機会もなく、なんとなく寂しさを感じる。（一宮町・女性/70 歳以上） など

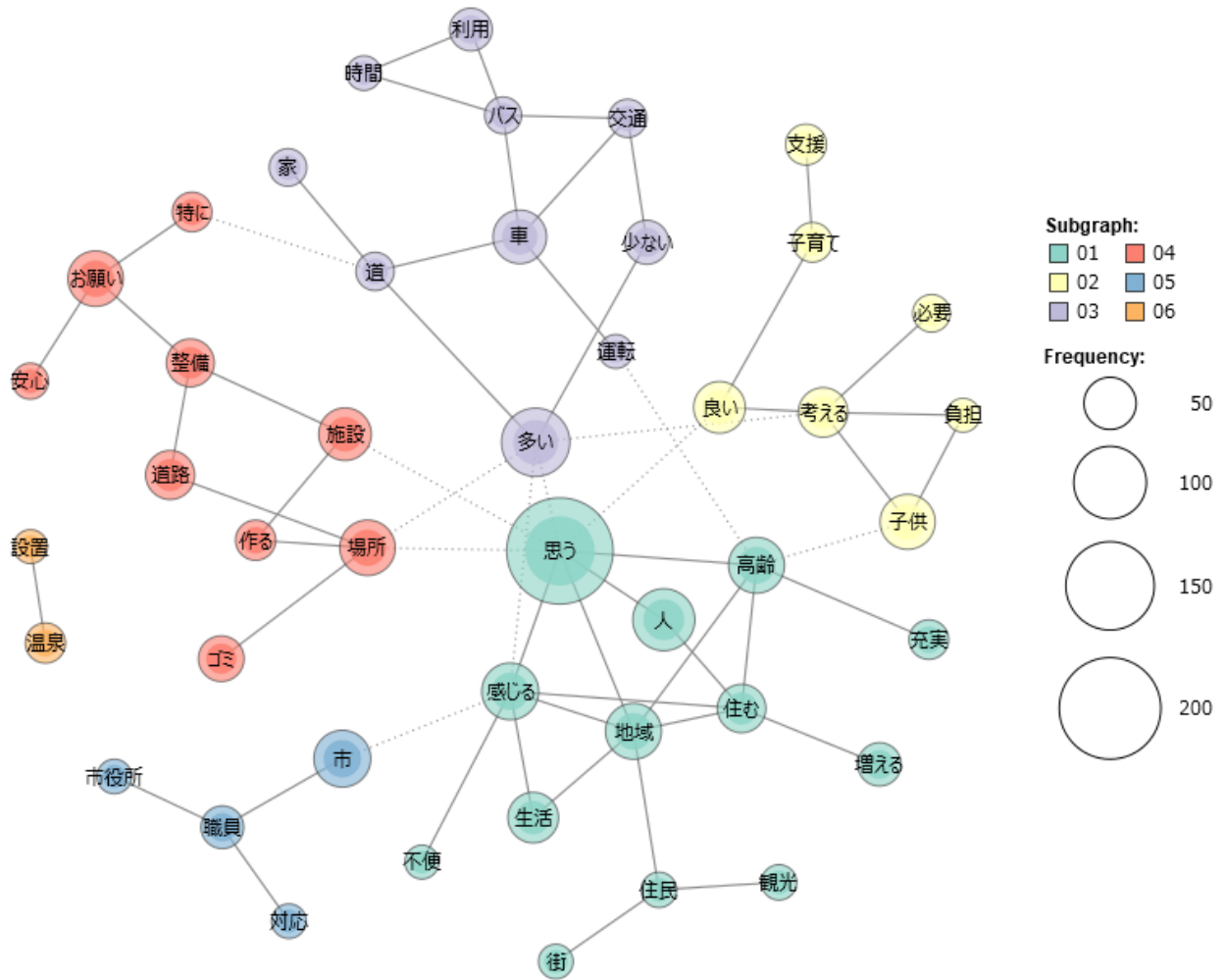
地域について

- 地域、隣近所の助け合いが無くなってきているので、1 人暮らしの方や障がいのある方、高齢者等が困っているとき、迅速に対応できるシステムや人材が充実していると良いです。（境川町・女性/50～59 歳）
- 高齢者世帯が多くなっており、地域の役員のなり手が減っている。若い方への負担もあり、地区・組の活動が難しくなっている。（石和町・女性/60～69 歳）
- 核家族化が進んだ現在、身近に手助けをしてくれる人が必要だと感じる。（石和町・女性/70 歳以上） など

農業について

- 私は桃やぶどうなどの農業が盛んで自然豊かな笛吹市がとても好きです。また笛吹市のイメージキャラクターであるフッキーとともに成長してきたことにも深い親しみを感じています。私の大好きな笛吹市がこれからもますます繁栄し、さらに暮らしやすいまちになることを心より願っています。（一宮町・女性/20～29 歳）
- 農業をしています。高温対策、後継者対策として、新規畑灌参加事業をしてほしい。空畑の活用。空き家の木の伐採。害鳥、害獣の調査をしてほしいし、それに対して対策を取ってほしい。（御坂町・男性/40～49 歳）

また、次の図は、各単語の円が大きいほど頻度の多さを示しているとともに、関係性の強い単語同士で色別のネットワークを構築しています。

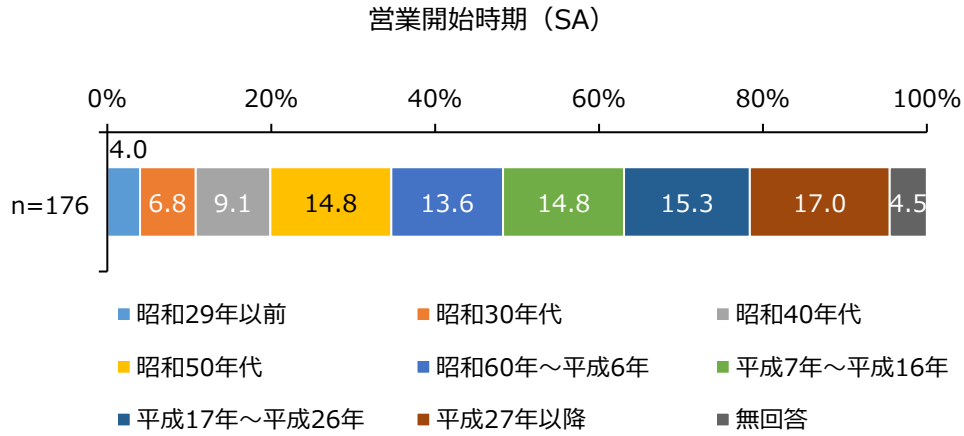


※フリーソフトウェアの KH Coder を使用して作成

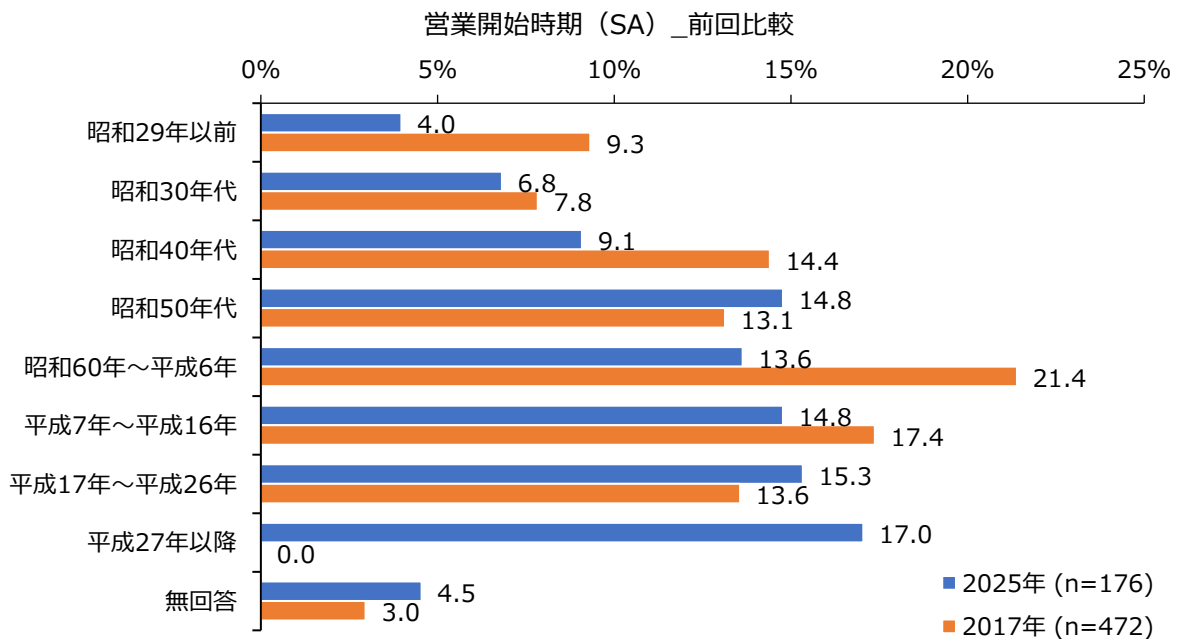
第3部 調査結果（事業者）

はじめに、貴事業所の概要についておたずねします。（それぞれの項目について、あてはまるもの1つに○印）

問 1-1 営業開始時期



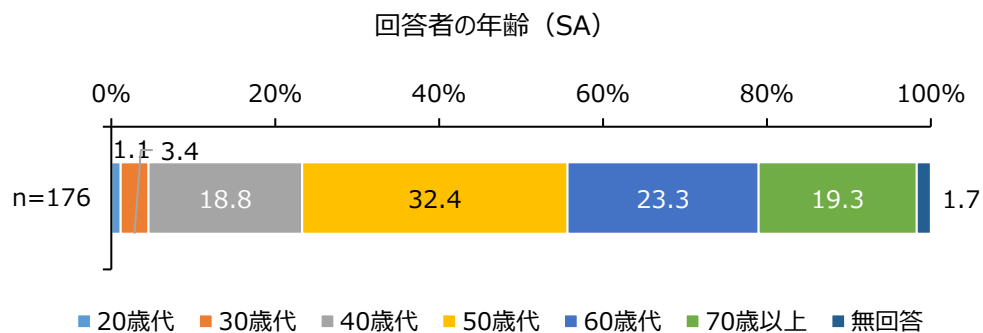
	n	%
昭和 29 年以前	7	4.0
昭和 30 年代	12	6.8
昭和 40 年代	16	9.1
昭和 50 年代	26	14.8
昭和 60 年～平成 6 年	24	13.6
平成 7 年～平成 16 年	26	14.8
平成 17 年～平成 26 年	27	15.3
平成 27 年以降	30	17.0
無回答	8	4.5
	176	100.0



	2025年	2017年
昭和29年以前	7	44
昭和30年代	12	37
昭和40年代	16	68
昭和50年代	26	62
昭和60年～平成6年	24	101
平成7年～平成16年	26	82
平成17年～平成26年	27	64
平成27年以降	30	-
無回答	8	14
	176	472

※「平成27年以降」は今回初めて設定した。

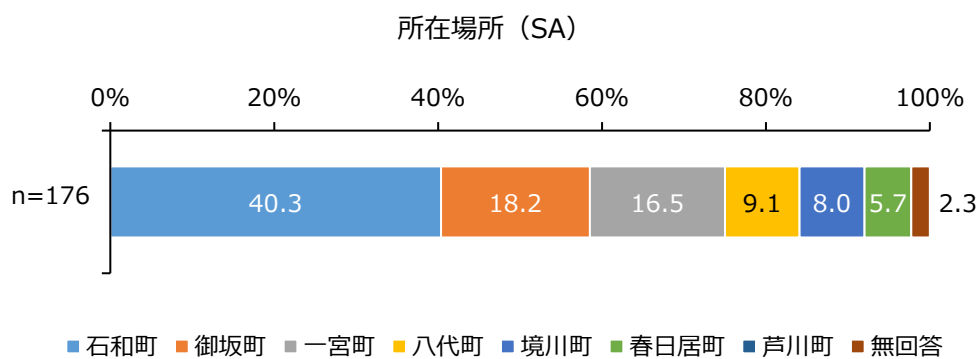
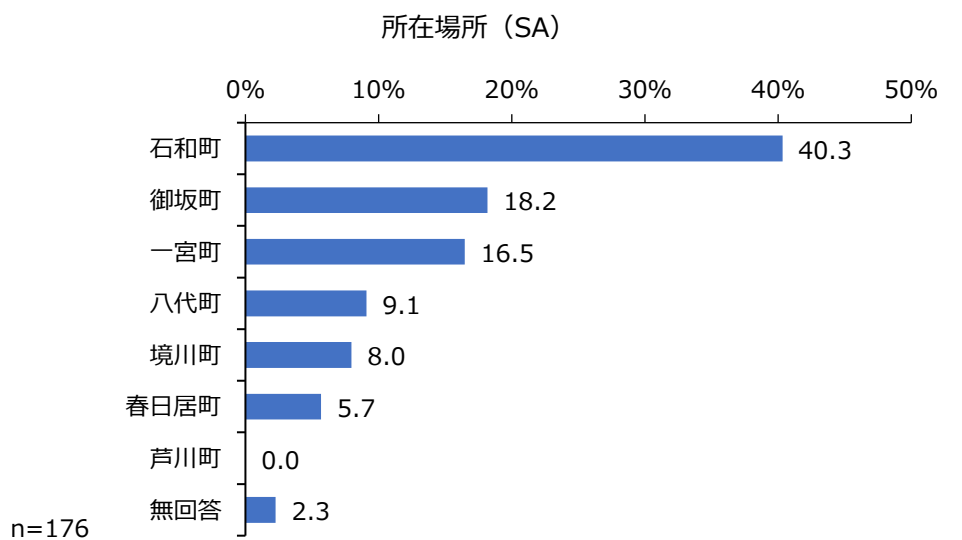
問 1-2 回答者の年齢



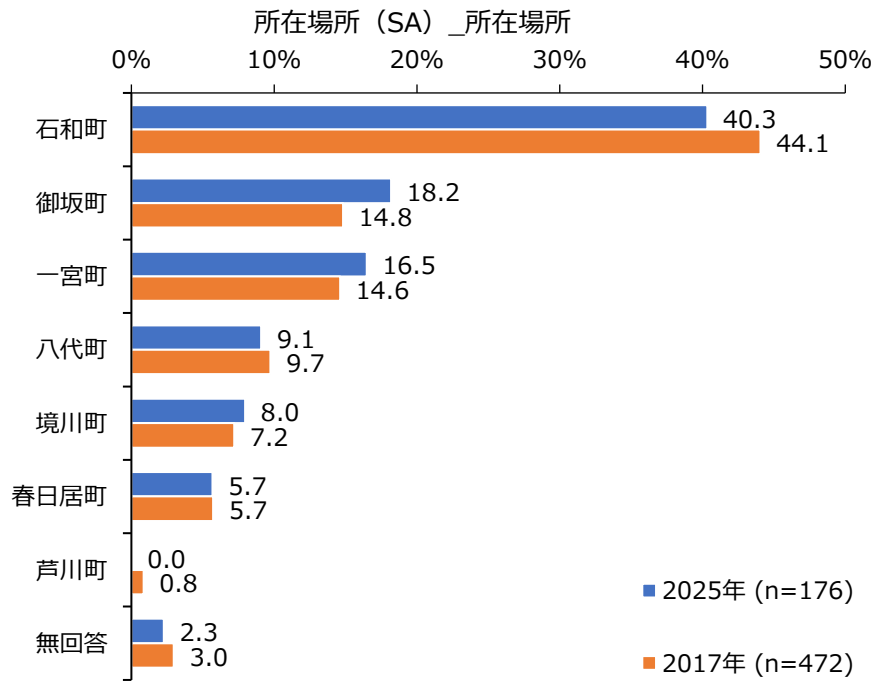
	n	%
20歳代	2	1.1
30歳代	6	3.4
40歳代	33	18.8
50歳代	57	32.4
60歳代	41	23.3
70歳以上	34	19.3
無回答	3	1.7
	176	100.0

※本設問は今回から初めてのため前回比較はなし。

問 1-3 所在場所

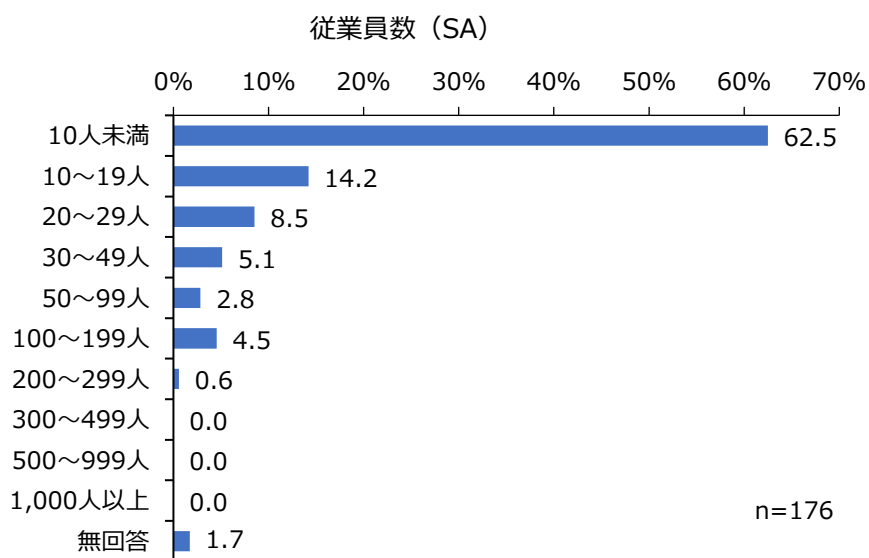


	n	%
石和町	71	40.3
御坂町	32	18.2
一宮町	29	16.5
八代町	16	9.1
境川町	14	8.0
春日居町	10	5.7
芦川町	0	0.0
無回答	4	2.3
	176	100.0



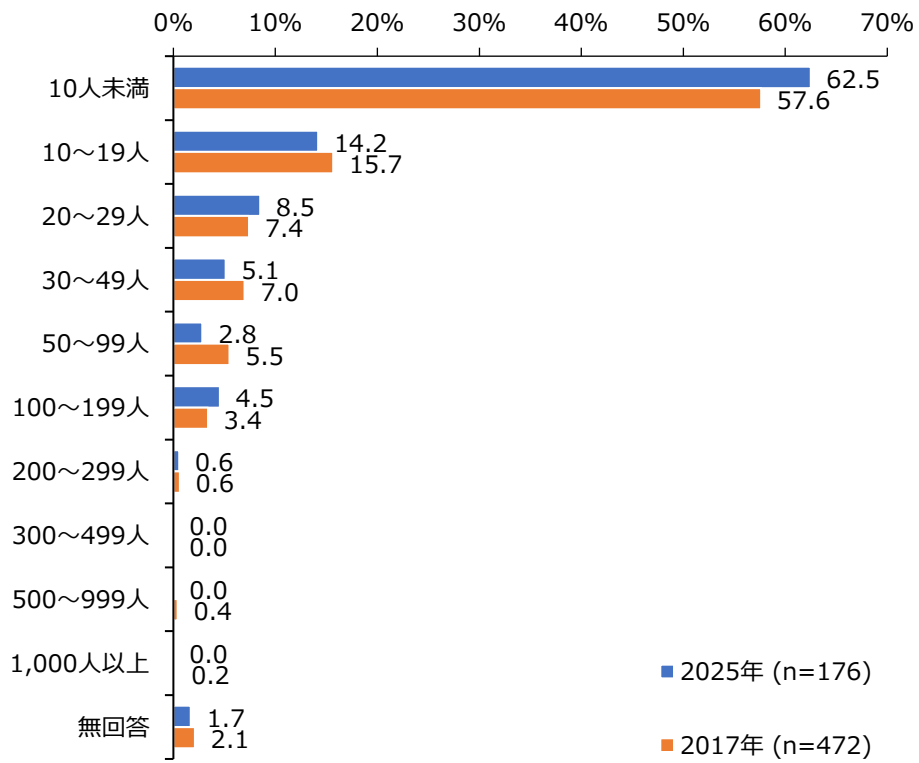
	2025年	2017年
石和町	71	208
御坂町	32	70
一宮町	29	69
八代町	16	46
境川町	14	34
春日居町	10	27
芦川町	0	4
無回答	4	14
	176	472

問 1-4 従業員数



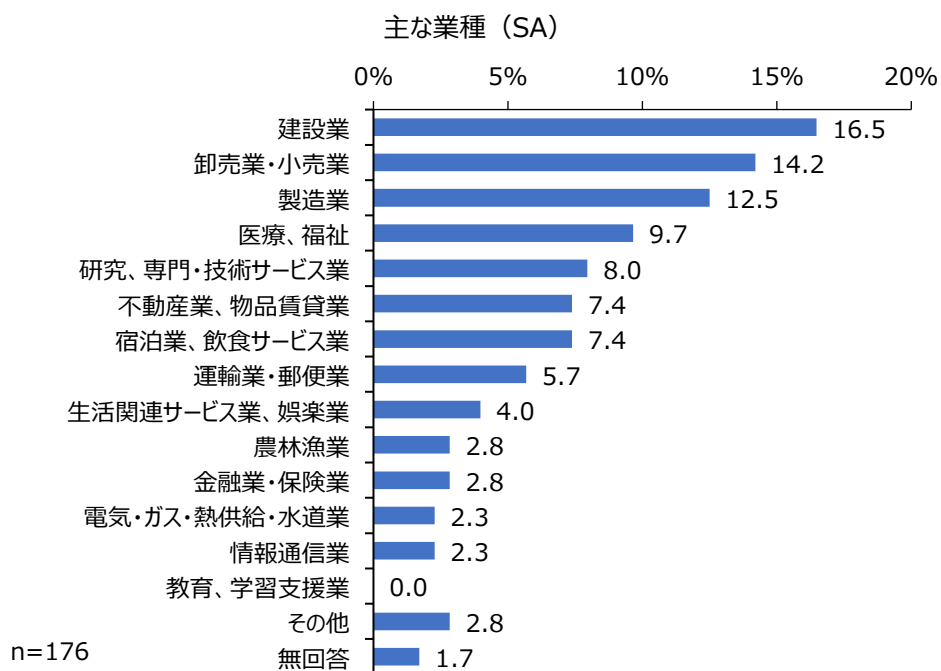
	n	%
10人未満	110	62.5
10~19人	25	14.2
20~29人	15	8.5
30~49人	9	5.1
50~99人	5	2.8
100~199人	8	4.5
200~299人	1	0.6
300~499人	0	0.0
500~999人	0	0.0
1,000人以上	0	0.0
無回答	3	1.7
	176	100.0

従業員数 (SA) _前回比較



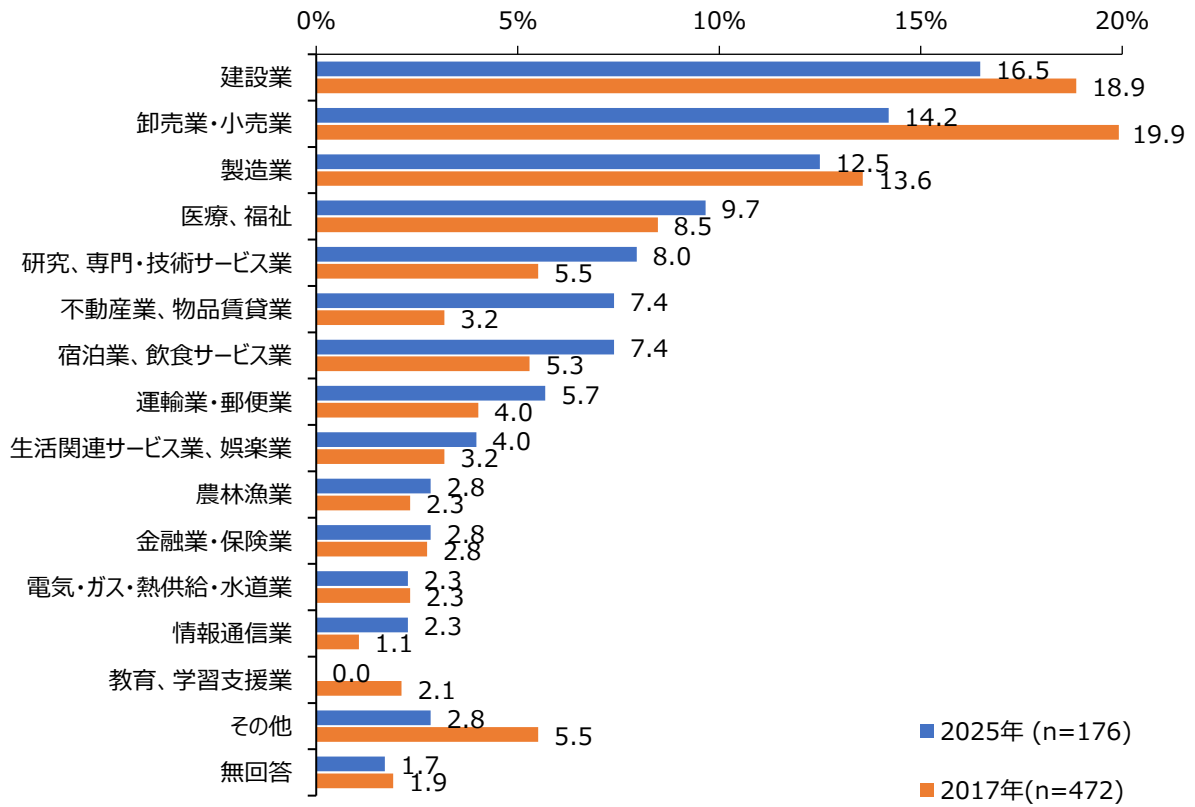
	2025年	2017年
10人未満	110	272
10~19人	25	74
20~29人	15	35
30~49人	9	33
50~99人	5	26
100~199人	8	16
200~299人	1	3
300~499人	0	0
500~999人	0	2
1,000人以上	0	1
無回答	3	10
	176	472

問 1-5 主な業種



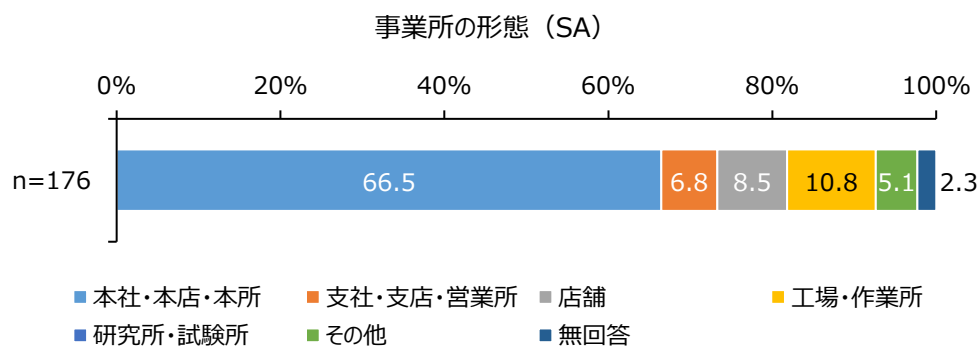
	n	%
建設業	29	16.5
卸売業・小売業	25	14.2
製造業	22	12.5
医療、福祉	17	9.7
研究、専門・技術サービス業	14	8.0
不動産業、物品賃貸業	13	7.4
宿泊業、飲食サービス業	13	7.4
運輸業・郵便業	10	5.7
生活関連サービス業、娯楽業	7	4.0
農林漁業	5	2.8
金融業・保険業	5	2.8
電気・ガス・熱供給・水道業	4	2.3
情報通信業	4	2.3
教育、学習支援業	0	0.0
その他	5	2.8
無回答	3	1.7
	176	100.0

主な業種 (SA) _前回比較

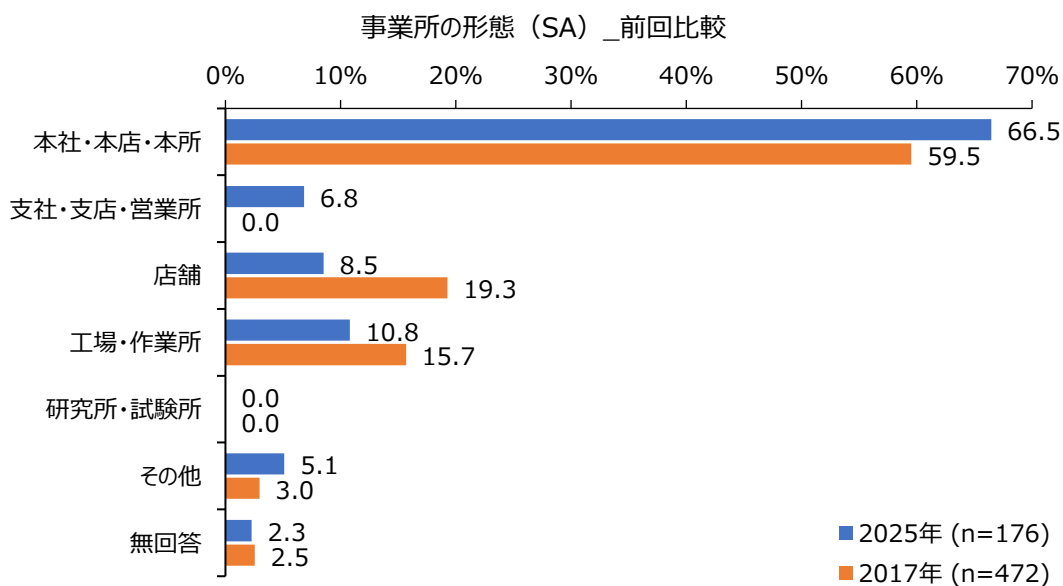


	2025年	2017年
建設業	29	89
卸売業・小売業	25	94
製造業	22	64
医療、福祉	17	40
研究、専門・技術サービス業	14	26
不動産業、物品賃貸業	13	15
宿泊業、飲食サービス業	13	25
運輸業・郵便業	10	19
生活関連サービス業、娯楽業	7	15
農林漁業	5	11
金融業・保険業	5	13
電気・ガス・熱供給・水道業	4	11
情報通信業	4	5
教育、学習支援業	0	10
その他	5	26
無回答	3	9
	176	472

問 1-6 事業所の形態



	n	%
本社・本店・本所	117	66.5
支社・支店・営業所	12	6.8
店舗	15	8.5
工場・作業所	19	10.8
研究所・試験所	0	0.0
その他	9	5.1
無回答	4	2.3
	176	100.0



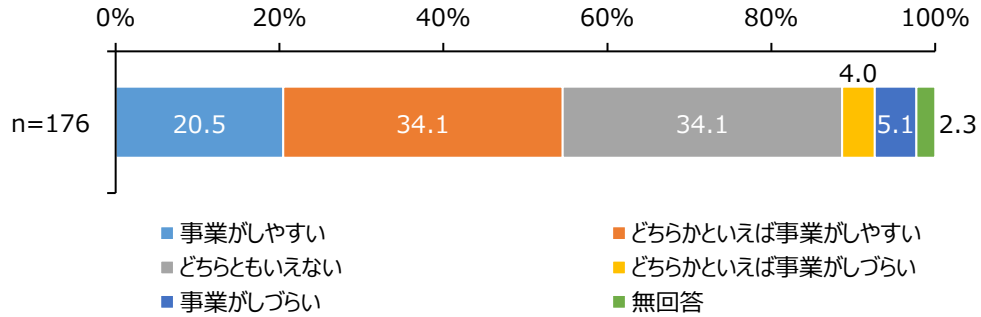
	2025年	2017年
本社・本店・本所	117	281
支社・支店・営業所	12	-
店舗	15	91
工場・作業所	19	74
研究所・試験所	0	0
その他	9	14
無回答	4	12
	176	472

※「支社・支店・営業所」は今回初めて設定した。

問 2 事業がしやすい場所か

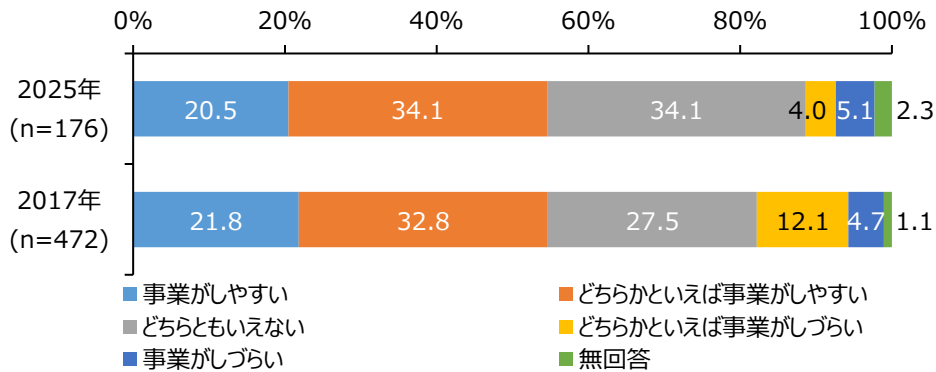
あなたにとって、笛吹市は事業がしやすい場所だと思いますか。（1つに○印）

笛吹市は事業がしやすい場所だと思いますか（SA）



	n	%
事業がしやすい	36	20.5
どちらかといえば事業がしやすい	60	34.1
どちらともいえない	60	34.1
どちらかといえば事業がしづらい	7	4.0
事業がしづらい	9	5.1
無回答	4	2.3
	176	100.0

笛吹市は事業がしやすい場所だと思いますか（SA）_前回比較



	2025年	2017年
事業がしやすい	36	103
どちらかといえば事業がしやすい	60	155
どちらともいえない	60	130
どちらかといえば事業がしづらい	7	57
事業がしづらい	9	22
無回答	4	5
	176	472

問 3 事業のしやすさの理由

「問 2」で選択した内容の理由を教えてください。（自由記述）

「事業がしやすい」、「どちらかといえば事業がしやすい」と回答した理由 ※一部重複するものはまとめた。
とてもよい環境であるからです。
一宮御坂インターが近くにあり、時間的に短縮できる。
果実加工会社なので、山梨県産の桃、ぶどうを集めやすい。
介護が必要となった高齢者が住み慣れた地域で本人や家族等が希望する形態で生活継続できるような医療介護が連携した地域包括支援体制が整備されている(されつつある)。
経済規模が大きすぎず、ちょうどいいのでは？
交通アクセス（中央道他幹線道路）両行、自然、人口（雇用確保が容易）。
甲府南 IC に近い。
山梨県内が主な現場なので、交通の便が良い。
子育て支援課の職員（個人名は削除）が市内の子供達の状況をしっかり把握しており、必要な支援を提示してくれたり、一緒に対応してくれたりするため。
自然が豊かで環境が良く、交通アクセスにも恵まれている。何より市政との連携に感謝しております。
自然が豊かな所。地域の人々の良さ。
首都圏へのアクセスしやすさ。土地の広さ、地代等。水等の資源、原材料の豊かさ。
住み慣れた地域で商工会の支援も受けやすく、顔が見える関係で事業を展開しやすいため。
先代からの繋がりがあがるため。
地域の方が気にかけてくれる。
地元出身ということもあり、交流がしやすい。
中央線や中央高速道路など、交通の便が良い。
東京からの交通の便、立地地盤、ハザードマップ的観点。
道があまり混まないの。
特に不便を感じない。
日本の真ん中の地域性。
ICも駅もちょうどストレスのない距離感で、天候も、買い物通勤と一通り生活条件が良好であり、不自由を感じない。ただ、都会とは比較のステージが違うので、普通に生活するには十分な地方都市だと思う。住めば都です。
インフラが整備されている。
おおむね良好だが、水害ハザードマップを見ると不安。
のどかで地域との触れ合いもあり、親しみが持てる場所だと思います。
駅が近い場所だから。
温泉が魅力。
果樹などの農産物が豊富でブランドがある。都心に近交通が便利。
果樹地帯の中に工場（会社）があり、静かな場所でもよい。皆、親切な人でよい。公共の機関も整っていて大変よいです。
規模が大きすぎないため、地域に根差した事業を起こすにはちょうどいい。市役所の職員や地域の組織とも連携が取りやすい。
求人が、すぐくではないが集まりやすい。国道が近い、高速のインターが近い。
業務の性格上、全県にアクセスする必要があるが、道路事情が特によい場所とは言い難い（特に甲府市へのアクセス）。
県の中心地で県内どこへ行くにも 1 時間～ 1 時間半以内で移動できる。都心へ行くのにも電車 1 本バス 1 本で行くことができる。高速道路も通っているので、便利。
県外から旅行客が来る土地である。
県内及び首都圏への移動がスムーズである。
県内全域で取引があるため、アクセスが良いから。
現場が多数あるので、インターがあるので便利。
交通の便。納品先との距離。

交通網が良い。
甲府、峡南、郡内、東京へのアクセスが良い。石和駅も近い。
甲府へのアクセスがしやすい点が多く、若宮の信号より上に何も無いのがデメリット。開発土地が多く残っていることがメリット。その土地の多くが未使用の農園などで開発が進まないのがデメリット。
甲府盆地の中心に近い。
高速道路、八代インターに近い。働く人が確保しづらい。取引先（資材等）が甲府方面である。
自然に囲まれながら東京や甲府からのアクセスが良いためビジネスチャンスが広がる。
人間性と自然が良い。
人材確保が困難。
知名度もあり行政も協力できる。
地価が低いので、事業コストが抑えられている。県内の中心部にあるので、通勤、現場までの移動時間が短い。
桃やぶどうが盛ん。観光地である。
同業者や市役所との関係性が良いから。
道路、交通アクセスが良い。
得意先が近くにあるため。
畑が多い。高速インターが近い。
八代町にスマートインターがあるため、交通の便が良い。
立地的に交通の便、道路、高速入口もあり、移動しやすい。 など

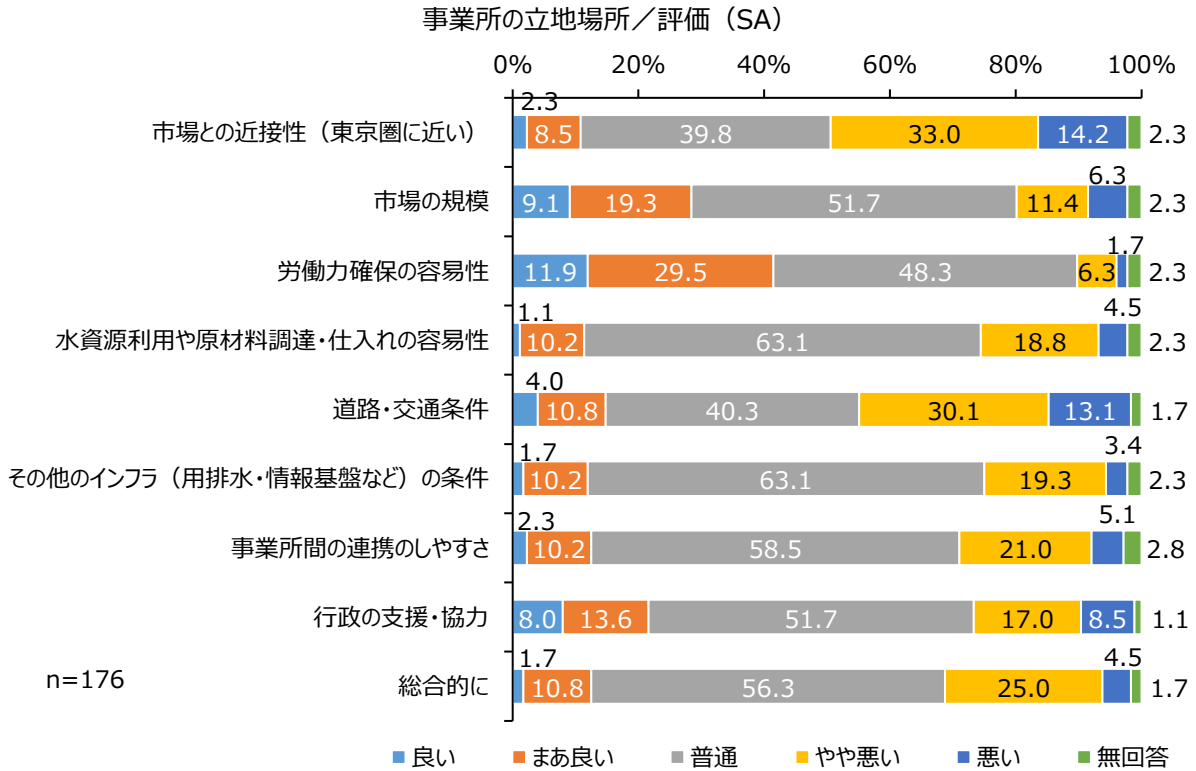
「どちらともいえない」と回答した理由 ※一部重複するものはまとめた。
ビジネスマッチング等の機会損失が生じていると現状を危惧しています。市がお墨付きとして、マッチングセンター等を開催することによる共創を期待せずにはられません。
メリットを感じたことがない。
営業先が少ない。
観光業のためオンオフシーズンの差が大きいこと。公共交通機関が不便であること。
故郷の笛吹で事業を始め、20年近くもなるも、あまり事業がし易い環境とは思わない。息苦しさも感じている。
交通の便が不便。
工事現場の場所毎で違うので。
工場団地が少ないため、人口が増えない。人口が少ないから人手不足で企業は大変。
高速道路のおかげで移動が簡単。
山梨は自然が多いので、都会のような人混みがなく子育てしながら働くには良いが、車がないと生活できないこと。
仕事が少ない。
仕事は会社内でするより、外へ出てすることの方が多いため、会社内でする事務の仕事はほとんど無いです。
市場が甲府市に近い。
市民の声を反映させようという市の協力が感じられるため。
事業内容が場所に影響しない。
新規の大手事業所の出店が見込まれているので、商業環境が厳しくなる。
人口減少、若年層の流出等の対策を講じていただきたい。
対象が県内ではないため。
地理的な利点もあり、首都圏の近郊でアクセスが比較的良好ではある。しかし、交通インフラ面では制限がある。
冬（果物が無い時期）に観光すると所がない。
比較的排他的で客観性が薄く、利己性の強い人が多いような気がします。
立地は良い。
良い点として、東京方面（車、電車）、甲府方面、郡内方面に移動が可能（それなりに時間はかかるが）。悪い点として、市内の市場規模が小さい（業種にもよると思うが）、石和温泉駅へ停車する特急が少ない、夏の気候が厳しい（暑い）。 など

「どちらかといえば事業がしづらい」、「事業がしづらい」と回答した理由 ※一部重複するものはまとめた。
許認可に時間がかかる。
空地の雑木や草、生い茂って垂れ下がった木の枝の手入れや、持ち主への指示をしてもらいたい。壊れた道の直しもしてもらいたい。
顧客が少ない。
同業者が少ない。売先が甲府市や他町。
ドライバー不足、労働時間、燃料費、修理代のさまざまな高騰化。
受注すべき相手会社が存在しない。打ち合わせが県外となる。
店舗がある場所は人通りがなく、集客が見込めない。
道路網が発達していないため。 など

問 4 立地場所の評価

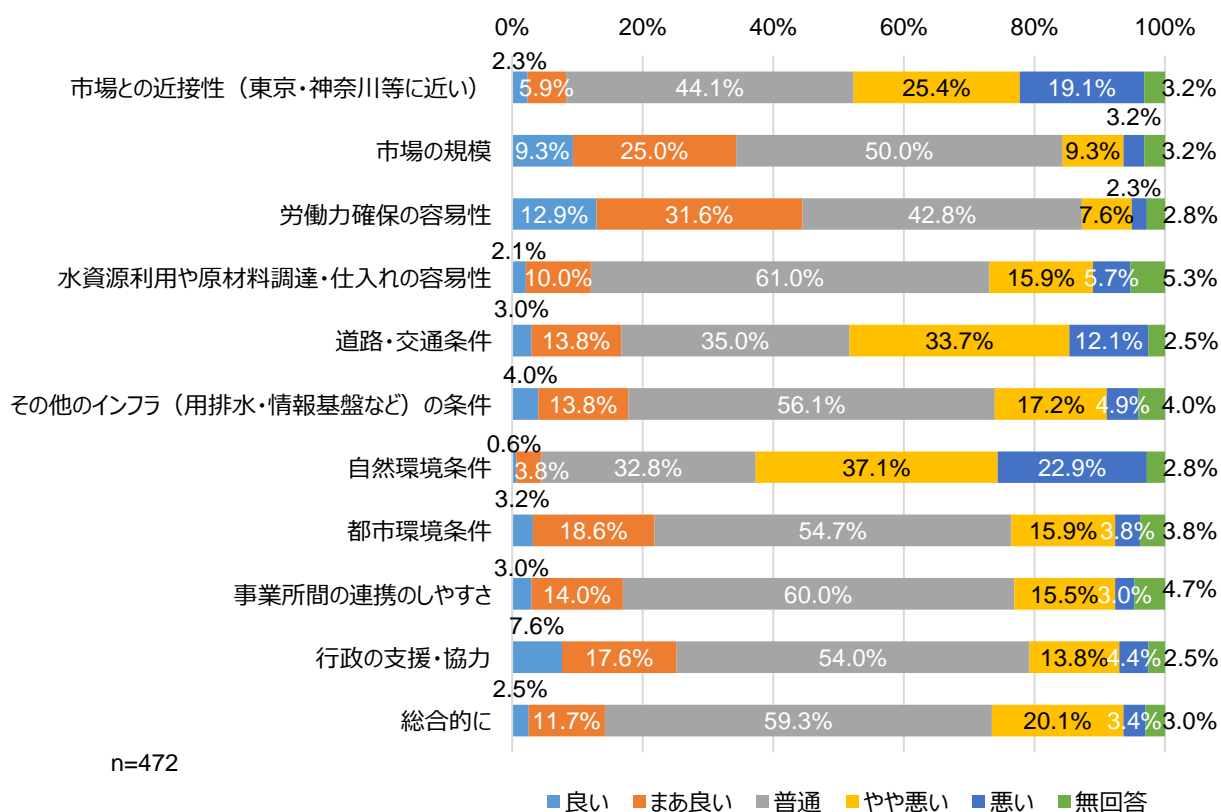
笛吹市の事業所の立地場所としての条件をどのように評価していますか。

(以下の項目それぞれに1つずつ〇印)



	市場との近接性 (東京圏に近い)	市場の規模	労働力確保の容易性	水資源利用や原 材料調達・仕入れ の容易性	道路・交通条件
良い	2.3	9.1	11.9	1.1	4.0
まあ良い	8.5	19.3	29.5	10.2	10.8
普通	39.8	51.7	48.3	63.1	40.3
やや悪い	33.0	11.4	6.3	18.8	30.1
悪い	14.2	6.3	1.7	4.5	13.1
無回答	2.3	2.3	2.3	2.3	1.7
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	その他のインフラ (用 排水・情報基盤な ど) の条件	事業所間の連携 のしやすさ	行政の支援・協力	総合的に	
良い	1.7	2.3	8.0	1.7	
まあ良い	10.2	10.2	13.6	10.8	
普通	63.1	58.5	51.7	56.3	
やや悪い	19.3	21.0	17.0	25.0	
悪い	3.4	5.1	8.5	4.5	
無回答	2.3	2.8	1.1	1.7	
	100.0	100.0	100.0	100.0	

事業所の立地場所としての条件の評価_前回(H29)

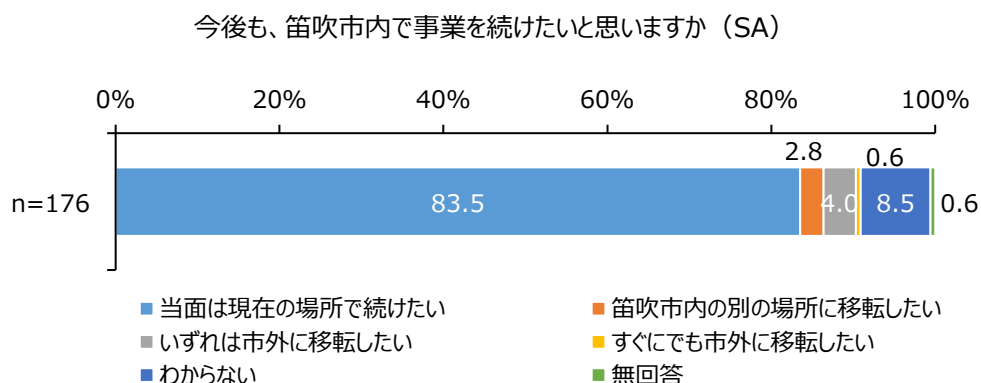


	市場との近接性 (東京圏に近い)	市場の規模	労働力確保の 容易性	水資源利用や原材料調 達・仕入れの容易性	道路・交通条件	その他のインフラ(用排水・ 情報基盤など)の条件
良い	2.3%	9.3%	12.9%	2.1%	3.0%	4.0%
まあ良い	5.9%	25.0%	31.6%	10.0%	13.8%	13.8%
普通	44.1%	50.0%	42.8%	61.0%	35.0%	56.1%
やや悪い	25.4%	9.3%	7.6%	15.9%	33.7%	17.2%
悪い	19.1%	3.2%	2.3%	5.7%	12.1%	4.9%
無回答	3.2%	3.2%	2.8%	5.3%	2.5%	4.0%
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	自然環境条件	都市環境条件	事業所間の 連携のしやすさ	行政の支援・協力	総合的に	
良い	0.6%	3.2%	3.0%	7.6%	2.5%	
まあ良い	3.8%	18.6%	14.0%	17.6%	11.7%	
普通	32.8%	54.7%	60.0%	54.0%	59.3%	
やや悪い	37.1%	15.9%	15.5%	13.8%	20.1%	
悪い	22.9%	3.8%	3.0%	4.4%	3.4%	
無回答	2.8%	3.8%	4.7%	2.5%	3.0%	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

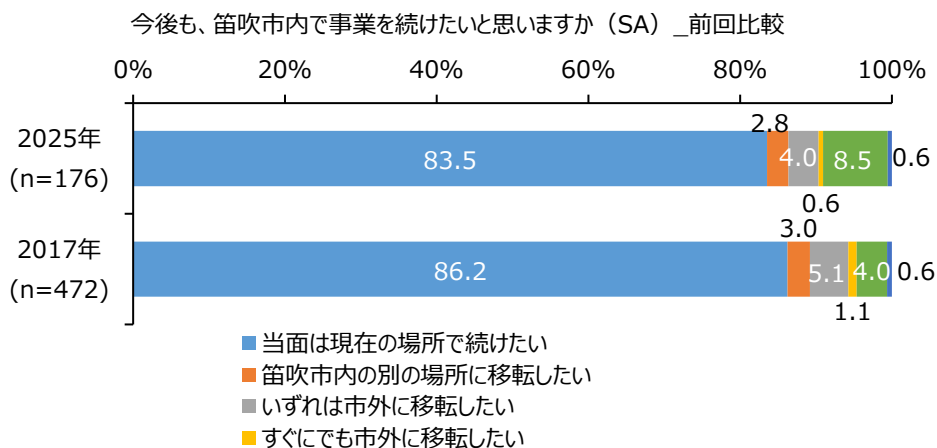
※「自然環境条件」と「都市環境条件」は前回のみ。

問 5 事業継続の意思

今後も、笛吹市内で事業を続けたいと思いますか。（1つに○印）



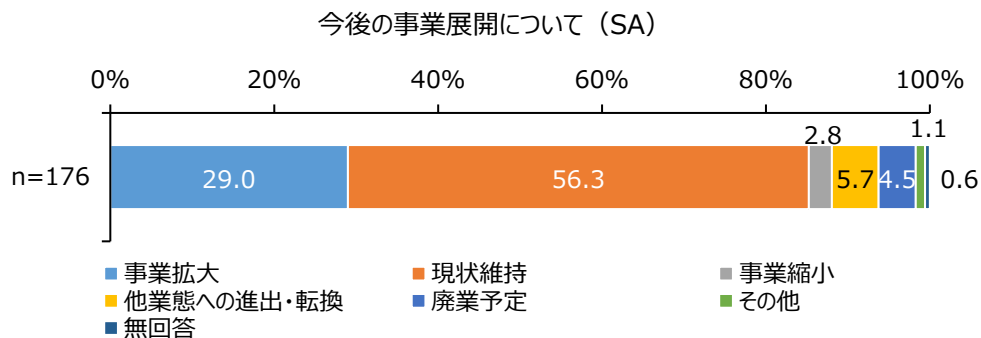
	n	%
当面は現在の場所で続けたい	147	83.5
笛吹市内の別の場所に移転したい	5	2.8
いずれは市外に移転したい	7	4.0
すぐにでも市外に移転したい	1	0.6
わからない	15	8.5
無回答	1	0.6
	176	100.0



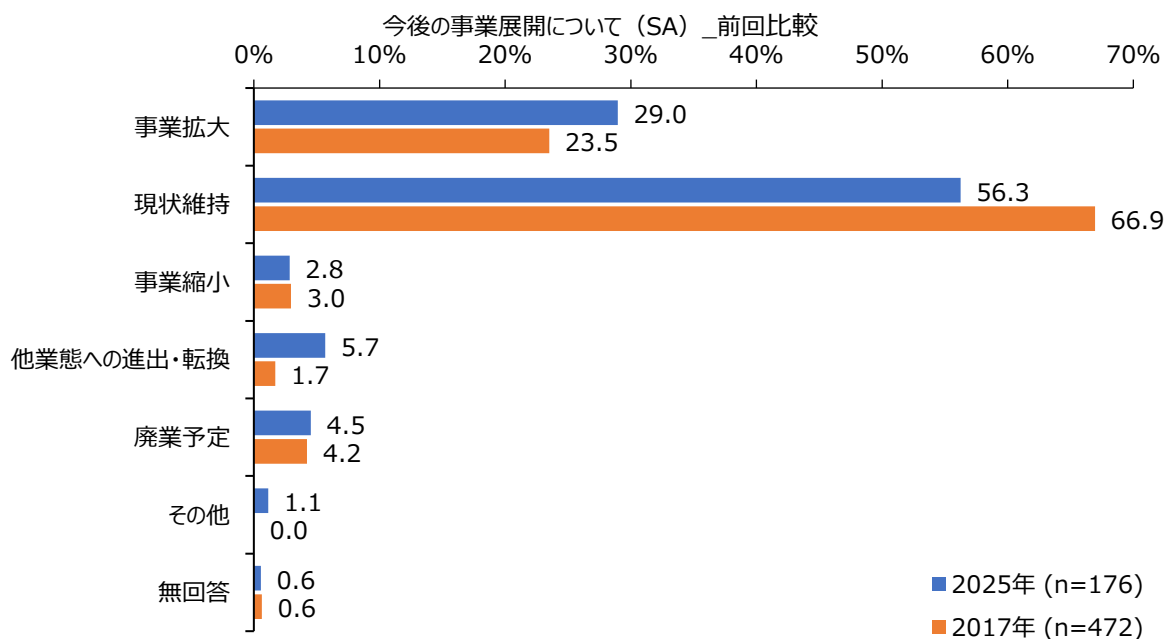
	2025年	2017年
当面は現在の場所で続けたい	147	407
笛吹市内の別の場所に移転したい	5	14
いずれは市外に移転したい	7	24
すぐにでも市外に移転したい	1	5
わからない	15	19
無回答	1	3
	176	472

問 6 今後の事業展開

今後の事業展開について、どのように考えていますか。（1つに○印）



	n	%
事業拡大	51	29.0
現状維持	99	56.3
事業縮小	5	2.8
他業態への進出・転換	10	5.7
廃業予定	8	4.5
その他	2	1.1
無回答	1	0.6
	176	100.0

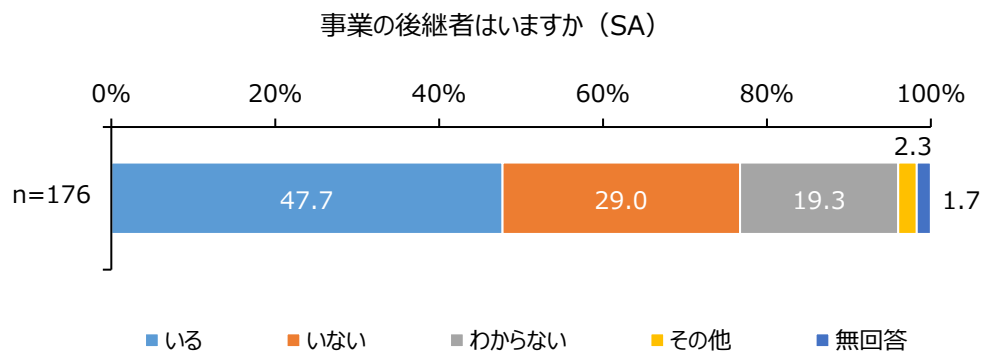


	2025年	2017年
事業拡大	51	111
現状維持	99	316
事業縮小	5	14
他業態への進出・転換	10	8
廃業予定	8	20
その他	2	-
無回答	1	3
	176	472

※「その他」は今回初めて設定した。

問 7 事業の後継者

事業の後継者はいますか。（1つに○印）

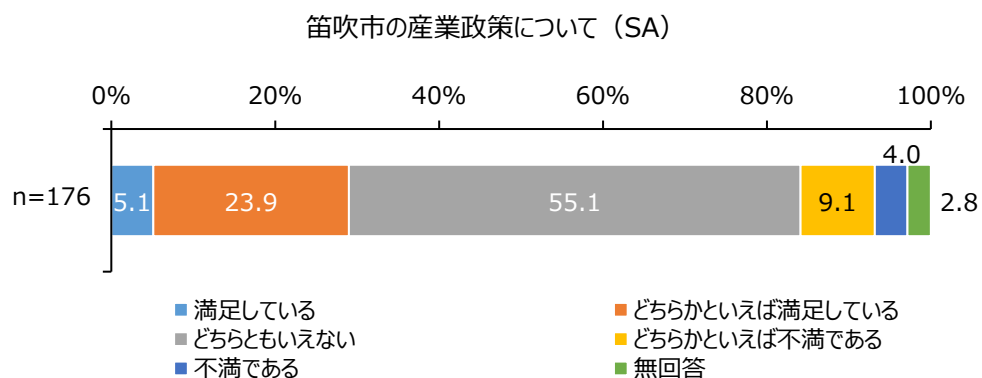


	n	%
いる	84	47.7
いない	51	29.0
わからない	34	19.3
その他	4	2.3
無回答	3	1.7
	176	100.0

※本設問は今回から初めてのため前回比較はなし。

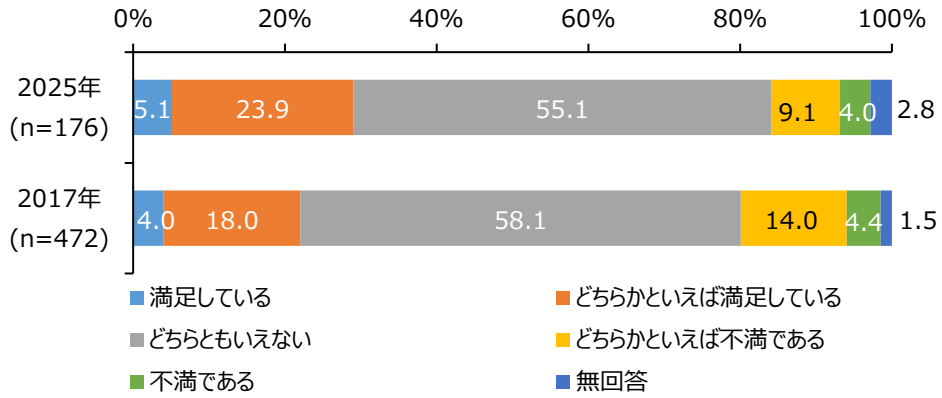
問 8 市の産業政策について

笛吹市の産業政策について、どのように感じていますか。（1つに○印）



	n	%
満足している	9	5.1
どちらかといえば満足している	42	23.9
どちらともいえない	97	55.1
どちらかといえば不満である	16	9.1
不満である	7	4.0
無回答	5	2.8
	176	100.0

笛吹市の産業政策について (SA) _前回比較

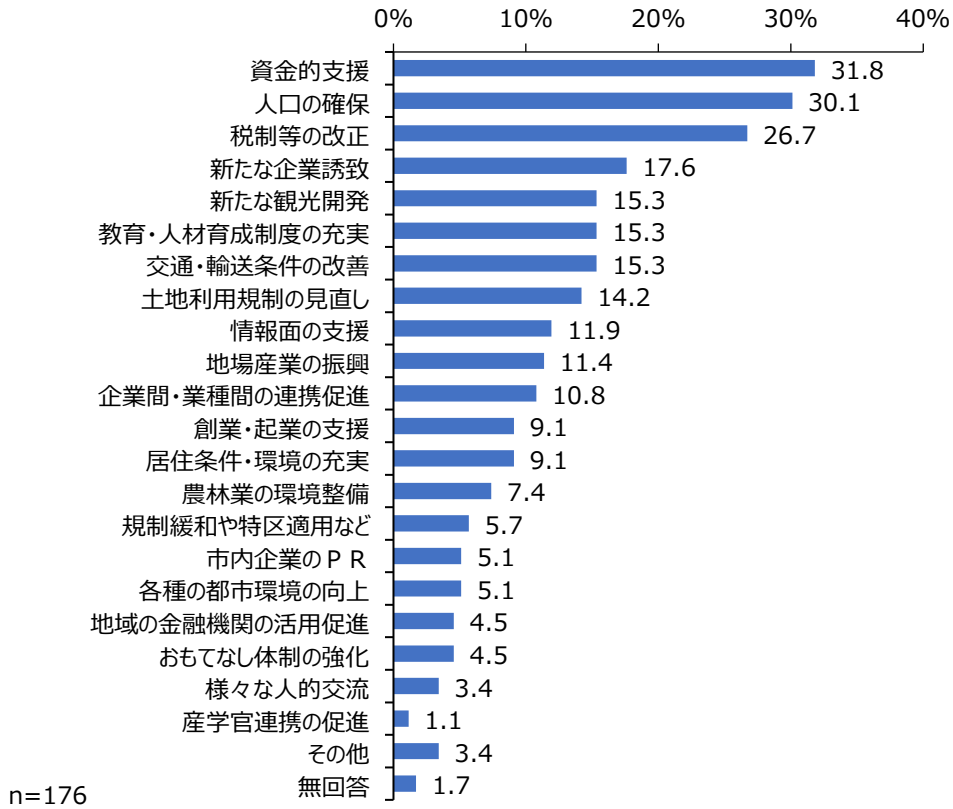


	2025年	2017年
満足している	9	19
どちらかといえば満足している	42	85
どちらともいえない	97	274
どちらかといえば不満である	16	66
不満である	7	21
無回答	5	7
	176	472

問 9 笛吹市の産業振興、経済の活性化のために、特に必要なこと

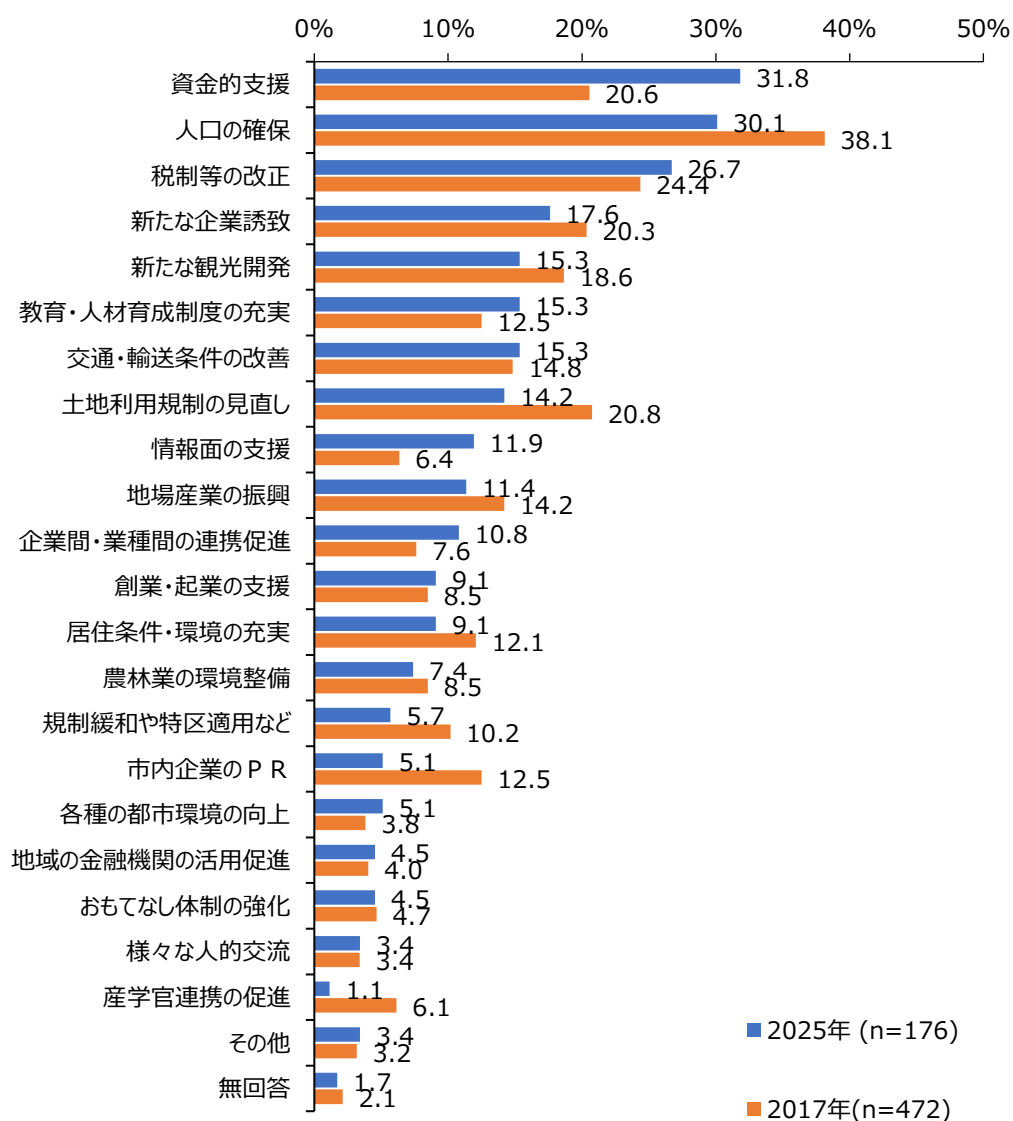
笛吹市の産業振興、経済の活性化のために、特に必要なことは何だと思えますか。（最大3つまで○印）

笛吹市の産業振興、経済の活性化のために必要なこと（MA）



	n	%
資金的支援	56	31.8
創業・起業の支援	16	9.1
情報面の支援	21	11.9
市内企業のP R	9	5.1
税制等の改正	47	26.7
様々な人的交流	6	3.4
産学官連携の促進	2	1.1
企業間・業種間の連携促進	19	10.8
地域の金融機関の活用促進	8	4.5
規制緩和や特区適用など	10	5.7
農林業の環境整備	13	7.4
地場産業の振興	20	11.4
新たな観光開発	27	15.3
おもてなし体制の強化	8	4.5
人口の確保	53	30.1
教育・人材育成制度の充実	27	15.3
新たな企業誘致	31	17.6
居住条件・環境の充実	16	9.1
各種の都市環境の向上	9	5.1
交通・輸送条件の改善	27	15.3
土地利用規制の見直し	25	14.2
その他	6	3.4
無回答	3	1.7
	176	100.0

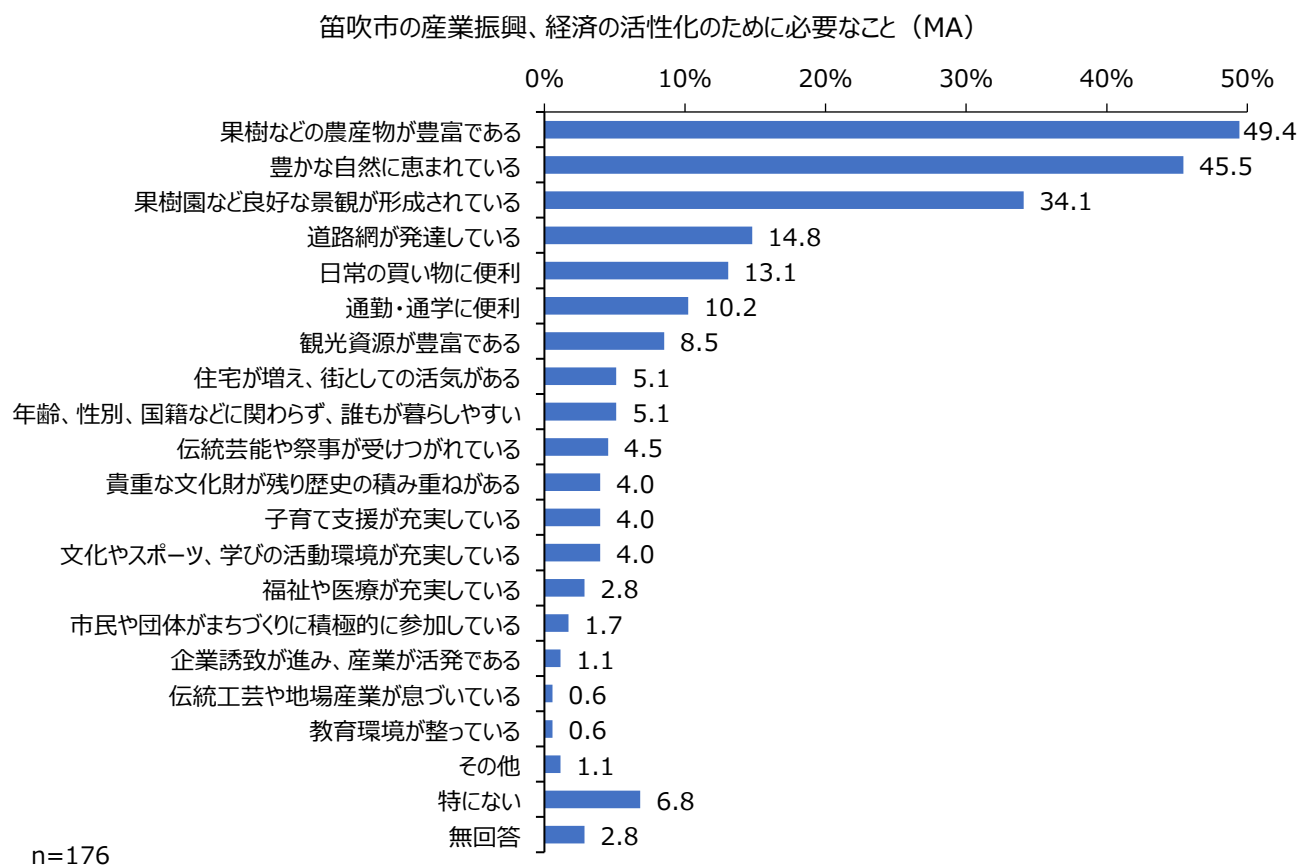
笛吹市の産業振興、経済の活性化のために必要なこと (MA) _前回比較



	2025年	2017年
資金的支援	56	97
人口の確保	53	180
税制等の改正	47	115
新たな企業誘致	31	96
新たな観光開発	27	88
教育・人材育成制度の充実	27	59
交通・輸送条件の改善	27	70
土地利用規制の見直し	25	98
情報面の支援	21	30
地場産業の振興	20	67
企業間・業種間の連携促進	19	36
創業・起業の支援	16	40
居住条件・環境の充実	16	57
農林業の環境整備	13	40
規制緩和や特区適用など	10	48
市内企業のPR	9	59
各種の都市環境の向上	9	18
地域の金融機関の活用促進	8	19
おもてなし体制の強化	8	22
様々な人的交流	6	16
産学官連携の促進	2	29
その他	6	15
無回答	3	10
	176	472

問 10 笛吹市の魅力

笛吹市の魅力は何だと思いますか。（最大3つまで○印）

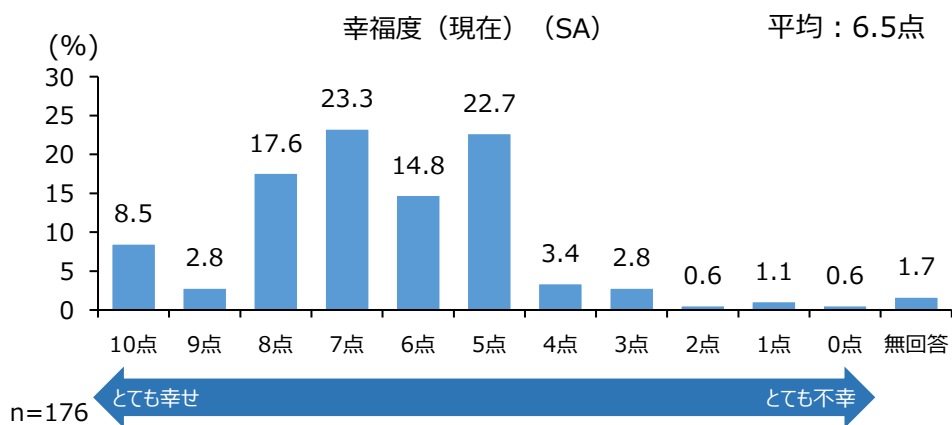


	n	%
通勤・通学に便利	18	10.2
日常の買い物に便利	23	13.1
住宅が増え、街としての活気がある	9	5.1
豊かな自然に恵まれている	80	45.5
果樹園など良好な景観が形成されている	60	34.1
伝統工芸や地場産業が息づいている	1	0.6
伝統芸能や祭事が受けつがれている	8	4.5
貴重な文化財が残り歴史の積み重ねがある	7	4.0
道路網が発達している	26	14.8
果樹などの農産物が豊富である	87	49.4
観光資源が豊富である	15	8.5
企業誘致が進み、産業が活発である	2	1.1
福祉や医療が充実している	5	2.8
子育て支援が充実している	7	4.0
文化やスポーツ、学びの活動環境が充実している	7	4.0
市民や団体がまちづくりに積極的に参加している	3	1.7
教育環境が整っている	1	0.6
年齢、性別、国籍などに関わらず、誰もが暮らしやすい	9	5.1
特になし	12	6.8
その他	2	1.1
無回答	5	2.8
	176	100.0

※本設問は今回から初めてのため前回比較はなし。

問 11 現在の幸福度

あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点として、御記入ください。
(1 つに○印)。

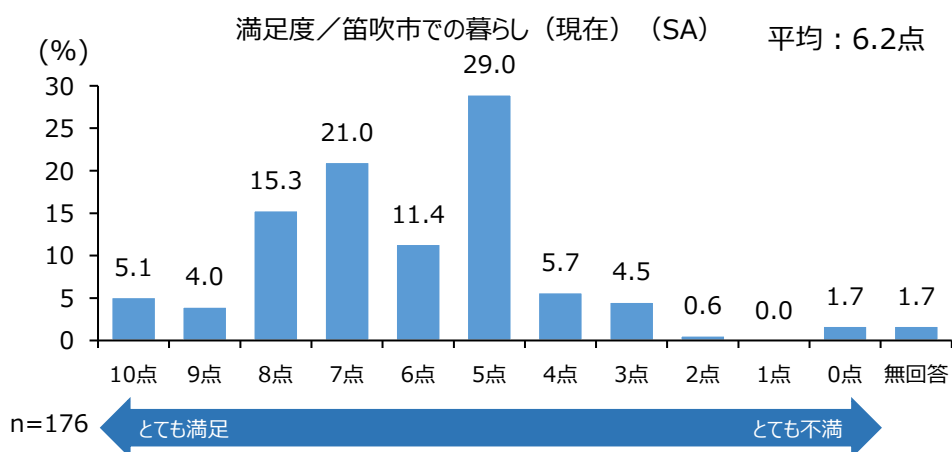


	n	%
10点	15	8.5
9点	5	2.8
8点	31	17.6
7点	41	23.3
6点	26	14.8
5点	40	22.7
4点	6	3.4
3点	5	2.8
2点	1	0.6
1点	2	1.1
0点	1	0.6
無回答	3	1.7
	176	100.0

問 12 地域の暮らしの満足度

現在、あなたは笛吹市での暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を10点、「とても不満」を0点として、御記入ください。（1つに○印）

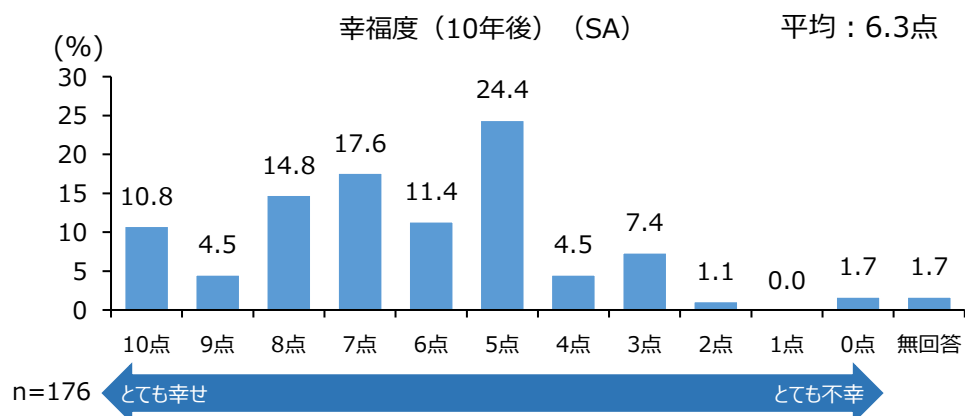
※市内に事業所があるものの、市外にお住いの方は、市内事業所での活動を想定して御回答ください。



	n	%
10点	9	5.1
9点	7	4.0
8点	27	15.3
7点	37	21.0
6点	20	11.4
5点	51	29.0
4点	10	5.7
3点	8	4.5
2点	1	0.6
1点	0	0.0
0点	3	1.7
無回答	3	1.7
	176	100.0

問 13 10年後の幸福度

今から10年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、御記入ください。（1つに○印）



	n	%
10点	19	10.8
9点	8	4.5
8点	26	14.8
7点	31	17.6
6点	20	11.4
5点	43	24.4
4点	8	4.5
3点	13	7.4
2点	2	1.1
1点	0	0.0
0点	3	1.7
無回答	3	1.7
	176	100.0

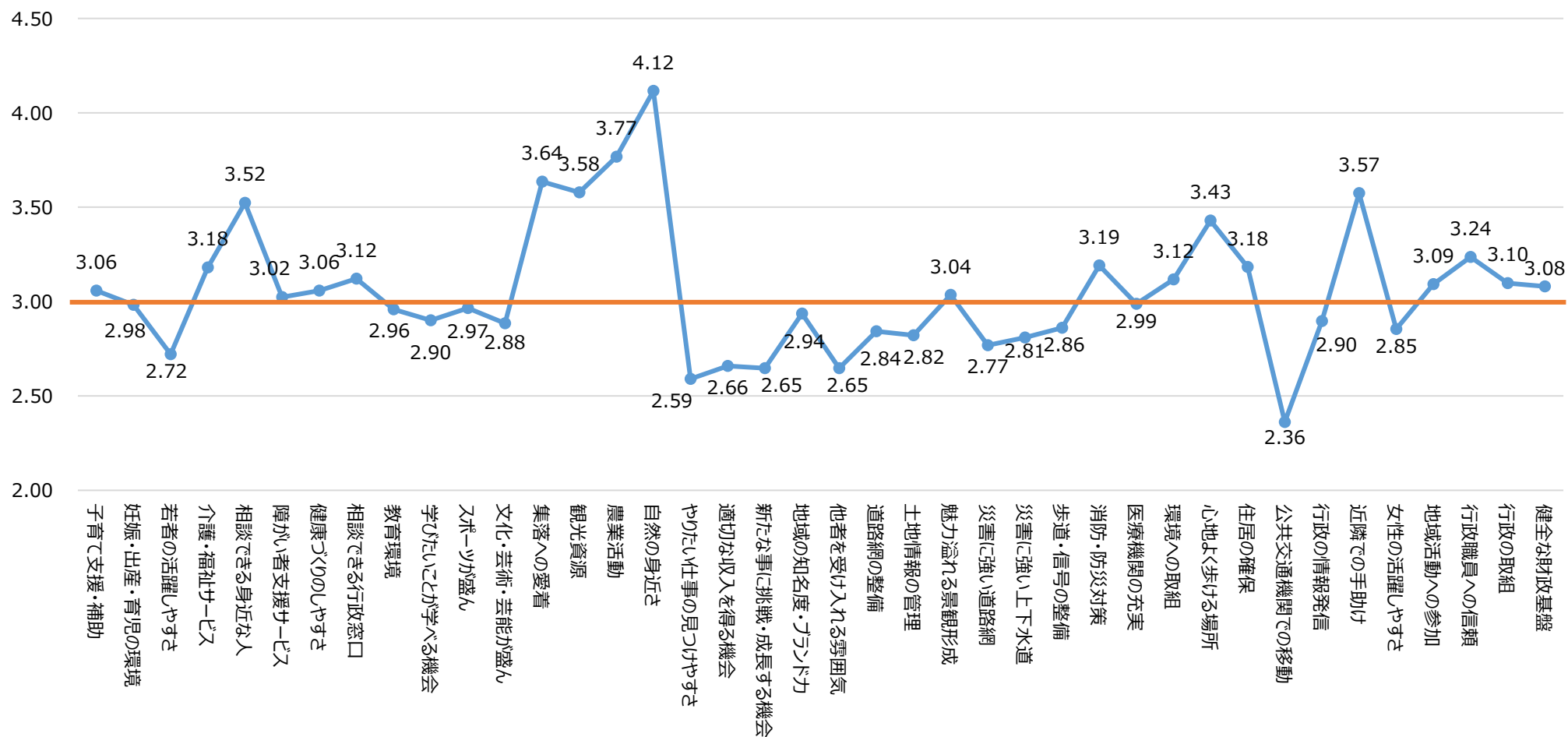
問 14 重要度・満足度

笛吹市での暮らしの満足度について、あなたの実感に最も近いものを教えてください。また、その項目についてどの程度重要だと感じていますか。以下の全ての設問項目について、

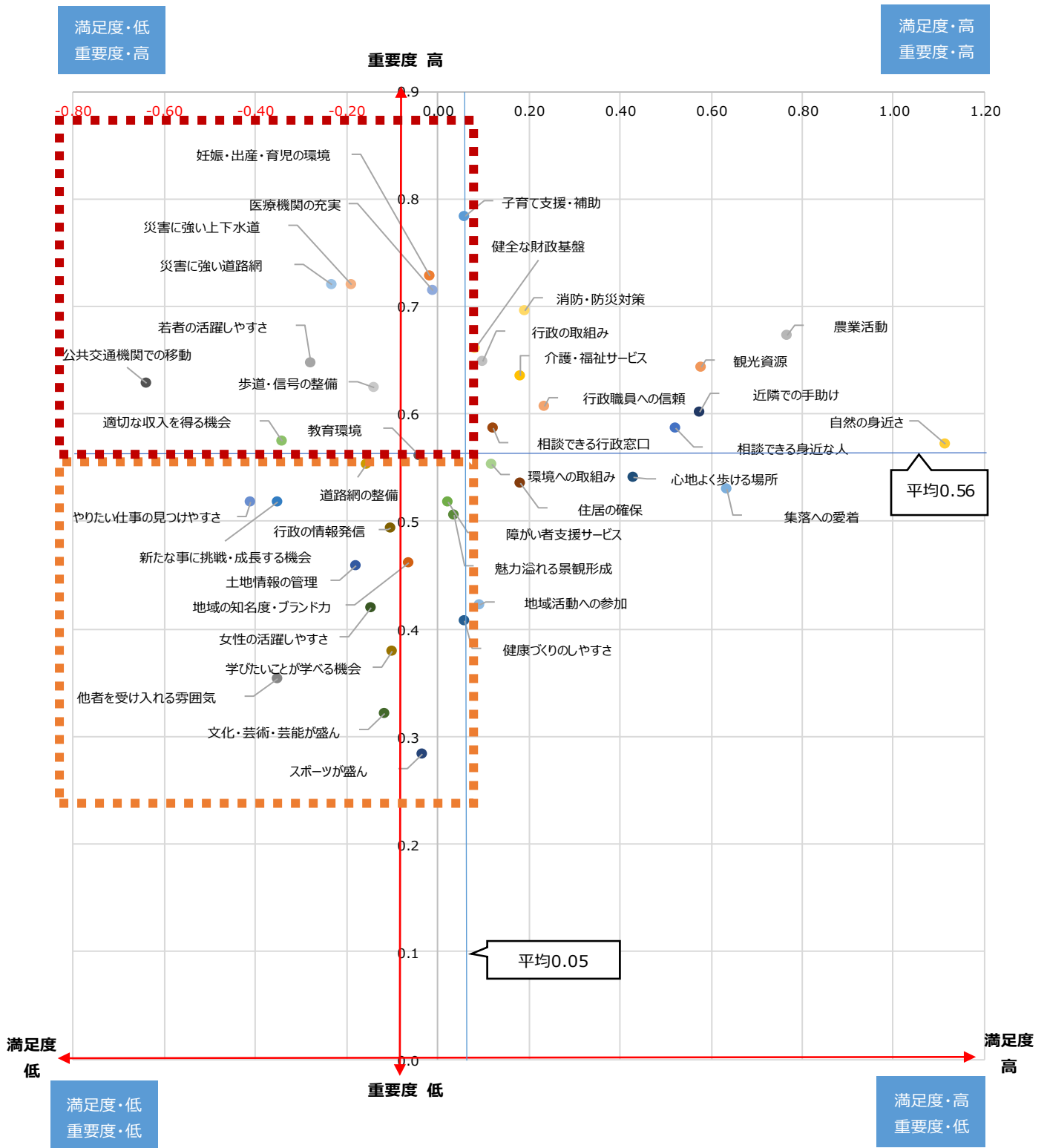
①満足度（5段階）及び②重要度（3段階）のそれぞれ1つずつ○印を御記入ください。

※市内に事業所があるものの、市外にお住いの方は、市内事業所での活動を想定して御回答ください。

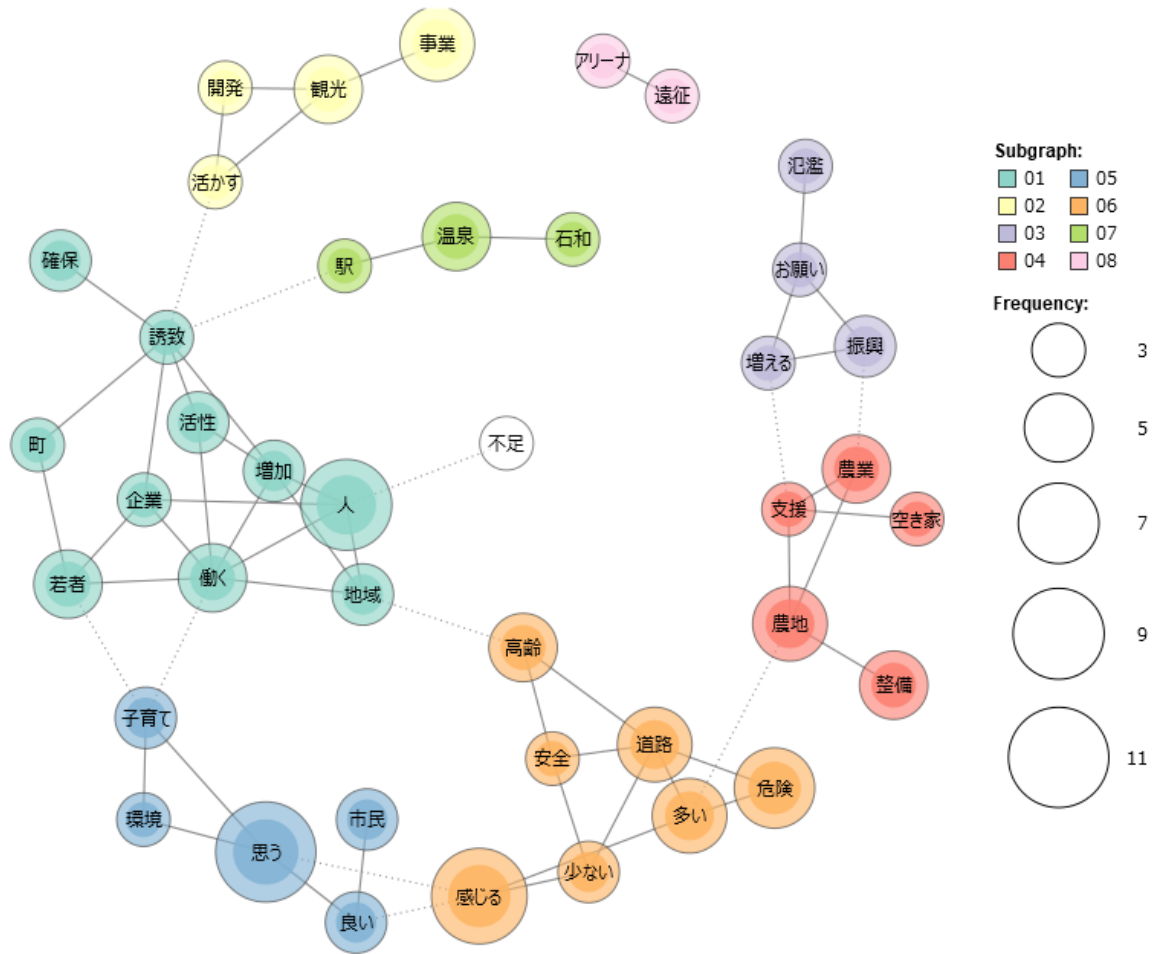
【満足度（項目別）】※各項目の平均値



【地域に対する事業者の満足度・重要度】



また、次の図は、各単語の円が大きいほど頻度の多さを示しているとともに、関係性の強い単語同士で色別のネットワークを構築しています。

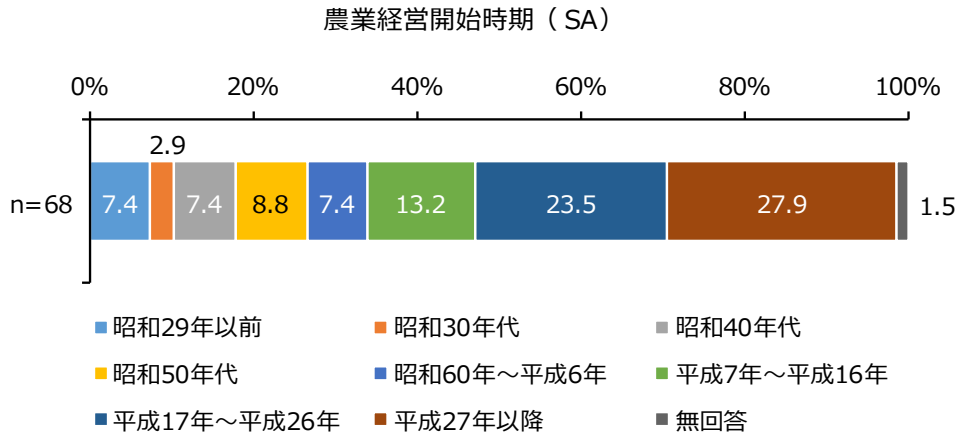


※フリーソフトウェアの KH Coder を使用して作成

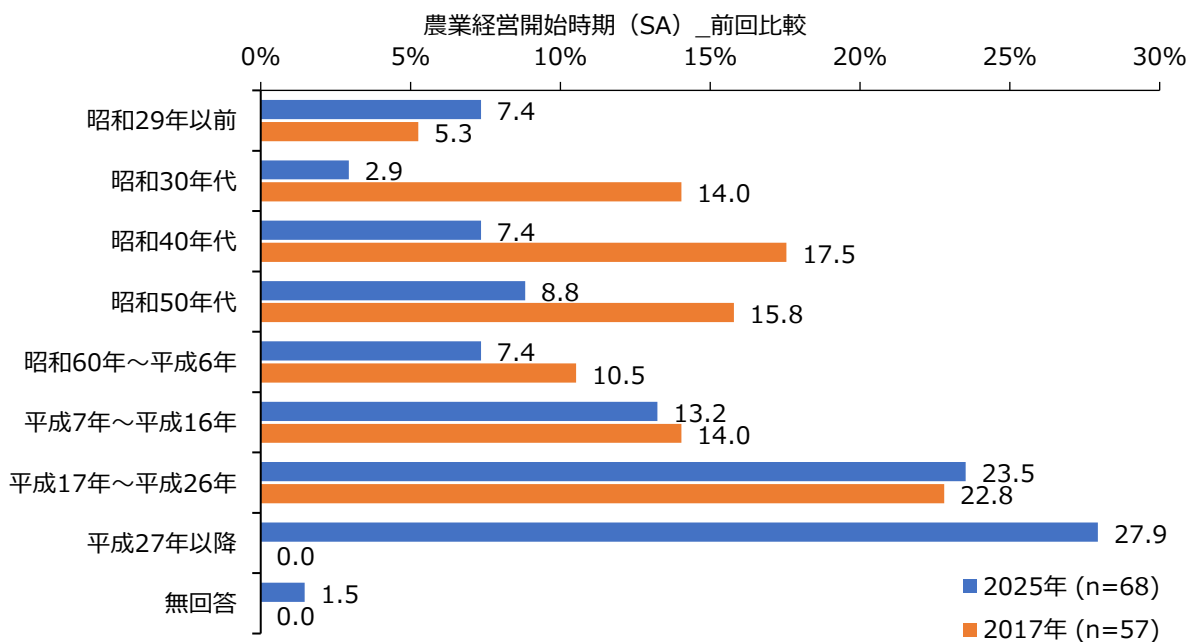
第4部 調査結果（農業者）

はじめに、皆様の概要についておたずねします。（それぞれの項目について、あてはまるもの1つに○印）

問 1-1 農業経営開始時期



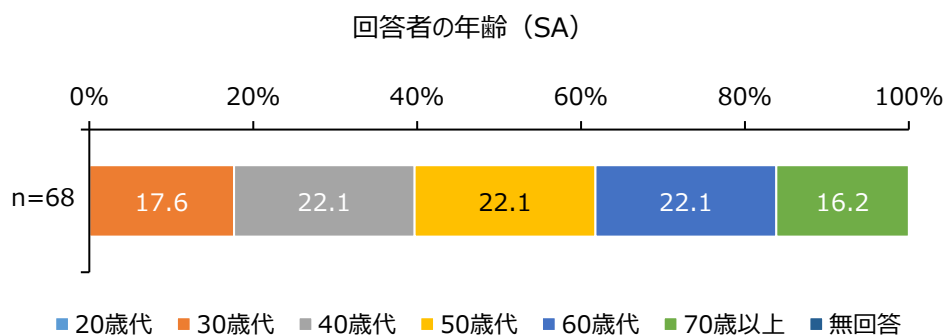
	n	%
昭和 29 年以前	5	7.4
昭和 30 年代	2	2.9
昭和 40 年代	5	7.4
昭和 50 年代	6	8.8
昭和 60 年～平成 6 年	5	7.4
平成 7 年～平成 16 年	9	13.2
平成 17 年～平成 26 年	16	23.5
平成 27 年以降	19	27.9
無回答	1	1.5
	68	100.0



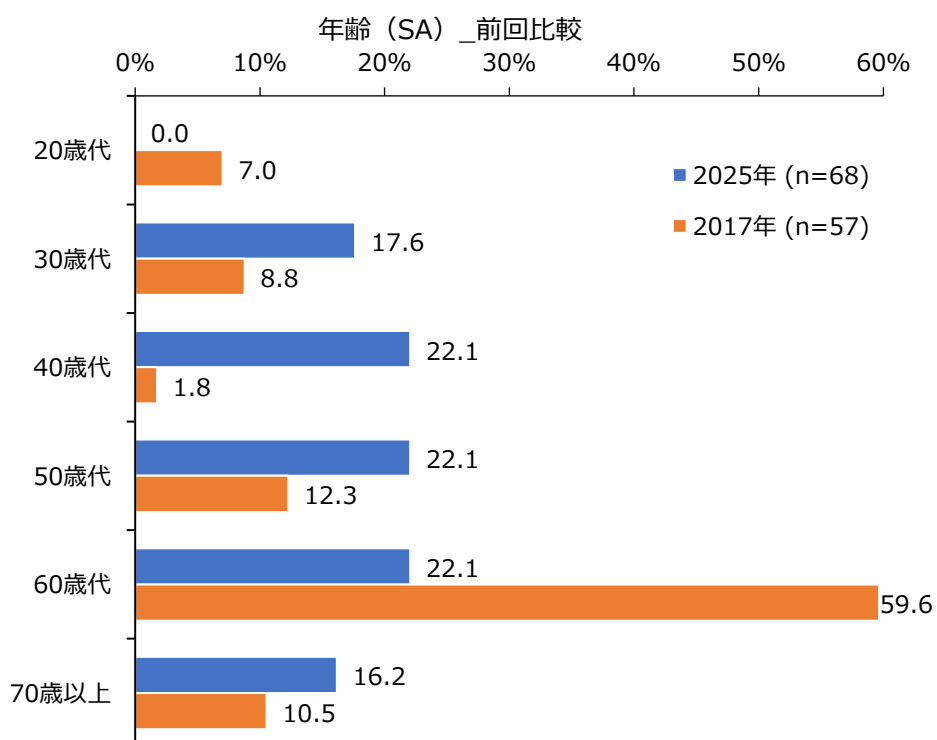
	2025年	2017年
昭和 29 年以前	5	3
昭和 30 年代	2	8
昭和 40 年代	5	10
昭和 50 年代	6	9
昭和 60 年～平成 6 年	5	6
平成 7 年～平成 16 年	9	8
平成 17 年～平成 26 年	16	13
平成 27 年以降	19	-
無回答	1	0
	68	57

※「平成 27 年以降」は今回初めて設定した。

問 1-2 回答者の年齢

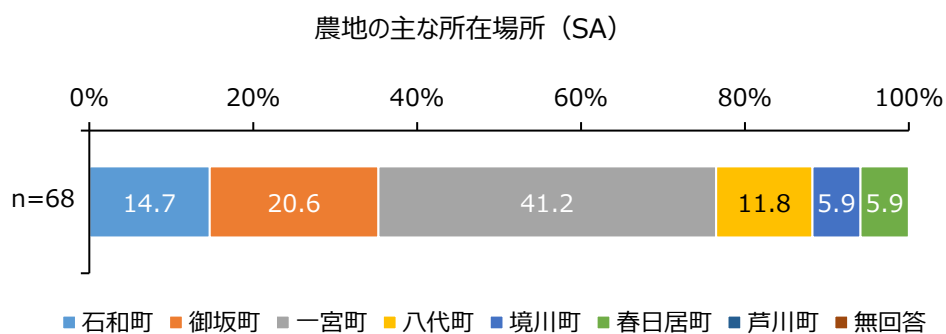
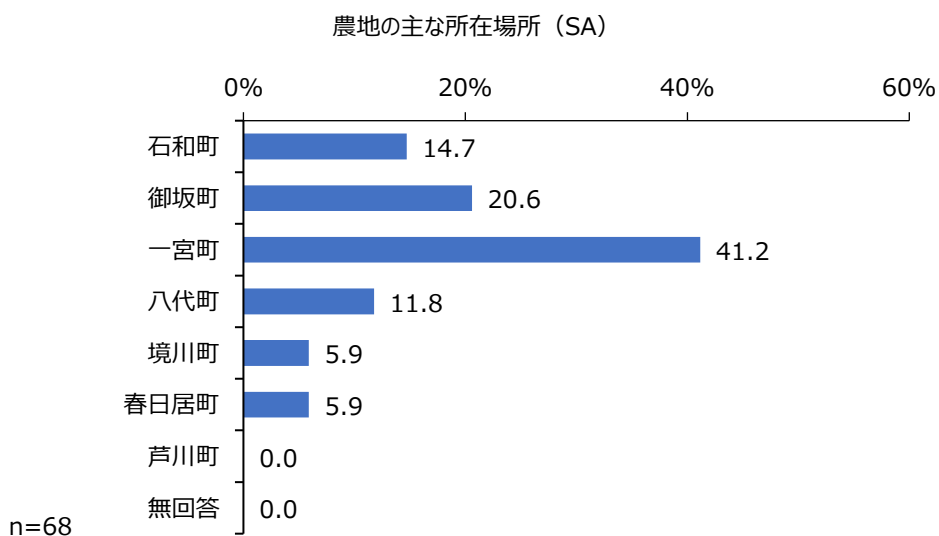


	n	%
20歳代	0	0.0
30歳代	12	17.6
40歳代	15	22.1
50歳代	15	22.1
60歳代	15	22.1
70歳以上	11	16.2
無回答	0	0.0
	68	100.0



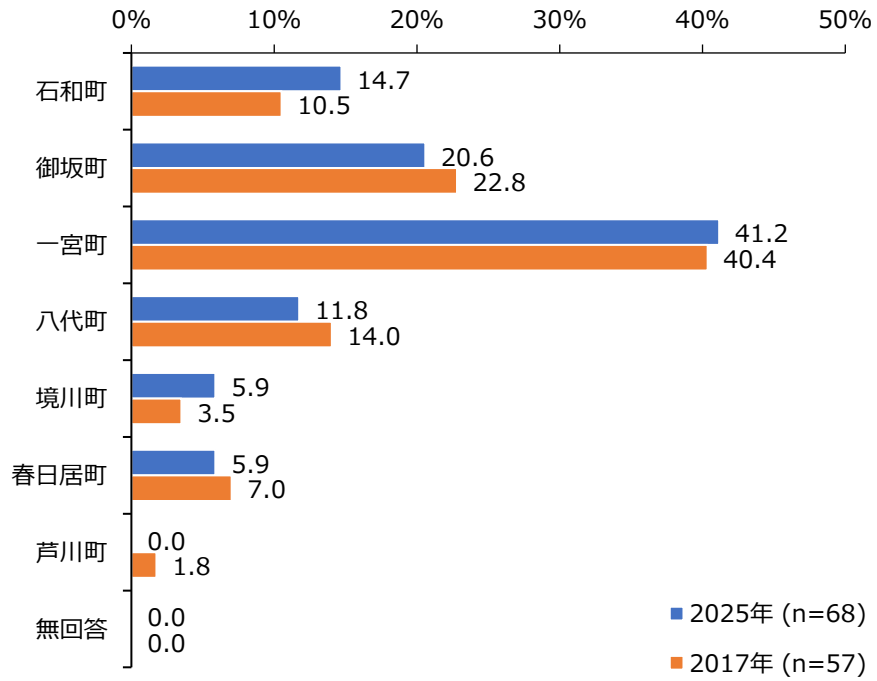
	2025 年	2017 年
20 歳代	0	4
30 歳代	12	5
40 歳代	15	1
50 歳代	15	7
60 歳代	15	34
70 歳以上	11	6
無回答	0	0
	68	57

問 1-3 農地の主な所在場所



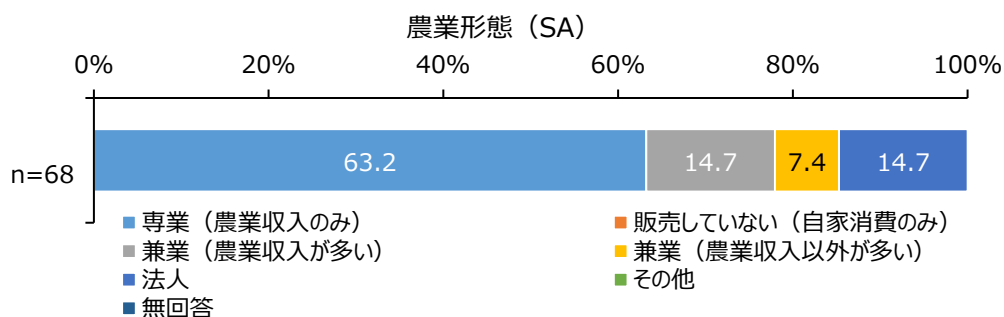
	n	%
石和町	10	14.7
御坂町	14	20.6
一宮町	28	41.2
八代町	8	11.8
境川町	4	5.9
春日居町	4	5.9
芦川町	0	0.0
無回答	0	0.0
	68	100.0

農地の主な所在場所（SA）_前回比較

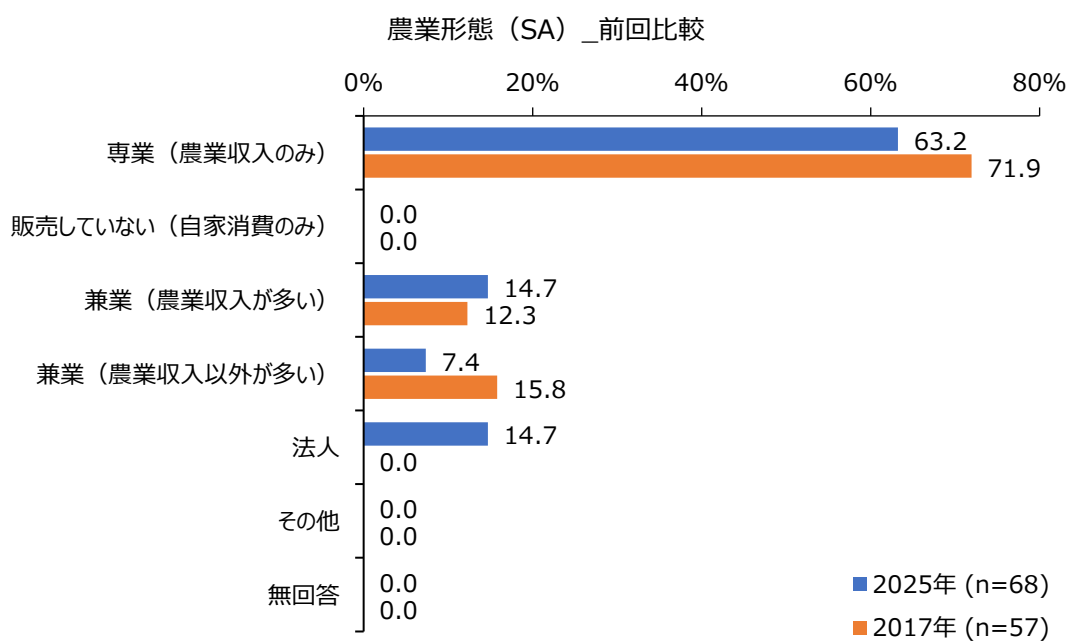


	2025年	2017年
石和町	10	6
御坂町	14	13
一宮町	28	23
八代町	8	8
境川町	4	2
春日居町	4	4
芦川町	0	1
無回答	0	0
	68	57

問 1-4 農業形態

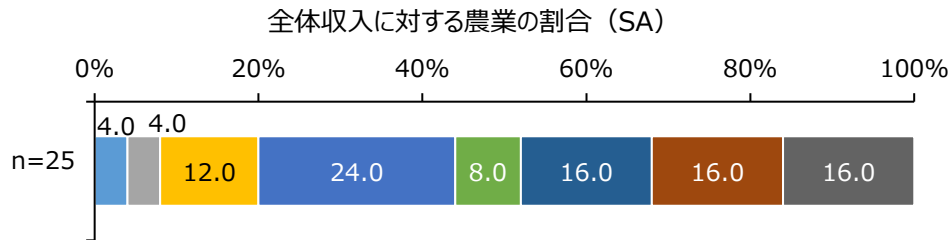


	n	%
専業 (農業収入のみ)	43	63.2
販売していない (自家消費のみ)	0	0.0
兼業 (農業収入が多い)	10	14.7
兼業 (農業収入以外が多い)	5	7.4
法人	10	14.7
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
	68	100.0



	2025年	2017年
専業 (農業収入のみ)	43	41
販売していない (自家消費のみ)	0	0
兼業 (農業収入が多い)	10	7
兼業 (農業収入以外が多い)	5	9
法人	10	-
その他	0	0
無回答	0	0
	68	57

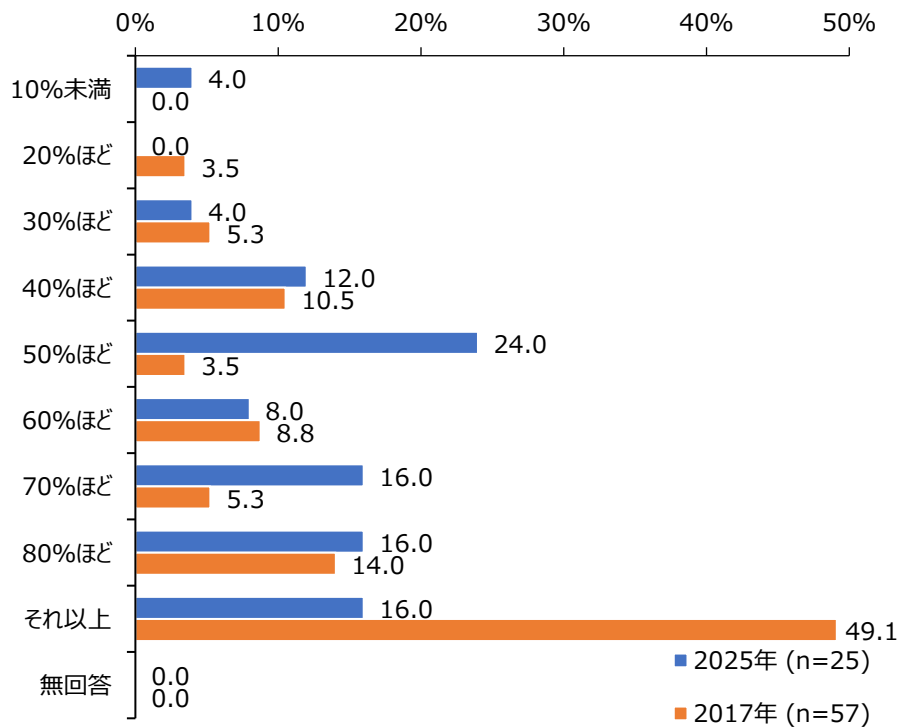
問 1-5 全体収入に対する農業の割合



- 10%未満 ■ 20%ほど ■ 30%ほど ■ 40%ほど ■ 50%ほど
- 60%ほど ■ 70%ほど ■ 80%ほど ■ それ以上 ■ 無回答

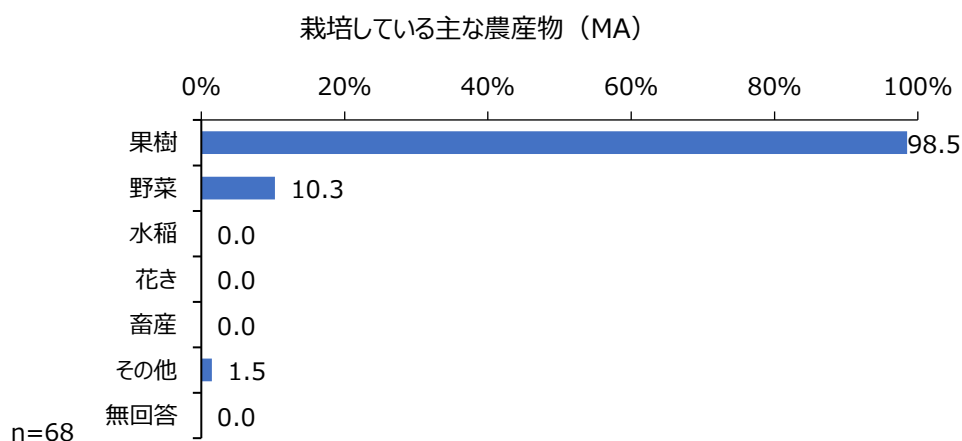
	n	%
10%未満	1	4.0
20%ほど	0	0.0
30%ほど	1	4.0
40%ほど	3	12.0
50%ほど	6	24.0
60%ほど	2	8.0
70%ほど	4	16.0
80%ほど	4	16.0
それ以上	4	16.0
無回答	0	0.0
	25	100.0

全体収入に対する農業の割合 (SA) _ 前回比較

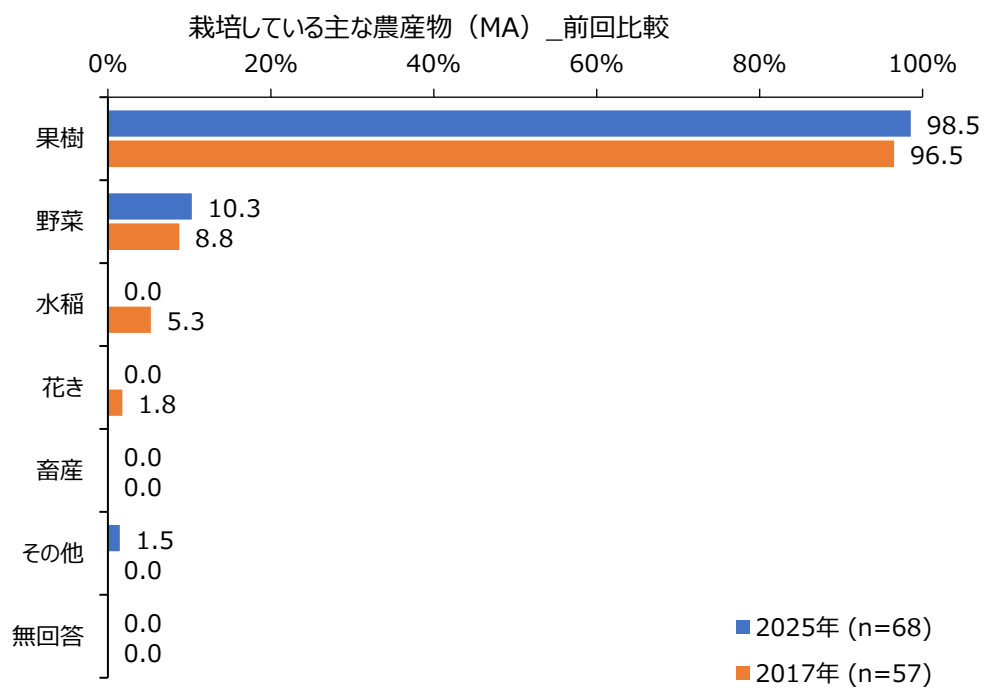


	2025年	2017年
10%未満	1	0
20%ほど	0	2
30%ほど	1	3
40%ほど	3	6
50%ほど	6	2
60%ほど	2	5
70%ほど	4	3
80%ほど	4	8
それ以上	4	28
無回答	0	0
	25	57

問 1-6 栽培している主な農産物

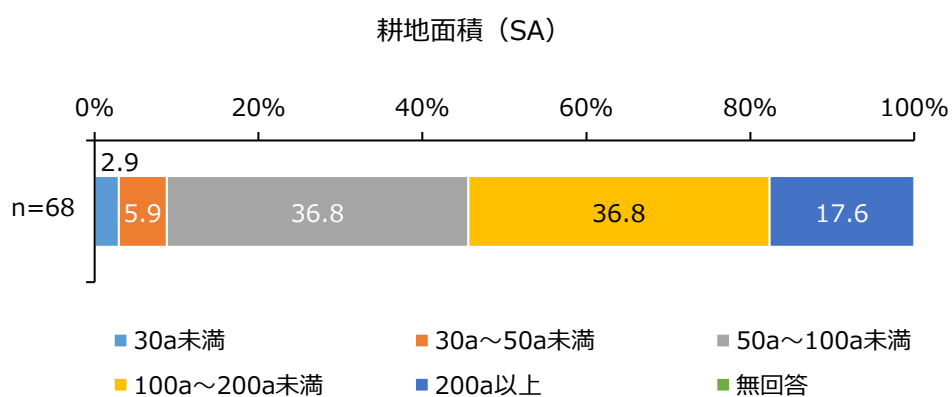
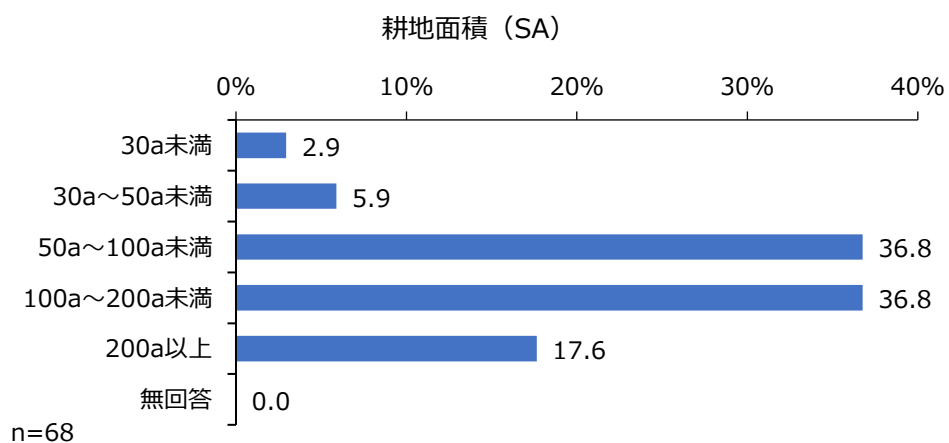


	n	%
果樹	67	98.5
野菜	7	10.3
水稻	0	0.0
花き	0	0.0
畜産	0	0.0
その他	1	1.5
無回答	0	0.0
	68	100.0

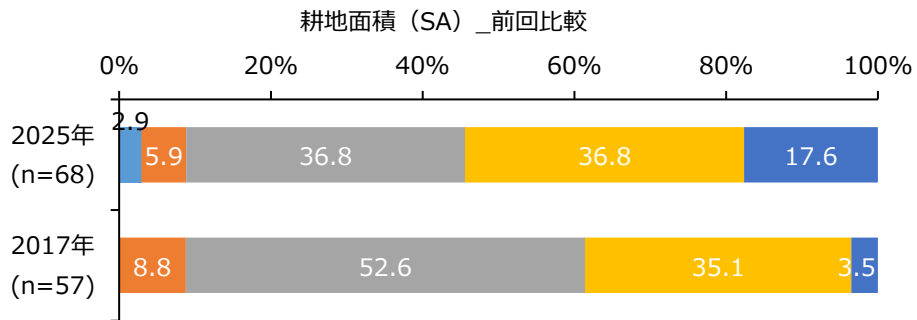
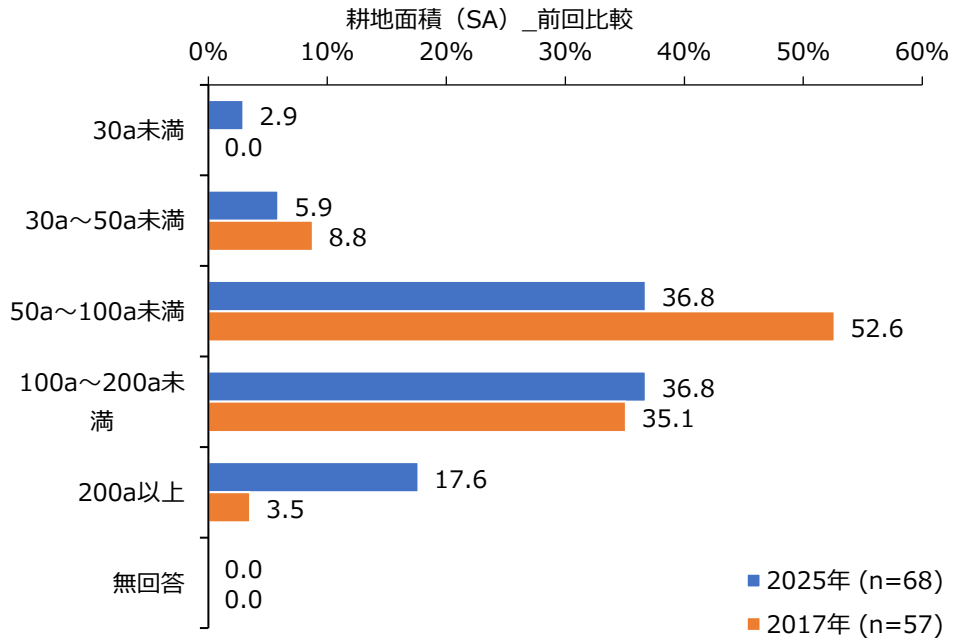


	2025年	2017年
果樹	67	55
野菜	7	5
水稻	0	3
花き	0	1
畜産	0	0
その他	1	0
無回答	0	0
	68	57

問 1-7 耕地面積



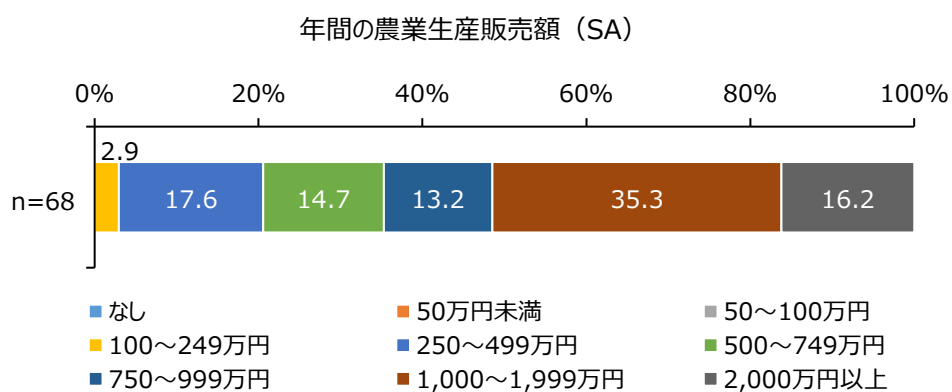
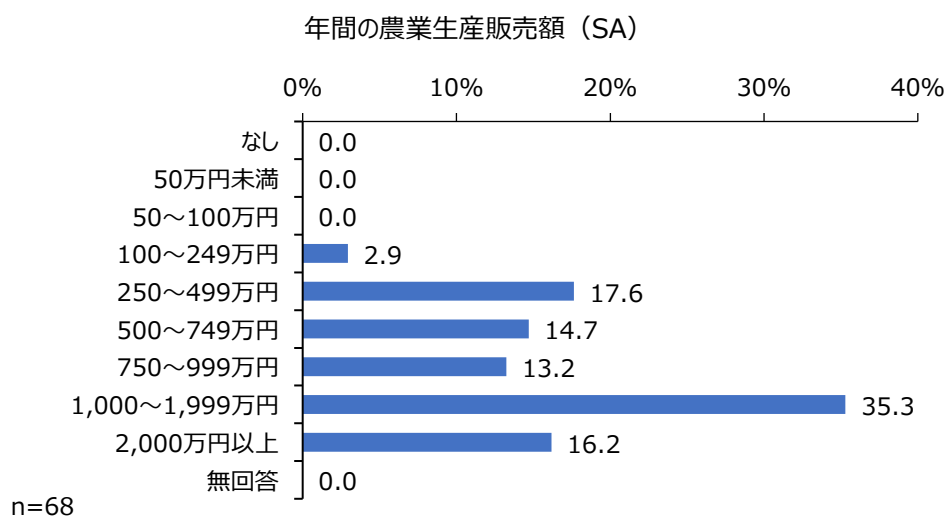
	n	%
30a 未満	2	2.9
30a~50a 未満	4	5.9
50a~100a 未満	25	36.8
100a~200a 未満	25	36.8
200a 以上	12	17.6
無回答	0	0.0
	68	100.0



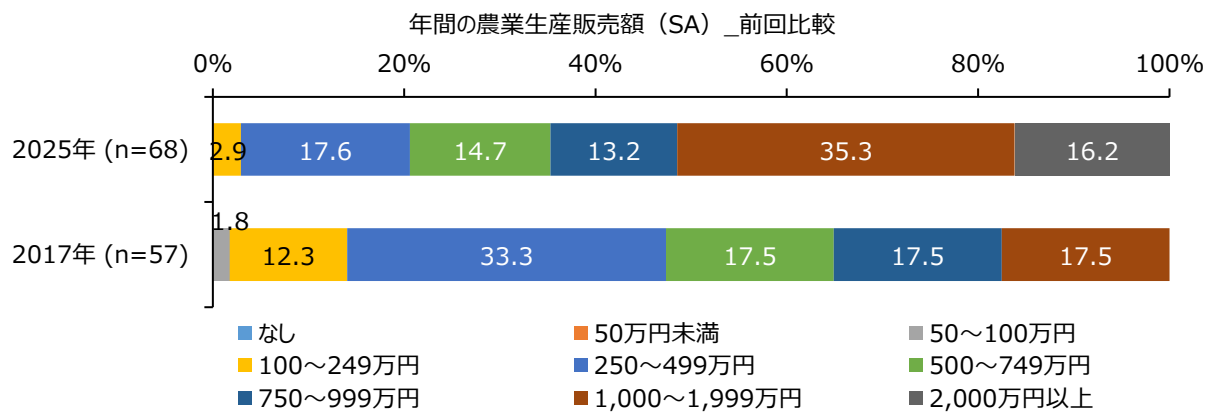
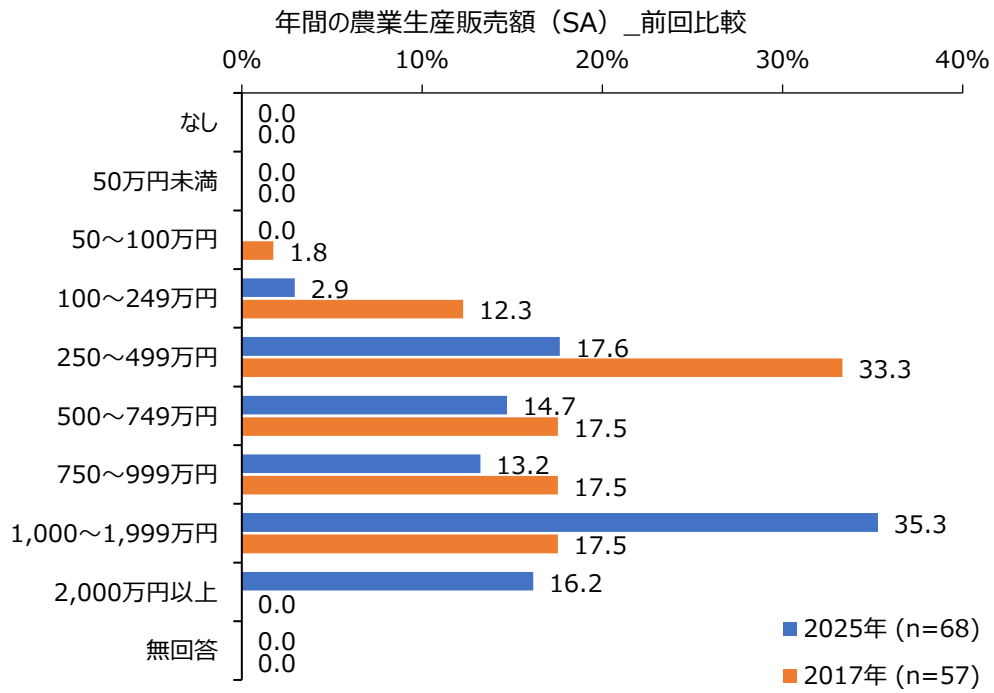
■ 30a未満 ■ 30a~50a未満 ■ 50a~100a未満 ■ 100a~200a未満 ■ 200a以上

	2025年	2017年
30a 未満	2	0
30a~50a 未満	4	5
50a~100a 未満	25	30
100a~200a 未満	25	20
200a 以上	12	2
無回答	0	0
	68	57

問 1-8 年間の農業生産販売額



	n	%
なし	0	0.0
50万円未満	0	0.0
50~100万円	0	0.0
100~249万円	2	2.9
250~499万円	12	17.6
500~749万円	10	14.7
750~999万円	9	13.2
1,000~1,999万円	24	35.3
2,000万円以上	11	16.2
無回答	0	0.0
	68	100.0

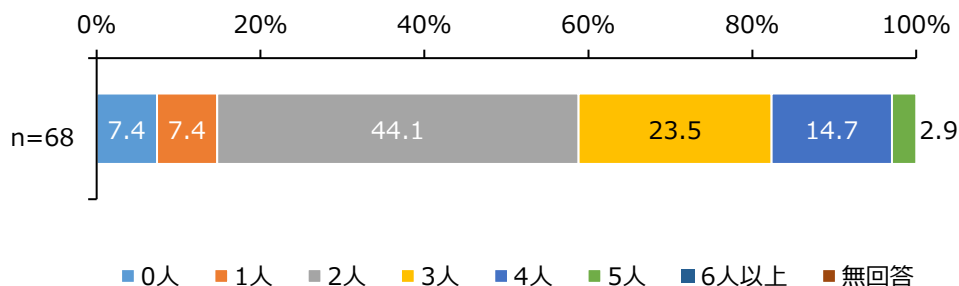


	2025年	2017年
なし	0	0
50万円未満	0	0
50~100万円	0	1
100~249万円	2	7
250~499万円	12	19
500~749万円	10	10
750~999万円	9	10
1,000~1,999万円	24	10
2,000万円以上	11	0
無回答	0	0
	68	57

問 2 農業従事者の数

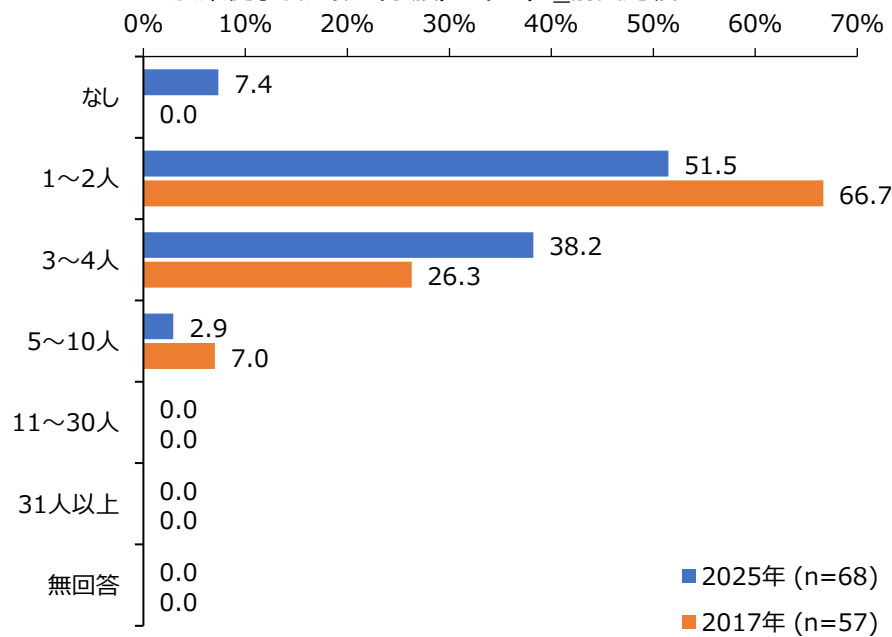
あなたを含めた、農業従事者の人数を教えてください。

農業従事者人数（家族）（SA）



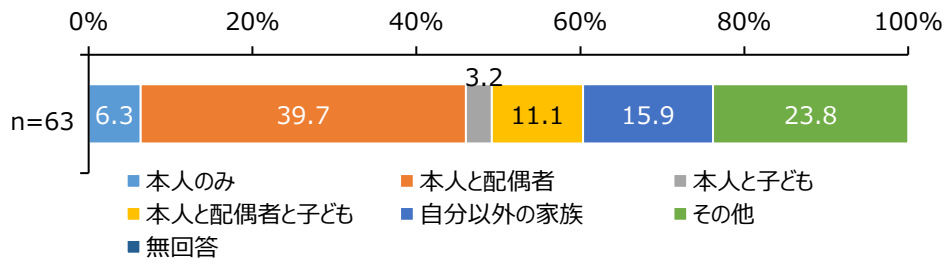
	n	%
0人	5	7.4
1人	5	7.4
2人	30	44.1
3人	16	23.5
4人	10	14.7
5人	2	2.9
6人以上	0	0.0
無回答	0	0.0
	68	100.0

農業従事者人数（家族）（SA）_前回比較



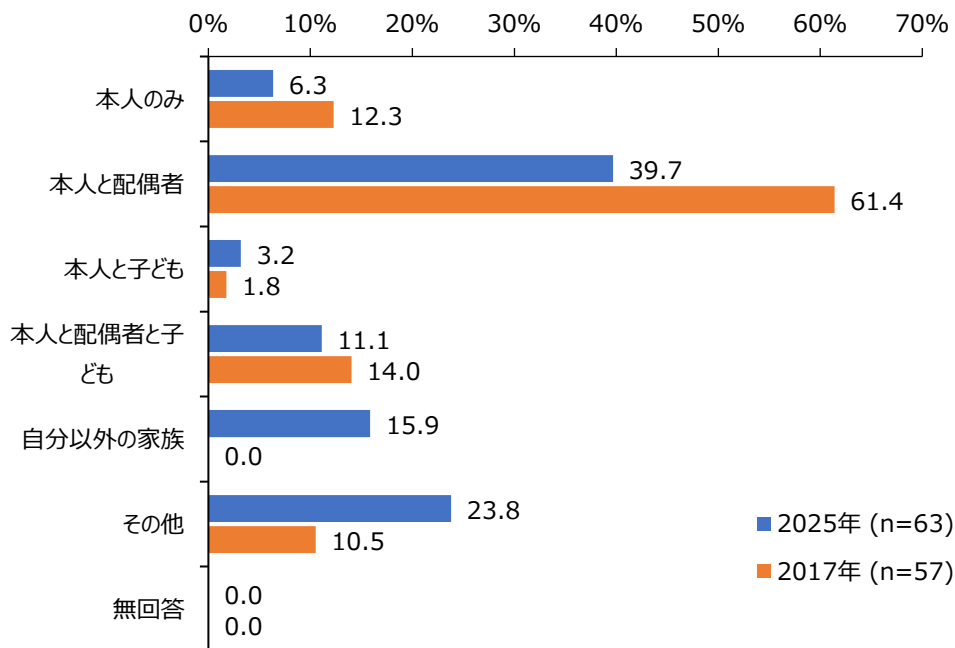
	2025年	2017年
なし	5	0
1～2人	35	38
3～4人	26	15
5～10人	2	4
11～30人	0	0
31人以上	0	0
無回答	0	0
	68	57

農業従事者（家族）（SA）



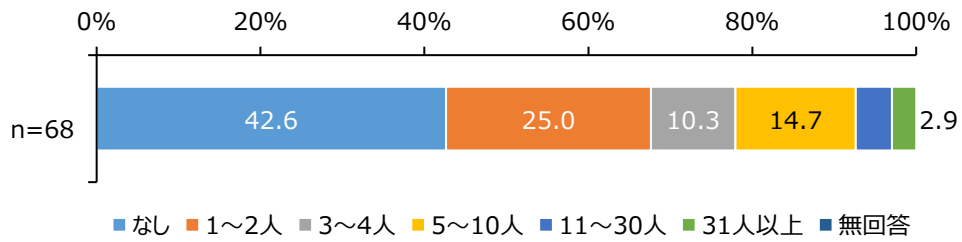
	n	%
本人のみ	4	6.3
本人と配偶者	25	39.7
本人と子ども	2	3.2
本人と配偶者と子ども	7	11.1
自分以外の家族	10	15.9
その他	15	23.8
無回答	0	0.0
	63	100.0

農業従事者人数（雇用）（SA）_前回比較



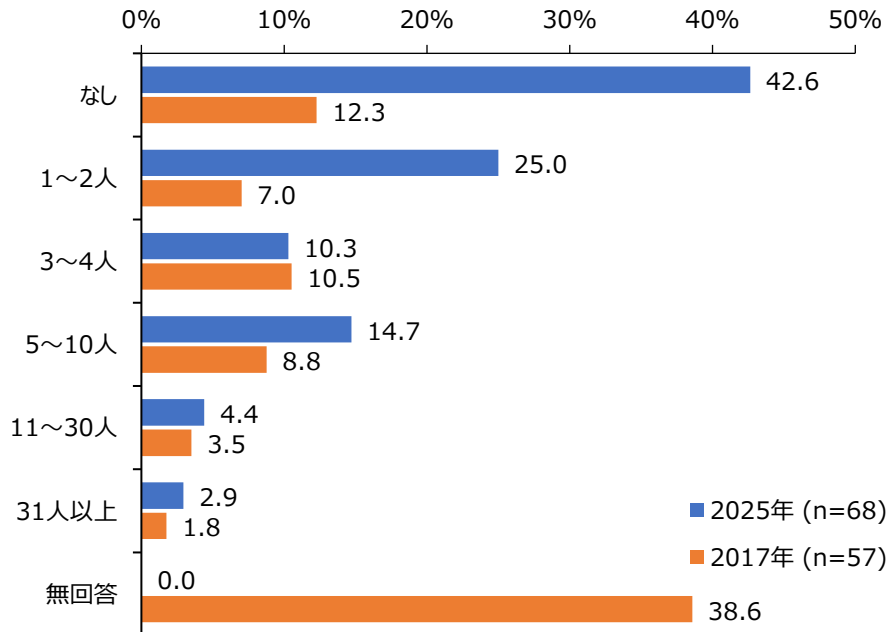
	2025年	2017年
本人のみ	4	7
本人と配偶者	25	35
本人と子ども	2	1
本人と配偶者と子ども	7	8
自分以外の家族	10	-
その他	15	6
無回答	0	0
	63	57

農業従事者人数（雇用）（SA）



	n	%
なし	29	42.6
1~2人	17	25.0
3~4人	7	10.3
5~10人	10	14.7
11~30人	3	4.4
31人以上	2	2.9
無回答	0	0.0
	68	100.0

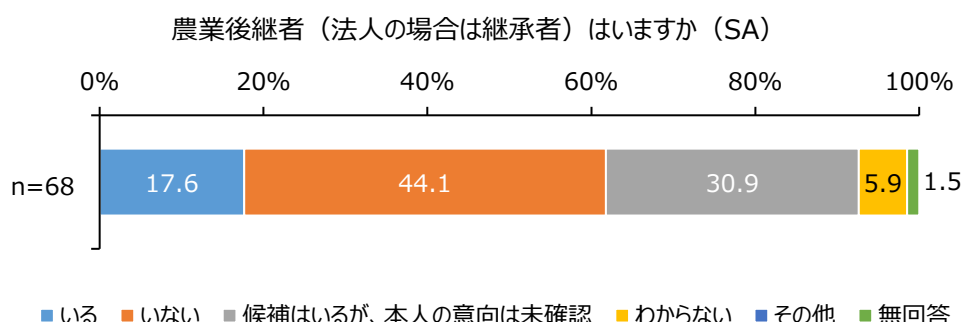
農業従事者人数（雇用）（SA）_前回比較



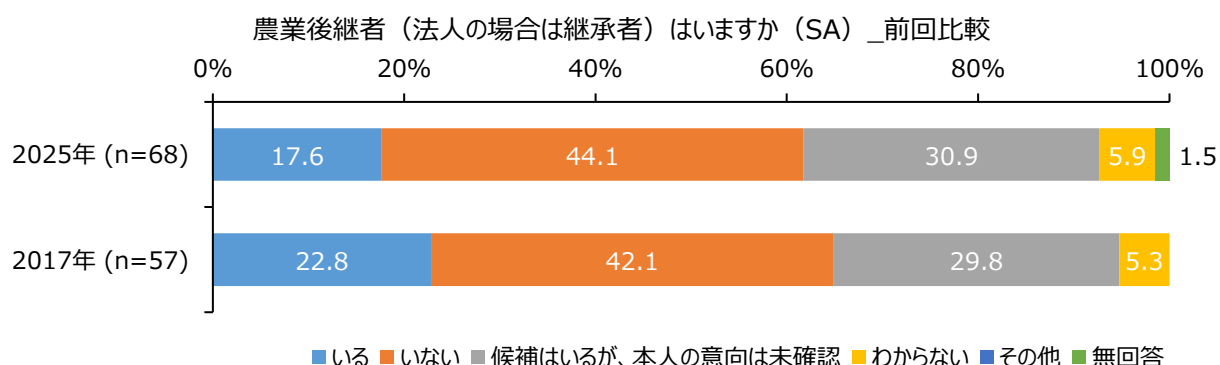
	2025年	2017年
なし	29	7
1~2人	17	4
3~4人	7	6
5~10人	10	5
11~30人	3	2
31人以上	2	1
無回答	0	22
	68	57

問3 後継者の有無

農業後継者（法人の場合は継承者）はいますか。（1つに○印）



	n	%
いる	12	17.6
いない	30	44.1
候補はいるが、本人の意向は未確認	21	30.9
わからない	4	5.9
その他	0	0.0
無回答	1	1.5
	68	100.0

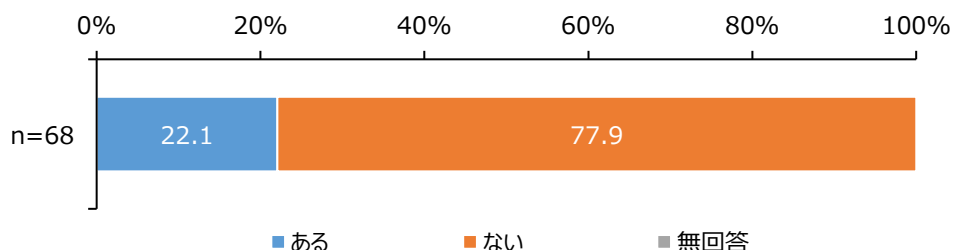


	2025	2017
いる	12	13
いない	30	24
候補はいるが、本人の意向は未確認	21	17
わからない	4	3
その他	0	0
無回答	1	0
	68	57

問 4 耕作していない農地の有無

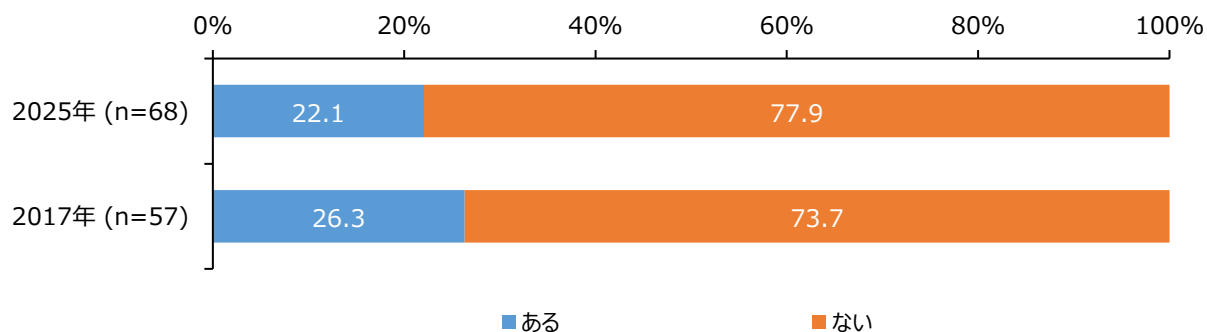
所有している農地で耕作していない農地はありますか。（1つに○印）

所有している農地で耕作していない農地はありますか（SA）



	n	%
ある	15	22.1
ない	53	77.9
無回答	0	0.0
	68	100.0

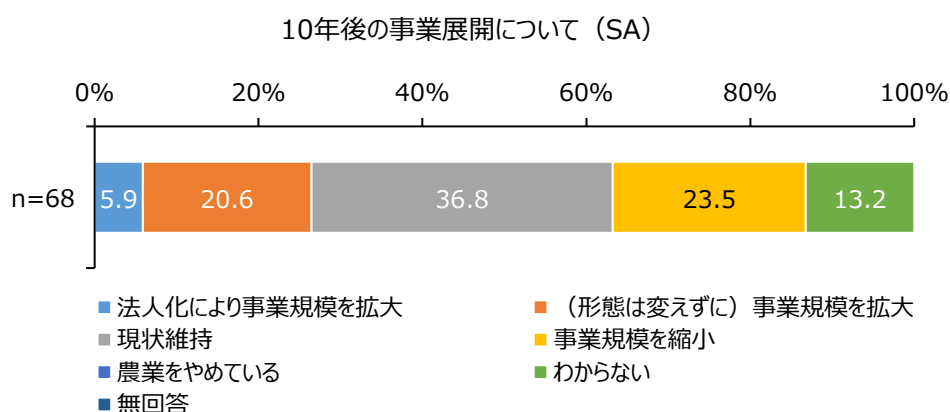
所有している農地で耕作していない農地はありますか（SA）_前回比較



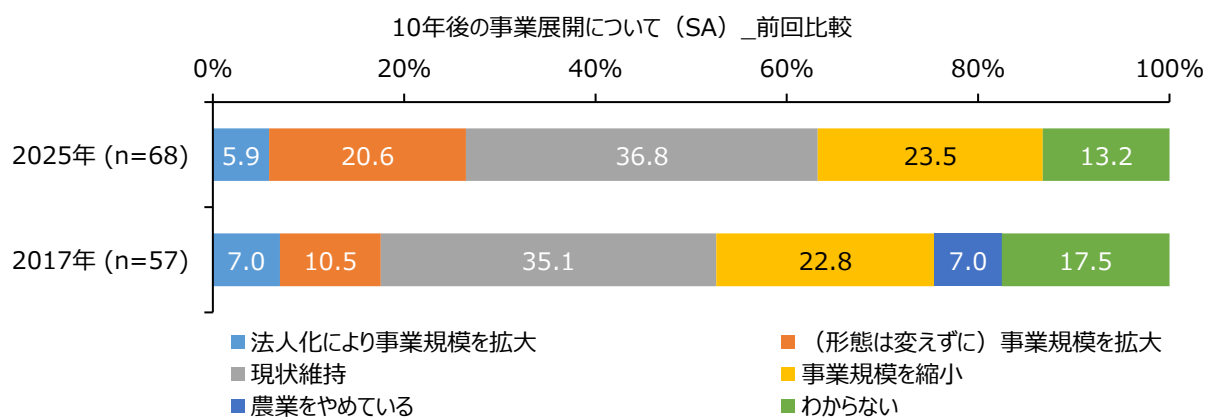
	2025	2017
ある	15	15
ない	53	42
	68	57

問 5 10年後の事業展開

10年後の事業展開について、どのように考えていますか。（1つに○印）



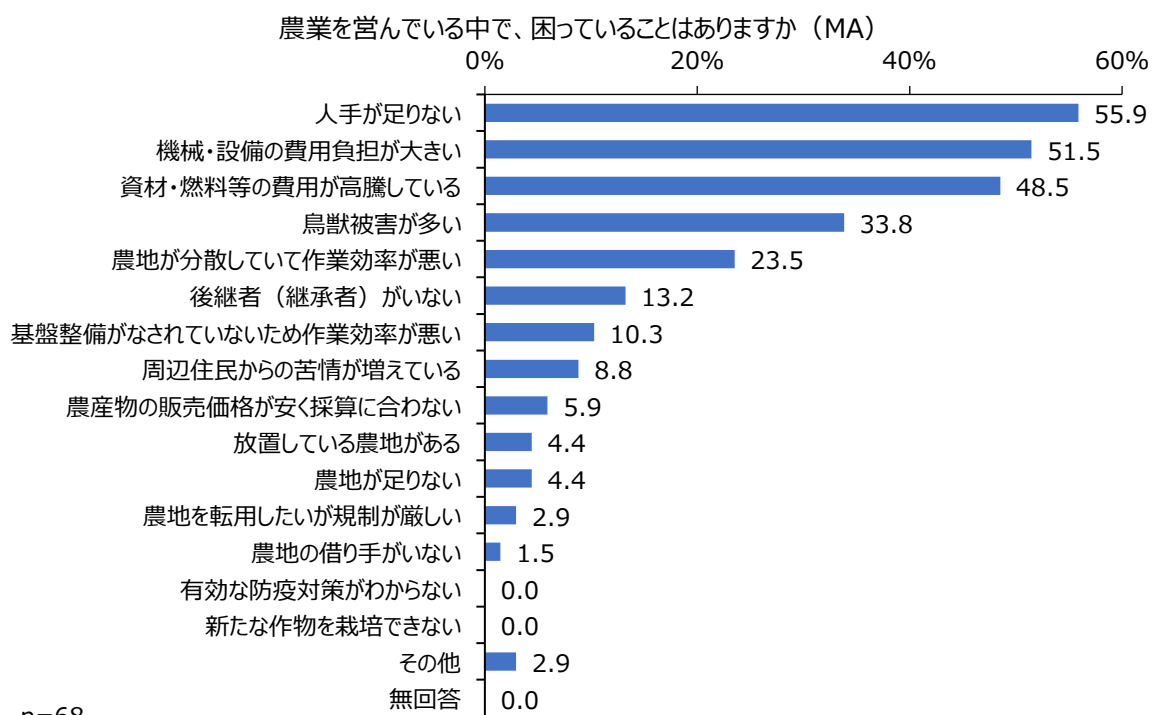
	n	%
法人化により事業規模を拡大	4	5.9
(形態は変えずに) 事業規模を拡大	14	20.6
現状維持	25	36.8
事業規模を縮小	16	23.5
農業をやめている	0	0.0
わからない	9	13.2
無回答	0	0.0
	68	100.0



	2025年	2017年
法人化により事業規模を拡大	4	4
(形態は変えずに) 事業規模を拡大	14	6
現状維持	25	20
事業規模を縮小	16	13
農業をやめている	0	4
わからない	9	10
無回答	0	0
	68	57

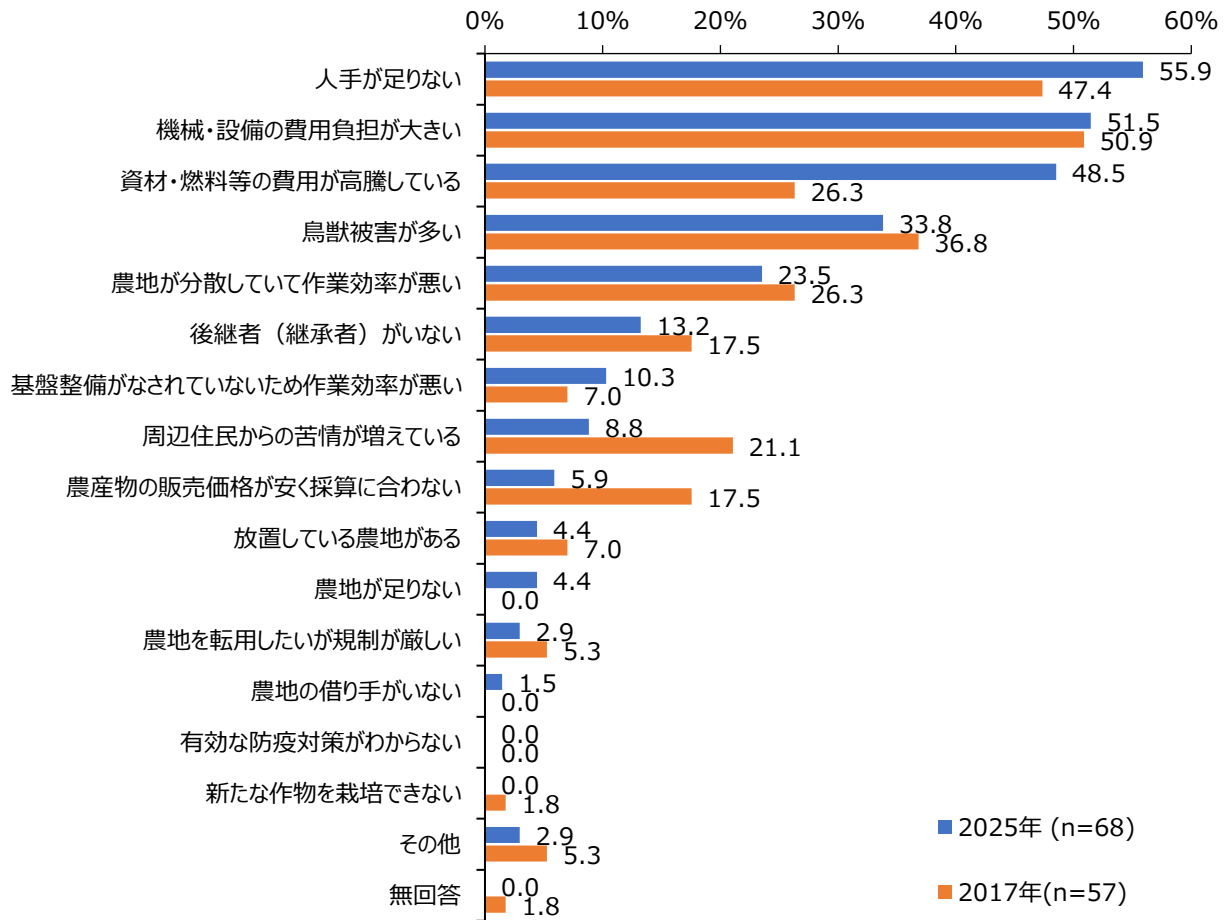
問 6 農業経営で困っていること

農業を営んでいる中で、困っていることはありますか。（最大3つまで○印）



	n	%
人手が足りない	38	55.9
機械・設備の費用負担が大きい	35	51.5
資材・燃料等の費用が高騰している	33	48.5
鳥獣被害が多い	23	33.8
農地が分散していて作業効率が悪い	16	23.5
後継者（継承者）がない	9	13.2
基盤整備がなされていないため作業効率が悪い	7	10.3
周辺住民からの苦情が増えている	6	8.8
農産物の販売価格が安く採算に合わない	4	5.9
放置している農地がある	3	4.4
農地が足りない	3	4.4
農地を転用したいが規制が厳しい	2	2.9
農地の借り手がない	1	1.5
有効な防疫対策がわからない	0	0.0
新たな作物を栽培できない	0	0.0
その他	2	2.9
無回答	0	0.0
	68	100.0

農業を営んでいる中で、困っていることはありますか（MA）_前回比較

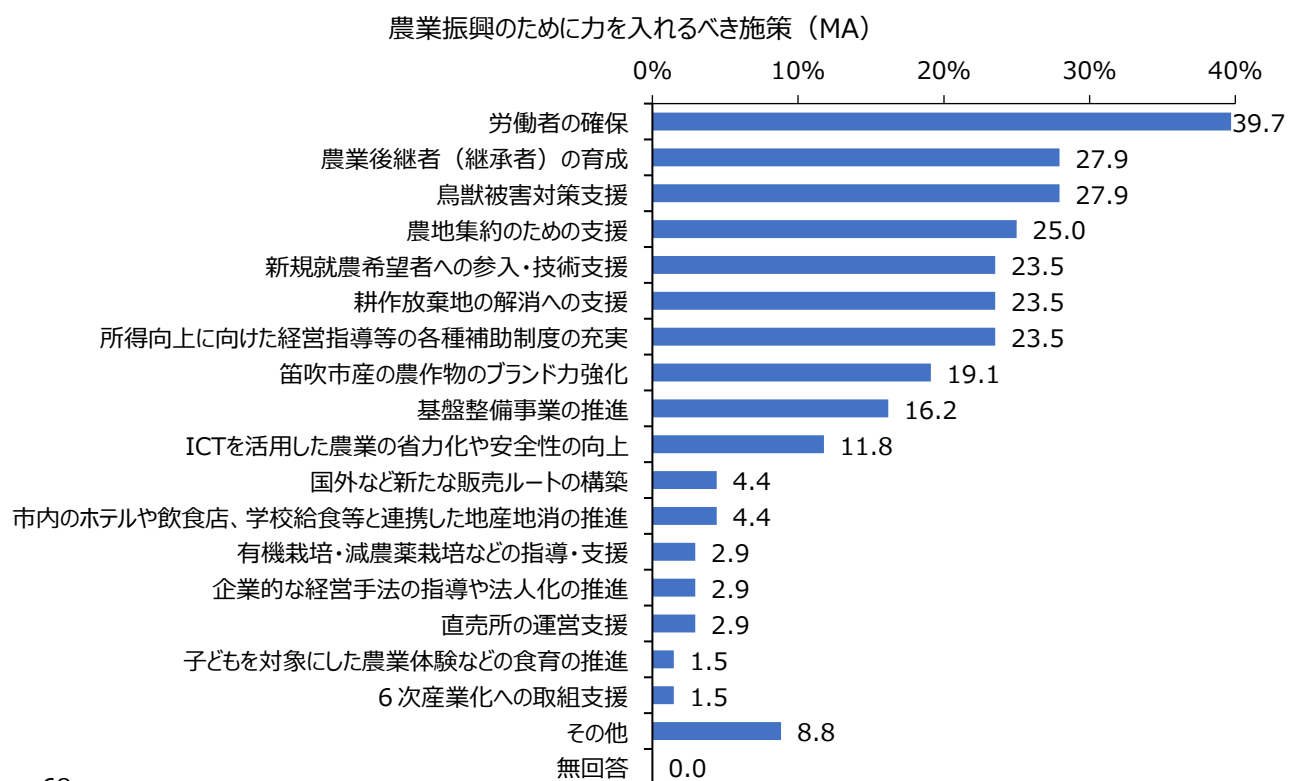


	2025年	2017年
人手が足りない	38	27
機械・設備の費用負担が大きい	35	29
資材・燃料等の費用が高騰している	33	15
鳥獣被害が多い	23	21
農地が分散していて作業効率が悪い	16	15
後継者（継承者）がいない	9	10
基盤整備がなされていないため作業効率が悪い	7	4
周辺住民からの苦情が増えている	6	12
農産物の販売価格が安く採算に合わない	4	10
放置している農地がある	3	4
農地が足りない	3	0
農地を転用したいが規制が厳しい	2	3
農地の借り手がない	1	0
有効な防疫対策がわからない	0	0
新たな作物を栽培できない	0	1
その他	2	3
無回答	0	1
	68	57

問 7 農業振興のために力を入れるべき施策

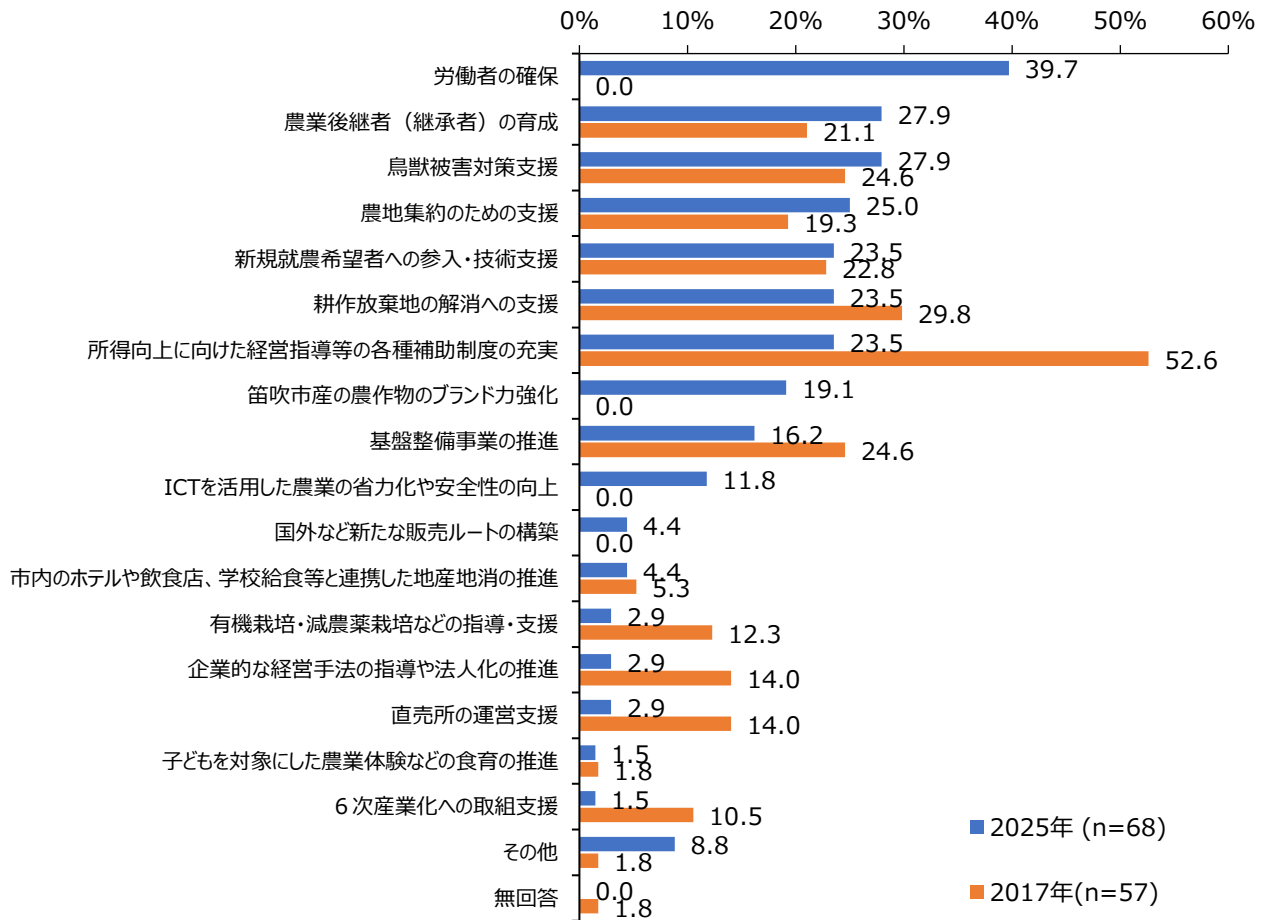
本市において農業振興を図るために、どのような施策に力を入れる必要があると思いますか。

(最大3つまで○印)



	n	%
労働者の確保	27	39.7
農業後継者 (継承者) の育成	19	27.9
鳥獣被害対策支援	19	27.9
農地集約のための支援	17	25.0
新規就農希望者への参入・技術支援	16	23.5
耕作放棄地の解消への支援	16	23.5
所得向上に向けた経営指導等の各種補助制度の充実	16	23.5
笛吹市産の農作物のブランド力強化	13	19.1
基盤整備事業の推進	11	16.2
ICT を活用した農業の省力化や安全性の向上	8	11.8
国外など新たな販売ルートの構築	3	4.4
市内のホテルや飲食店、学校給食等と連携した地産地消の推進	3	4.4
有機栽培・減農薬栽培などの指導・支援	2	2.9
企業的な経営手法の指導や法人化の推進	2	2.9
直売所の運営支援	2	2.9
子どもを対象にした農業体験などの食育の推進	1	1.5
6次産業化への取組支援	1	1.5
その他	6	8.8
無回答	0	0.0
	68	100.0

農業振興のために力を入れるべき施策（MA）_前回比較



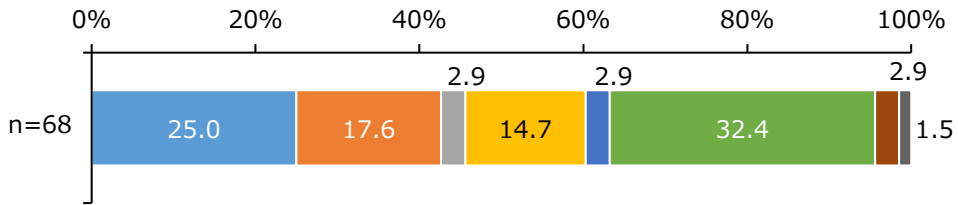
	2025年	2017年
労働者の確保	27	-
農業後継者（継承者）の育成	19	12
鳥獣被害対策支援	19	14
農地集約のための支援	17	11
新規就農希望者への参入・技術支援	16	13
耕作放棄地の解消への支援	16	17
所得向上に向けた経営指導等の各種補助制度の充実	16	30
笛吹市産の農作物のブランド力強化	13	-
基盤整備事業の推進	11	14
ICTを活用した農業の省力化や安全性の向上	8	-
国外など新たな販売ルートの構築	3	-
市内のホテルや飲食店、学校給食等と連携した地産地消の推進	3	3
有機栽培・減農薬栽培などの指導・支援	2	7
企業的な経営手法の指導や法人化の推進	2	8
直売所の運営支援	2	8
子どもを対象にした農業体験などの食育の推進	1	1
6次産業化への取組支援	1	6
その他	6	1
無回答	0	1
	68	57

※「労働者の確保」、「笛吹市産の農作物のブランド力強化」、「ICTを活用した農業の省力化や安全性の向上」、「国外など新たな販売ルートの構築」は今回初めて設定した。

問 8 担い手確保に必要なこと

本市において、新たな農業の担い手の確保や新規就農者の育成のためには、何が必要だと思いますか。
(1つに○印)

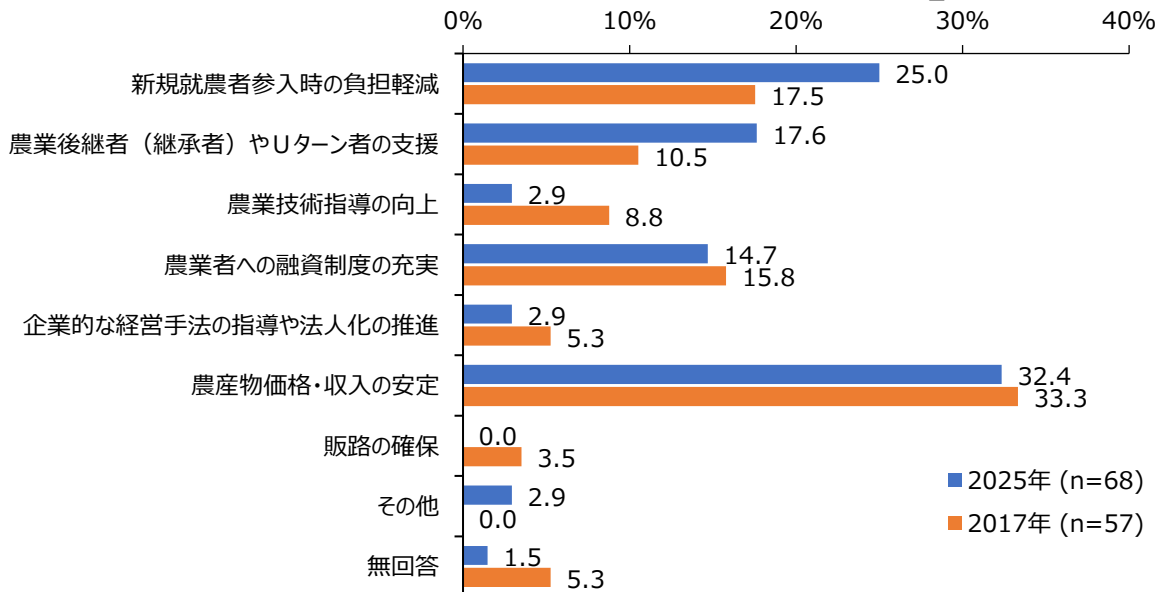
新たな農業の担い手の確保や新規就農者の育成のために必要だと思うこと (SA)



- 新規就農者参入時の負担軽減
- 農業技術指導の向上
- 企業的な経営手法の指導や法人化の推進
- 販路の確保
- 無回答
- 農業後継者(継承者)やUターン者の支援
- 農業者への融資制度の充実
- 農産物価格・収入の安定
- その他

	n	%
新規就農者参入時の負担軽減	17	25.0
農業後継者(継承者)やUターン者の支援	12	17.6
農業技術指導の向上	2	2.9
農業者への融資制度の充実	10	14.7
企業的な経営手法の指導や法人化の推進	2	2.9
農産物価格・収入の安定	22	32.4
販路の確保	0	0.0
その他	2	2.9
無回答	1	1.5
	68	100.0

新たな農業の担い手の確保や新規就農者の育成のために必要だと思うこと (SA) _前回比較



	2025年	2017年
新規就農者参入時の負担軽減	17	10
農業後継者（継承者）やUターン者の支援	12	6
農業技術指導の向上	2	5
農業者への融資制度の充実	10	9
企業的な経営手法の指導や法人化の推進	2	3
農産物価格・収入の安定	22	19
販路の確保	0	2
その他	2	0
無回答	1	3
	68	57

問 9 若者が農業に従事するために必要な支援

若い人たちが農業に従事するためには、どのような支援が必要だと思いますか。御自由にお書きください。

※以下、主なものについて抜粋。一部重複するものはまとめた。

- 所得を増やすこと。補助金などの充実。(30 歳代/石和町)
- 農地が空いているところがあるが現状、持ち主がわからなかったりする。規模の拡大を支援してほしい。窓口の担当が新規参入を拒んでるようにも感じる。新規農業補助金を申し込もうとした時にそのように感じて申請できなかった。(30 歳代/石和町)
- 農業に興味を持ってもらうこと。(30 歳代/石和町)
- 私はゼロからスタートで農家の知り合いがたくさん居たので就農できましたが、農地の拡大がネックだと思います。また最初のスタート時の資金補助に関しても、さらに手厚くしてあげた方が良いと思います。(30 歳代/御坂町)
- 補助金などの支援。(30 歳代/御坂町)
- 若い人がまちに残るようにするには。(30 歳代/一宮町)
- 良い農地の取得支援。(30 歳代/一宮町)
- 農業を始める為の初期投資への補助。あるかもしれないが収入が安定するまで(5 年程度)の指導・支援・補助・融資など。若い人が情報を簡単に入手できる環境。(30 歳代/一宮町)
- 農業機械が高騰しているので、補助金のシステムを変えて、もっと考えてほしい。(30 歳代/八代町)
- 農地の確保が難しい。(30 歳代/春日居町)
- 第三者継承が最も現実的。(40 歳代/石和町)
- 年間 120 日以上農業に従事している者の農業利益は税率を下げる。(40 歳代/石和町)
- 補助金。(40 歳代/御坂町)
- 収入の安定。農業技術の向上。機械や設備の費用補助。(40 歳代/一宮町)
- 耕作放棄地から始めた場合の未収入期間の支援等。(40 歳代/一宮町)
- 補助金の充実。仲間の輪、つながりへの手助け。収入面など各種不安対しての支援、助言。農業をコンサルしてくれる人がほしい。(40 歳代/一宮町)
- 借りる農地が町をまたぐと、住居をどこにするか悩むので、住居(拠点) + 耕作する農地があれば、新規に就業しやすいと思う。(40 歳代/一宮町)
- 自分は会社員を経験してから親の後を継ぎ就農しました。新卒の時に就職の選択肢として農業があがることがほとんどないので、収支や就業の様子を知る機会があると良いと思います。(40 歳代/一宮町)
- 金銭面等、補助金。(40 歳代/一宮町)
- 新規就農者はまず畑の確保が何より大切、農地は空くには空くがいつこの場所が空くかわからない、中間管理機構などあるが、大体が近所の中で決まってしまう、農地を貸したい人がもっと気軽に相談したりできたり、周知される窓口が出来れば良いと思う。(40 歳代/八代町)
- 補助金。(40 歳代/境川町)
- 中間管理などを利用して、ある程度収入の見込める優良農地を提供してあげる方が良いと思う。(40 歳代/春日居町)
- 技術指導、農地、機械、販路の確保。(40 歳代/春日居町)
- 収入の安定。(50 歳代/石和町)

- 農地への作業場、倉庫等の建設許可。(50 歳代/石和町)
- 支援というよりも、農業で生活できるかだと思います。あとはその人のやる気だと思います。(50 歳代/御坂町)
- 安定収入の相談支援。(50 歳代/御坂町)
- 若い農業従事者へ補助金を支払う。(50 歳代/御坂町)
- 農機具等の購入の融資、補助が必要。友人は新規に農業を始めたが、全て融資、補助が不可！貯金をくずしてやっていますが、生活が苦しいと言っています。とにかく補助金！(50 歳代/一宮町)
- 年間を通しての仕事の確保。(50 歳代/一宮町)
- 農家とサラリーマンと比較した場合に、収入、社会保障、福利厚生等で、総合的に魅力があるかが従事するための判断材料になると思うので、農業をした場合に不利になる条件をフォローする支援が必要だと思います。(50 歳代/一宮町)
- 安定した収入。(50 歳代/一宮町)
- さまざまな税金の免除や控除。(50 歳代/一宮町)
- 初期投資費用の軽減と収入の安定化。(50 歳代/八代町)
- 所得向上に向けた経営指導等各種補助金制度の充実、並びに仲間づくりの場の提供。(60 歳代/石和町)
- 若い人たちに対してのトレーニングセンターの設置を望む。(60 歳代/石和町)
- 補助制度及び担い手への支援。(60 歳代/一宮町)
- やはり年間稼げる環境整備。嫁、婿の確保など。(60 歳代/一宮町)
- 安定した収入。(60 歳代/一宮町)
- 新規就農者の助成が少ない。法人の新規就農者に対して手厚く、個人事業の家には何もない。個人自営は存続していくには難しい。スタッフさんの給料も少々の売り上げでギリギリ支払いができていますが、農作物の切り替えの時、収入が減る時が恐ろしい。期間しっかり稼いでいただくには、スタッフに安定した給料を支払えることが必要。(60 歳代/八代町)
- 金額と技術の支援と困った時の相談。(60 歳代/境川町)
- 新規に機械の導入などに対して、補助金などの支援の充実。(60 歳代/境川町)
- 助成金の支援。(70 歳以上/御坂町)
- お金と技術への支援。(70 歳以上/御坂町)
- 農業者への融資制度を充実させ、農業機械等の購入補助金をもっと充実させてほしい。(70 歳以上/御坂町)
- 経験豊かな指導者と共に、2 年くらいは合同作業をすることが一番の早道ではないかと思う。(70 歳以上/一宮町)
- 経営が軌道にのるまでに補助と技術指導。(70 歳以上/一宮町)
- 農業経営、技術指導。(70 歳以上/八代町)
- 農業機械導入時の補助増大に！(70 歳以上/春日居町) など

問 10 農業のために必要なこと

本市で「農業生産を持続する・農業を発展させる」ために、あなたが必要と感じることについて、御自由にお書きください。

※以下、主なものについて抜粋。一部重複するものはまとめた。

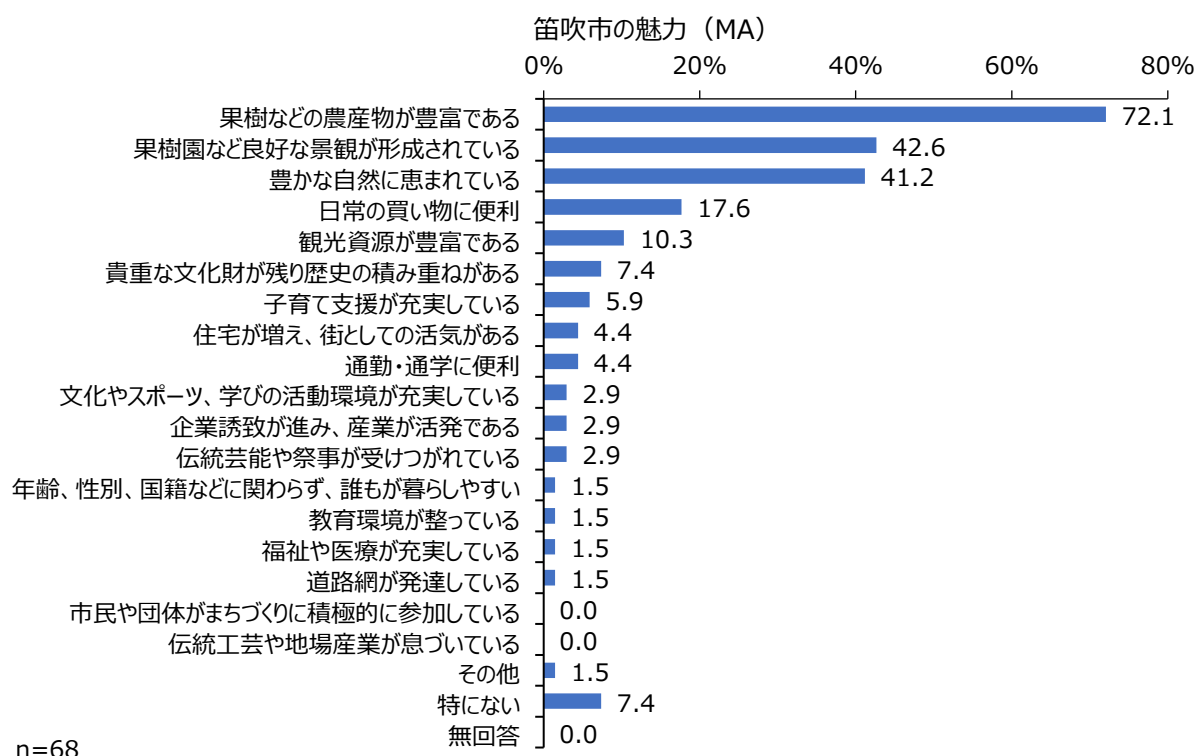
- 農業と観光を組み合わせる。補助金などの充実。(30 歳代/石和町)
- 農業委員会が意味をなしていない。積極的に農地の支援をして行かないと新規参入はきびしいと思う。(30 歳代/石和町)
- 農業の魅力を伝えること。(30 歳代/石和町)
- 私が法人にしてみず言ったのは「美しい景色を守る」でした。農家あってこそその桃源郷ですので、より多くの映像クリエイターに宣伝してもらおうべく、若手クリエイターのワークショップを開いて、桃の花の景色を題材にしてみるのはいかがでしょうか。(30 歳代/御坂町)
- 葡萄棚などの補助金や機械などの補助金のハードルをもう少し下げる。(30 歳代/御坂町)
- 放棄地の対応、指導をお願いしたい。害虫、害獣、細菌の巣となり周辺圃場の生産の妨げになっている。(30 歳代/一宮町)
- 草刈りができる人、摘粒ができる人、袋掛けができる人など、できる人と雇いたい農家をうまくマッチングできる仕組みがあると持続しやすい環境が生まれると思います。(30 歳代/一宮町)
- 鳥獣被害や農地確保のしやすさを見直して欲しい。農地がドンドン減っているのがもう少し問題視した方がいい。(30 歳代/春日居町)
- ブランドづくり。(40 歳代/石和町)
- 利益がでるかどうか。(40 歳代/石和町)
- 補助金。(40 歳代/御坂町)
- 笛吹市の果実のブランド化(一宮)。(40 歳代/一宮町)
- 耕作放棄地の整備。(40 歳代/一宮町)
- 農業に対しての高度な技術、経営方法の共有。(40 歳代/一宮町)
- 後継者が増えることももちろん大事だが、現状ではなかなか難しいので、新規で市の農地に魅力を感じて市に住む農業者を増やすことが大切だと思う。(40 歳代/一宮町)
- 就農人口の増加。(40 歳代/一宮町)
- 安定した販路先等。(40 歳代/一宮町)
- 果樹農家は5月から8月の時期までが忙しく、その時期の人手不足が出来ればやる気のある農家が規模を拡大出来る、各JAなどにも対策の部署はあるがアルバイトなどが見つからないで機能していない、その強化が出来れば新規就農者ばかりではなく、既存の農家も規模拡大でき農業生産を持続、発展出来ると思う。(40 歳代/八代町)
- 兼業農家の後継者が農業をしないのが一番の問題だと思う。専業農家の人たちは農地過多になっているので、兼業農家の維持が大事。(40 歳代/春日居町)

- 均一化した補助や支援体制。例えば、“バックアップ補助金”で、笛吹市はシャインマスカット（ブドウ）に対する補助金はあるが、桃は該当しない。他の市ではブドウと桃の両方にその補助金が該当する。（40歳代/春日居町）
- 人手を増やし、就業時間の短縮。きちんと休みがとれること。（50歳代/石和町）
- 住宅と農地が混在しているため、発展は難しい。（50歳代/石和町）
- 始めたばかりなのでそういうことは考えてないです。今は桃の生産をし、生活ができて行くことに重点を置いているため。（50歳代/御坂町）
- 高齢者が多く、農作業の進捗が悪くなり、時期的に人手不足にもなるため、手軽に申し込める人材派遣組織があれば良いと思う。（50歳代/御坂町）
- 新品等の苗の確保。農協以外の栽培、販路指導。（50歳代/御坂町）
- 求人や育成制度がある。（50歳代/御坂町）
- 上記のように補助金、融資金が必要！農地が宅地になってしまうので、となりで農業ができない。法整備、フルーツ王国なのに住宅地になっていくので、農家としてはやりづらい。（50歳代/一宮町）
- 様々な出荷先の紹介や、資材メーカーなどとの意見交換等ができれば良いと思う。（50歳代/一宮町）
- 昨今の気温上昇で果樹づくりは難しくなっていると思われます。特に露地栽培はその影響が大です。気候変動にどのように対応するのが必要と感じています。（50歳代/一宮町）
- 農業地域の確定。（50歳代/一宮町）
- 農地整備、近隣住民との理解、農業関係機械購入時の補助。（50歳代/一宮町）
- 企業であれば新入社員を入社させることで年代の多様化を図れ、また技術継承も行われていくが、農業は個人経営のため一人の経験値に依存する割合が高い。持続発展させるなら若年層の農業従事率を高め、年代交流を図っていく必要があると思われます。（50歳代/八代町）
- 農地の集約化とICTを活用した農業の省力化。（60歳代/石和町）
- 担い手の確保。技術の継承。もうかる農業のシステムの構築。（60歳代/石和町）
- 農業従事者へのあつい支援。農業機械への補助制度の充実。（60歳代/一宮町）
- 後継者の育成。国からの支援。（60歳代/一宮町）
- 新規就農者の支援。育成支援。（60歳代/八代町）
- 利益が無いと話が進まないで新規さんは数年収穫が無く金銭面で苦勞をします。現状の天候では、気温が高く果樹の実が小さく色が来ない事例が多く発生していますがこの対策を考えないと利益に結びつきません！この対策に市としまして協力は可能ですか？市内全域だと厳しいのでは？（60歳代/境川町）
- 販売先の充実の為に施設を造る。大規模な直売所など。（60歳代/境川町）
- 産地直売増大。（70歳以上/御坂町）
- 市に農業生産発展課を設置し、生産者と交流を深め、本気で取り組むことであると思う。（70歳以上/御坂町）
- 労働力がもっと簡単に確保できるよう、中央で管理するようにしてほしい。（70歳以上/御坂町）

- 灌水設備を整えた新たな圃場で部ブランド桃やぶどうを専門的に作ることができれば持続することができます。（70 歳以上/一宮町）
- 笛吹産というブランド力とオリジナル品種の育成。（70 歳以上/一宮町）
- 農繁期の労働力確保と安定収入実現。（70 歳以上/一宮町）
- 農地の貸し借り、農産物の産地。（70 歳以上/八代町）

問 11 笛吹市の魅力

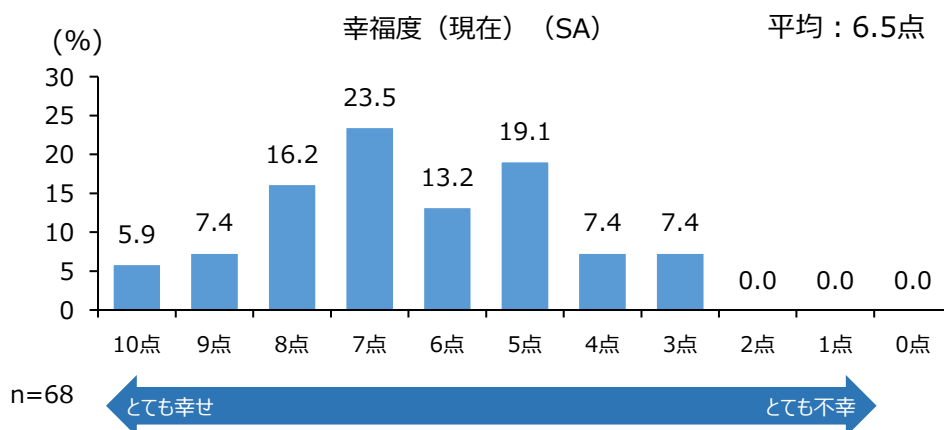
笛吹市の魅力は何だと思いますか。（最大3つまで○印）



	n	%
果樹などの農産物が豊富である	49	72.1
果樹園など良好な景観が形成されている	29	42.6
豊かな自然に恵まれている	28	41.2
日常の買い物に便利	12	17.6
観光資源が豊富である	7	10.3
貴重な文化財が残り歴史の積み重ねがある	5	7.4
子育て支援が充実している	4	5.9
住宅が増え、街としての活気がある	3	4.4
通勤・通学に便利	3	4.4
文化やスポーツ、学びの活動環境が充実している	2	2.9
企業誘致が進み、産業が活発である	2	2.9
伝統芸能や祭事が受けつがれている	2	2.9
年齢、性別、国籍などに関わらず、誰もが暮らしやすい	1	1.5
教育環境が整っている	1	1.5
福祉や医療が充実している	1	1.5
道路網が発達している	1	1.5
市民や団体がまちづくりに積極的に参加している	0	0.0
伝統工芸や地場産業が息づいている	0	0.0
その他	1	1.5
特にない	5	7.4
無回答	0	0.0
	68	100.0

問 12 現在の幸福度

あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点として、御記入ください。
(1 つに○印)

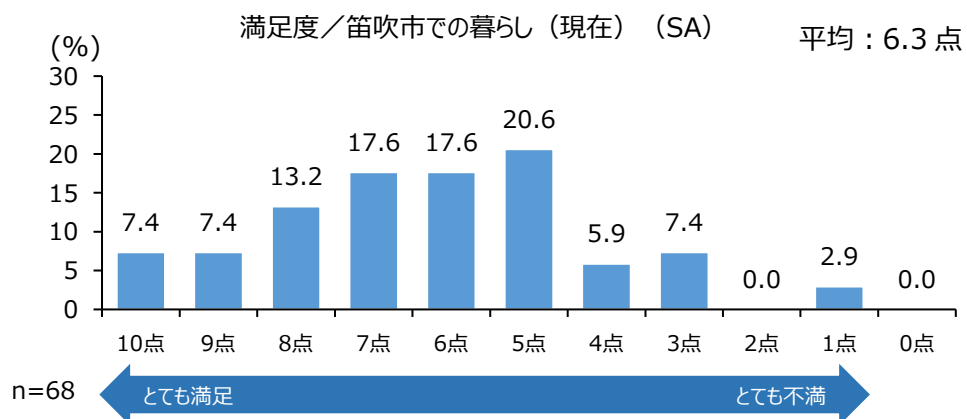


	n	%
10点	4	5.9
9点	5	7.4
8点	11	16.2
7点	16	23.5
6点	9	13.2
5点	13	19.1
4点	5	7.4
3点	5	7.4
2点	0	0.0
1点	0	0.0
0点	0	0.0
無回答	0	0.0
	68	100.0

問 13 地域の暮らしの満足度

現在、あなたは笛吹市での暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を10点、「とても不満」を0点として、御記入ください。（1つに○印）

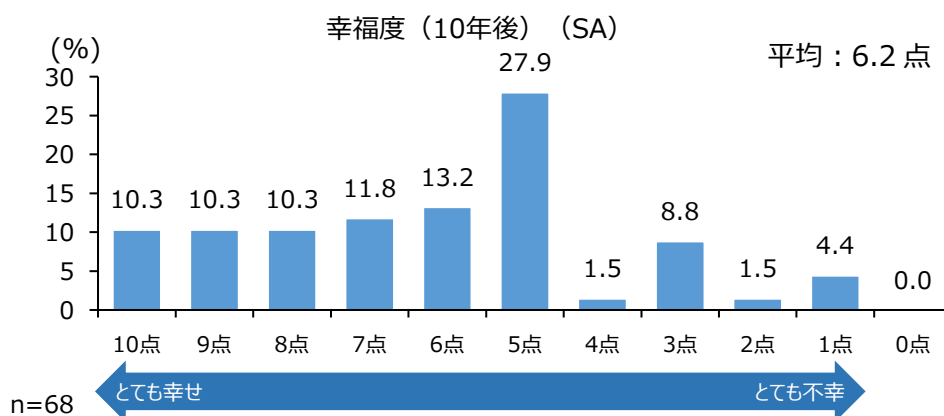
※市内に農地があるものの、市外にお住いの方は、市内農地での活動を想定して御回答ください。



	n	%
10点	5	7.4
9点	5	7.4
8点	9	13.2
7点	12	17.6
6点	12	17.6
5点	14	20.6
4点	4	5.9
3点	5	7.4
2点	0	0.0
1点	2	2.9
0点	0	0.0
無回答	0	0.0
	68	100.0

問 14 10年後の幸福度

今から10年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、御記入ください。（1つに○印）



	n	%
10点	7	10.3
9点	7	10.3
8点	7	10.3
7点	8	11.8
6点	9	13.2
5点	19	27.9
4点	1	1.5
3点	6	8.8
2点	1	1.5
1点	3	4.4
0点	0	0.0
無回答	0	0.0
	68	100.0

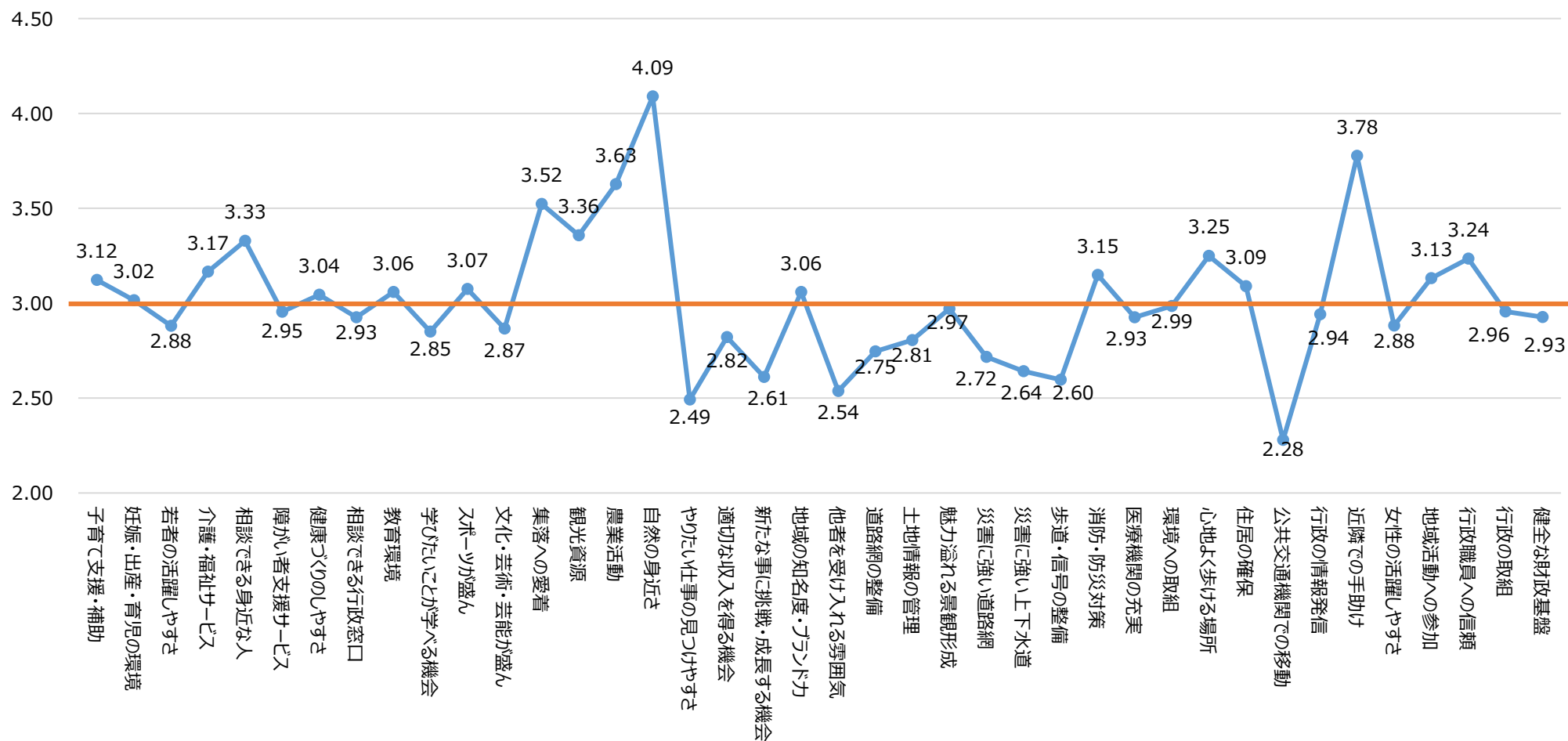
問 15 重要度・満足度

笛吹市での暮らしの満足度について、あなたの実感に最も近いものを教えてください。また、その項目についてどの程度重要だと感じていますか。以下の全ての設問項目について、

①満足度（5段階）及び②重要度（3段階）のそれぞれ1つずつ○印を御記入ください。

※市内に農地があるものの、市外にお住いの方は、市内農地での活動を想定して御回答ください。

【満足度（項目別）】※各項目の平均値



【地域に対する農業者の満足度・重要度】

